



ラック型非常業務放送設備 インテリジェント PA システム

型名 **EM-1500** シリーズ

設置説明書
(設定・動作確認編)

販売店様へ

設定したプログラムの内容は、将来システム変更、増設時に必要になりますので、プログラムシートの写しをお客様へお渡しください。

はじめに

もくじ

はじめに	2
もくじ	2
システム設定について	4
システム設定の項目	4
非常放送	4
業務放送	4
システム設定の新機能について	4
メニュー一覧	5
システム設定メニュー	5
システム点検メニュー	7
動作点検メニュー	7
システム設定の手順	8
システム設定時に使用するスイッチのはたらき	9
液晶表示について	10
プログラムシートの書きかた	11
プログラムシートを書く前に	11
出力スイッチ	11
アンプ回線の設定について	12
自動火災報知設備と連動動作について	12
環境／動作設定プログラムシートの書きかた	13
緊急優先ブロックプログラムシートの書きかた	15
緊急優先ブロック - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	15
放送階選択プログラムシートの書きかた	16
放送階選択 - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	16
放送階選択 - 同一階連動階の設定プログラムシートの書きかた	17
業務ブロックプログラムシートの書きかた	18
業務ブロック - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	18
BGM ブロックプログラムシートの書きかた	19
BGM ブロック - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	19
マルチ業務リモコンプログラムシートの書きかた	20
マルチ業務リモコン - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	20
起動入力プログラムシートの書きかた	21
起動入力 - 回線 No. 設定 (単元放送時) プログラムシートの書きかた	21
起動入力 - 回線 No. 設定 (多元放送時) プログラムシートの書きかた	22
一斉はずしプログラムシートの書きかた	23
一斉はずし - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	23

制御出力スイッチ名称プログラムシートの書きかた	23
制御出力スイッチ名称 - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた	23

設定の保存について	24
設定の保存のしかた	24

環境設定	25
環境設定の画面構成	25
環境設定画面の表示	26
個別作動表示の設定	27
スイッチ列の設定	28
デジタルマトリックスユニットの設定	29
アンプ回線の設定	30
メンテナンス時刻の設定	32

非常放送の動作設定	33
非常放送の動作設定の画面構成	33
非常放送設定画面の表示	34
非常時動作の設定	35
非常時動作の設定項目について	35
タイマー動作の設定	36
警報メッセージの設定	37
RB 制御の設定	38

業務放送の動作設定	39
業務放送の動作設定の画面構成	39
動作設定画面の表示	40
業務放送の設定	41
業務放送の設定項目について	42
業務放送の優先順位設定	43
業務放送の優先順位	44
業務チャイムの設定	45
BGM ミキシングの設定	46
一斉はずしの設定	47

回線 No. の設定	48
回線 No. 設定の画面構成	48
回線設定画面の表示	49
緊急優先ブロックの設定	50
放送階選択の設定	52
回線 No. の設定	52
同一階の設定	54
連動階の設定	55
出火階情報の設定	57
業務ブロックの設定	58
回線 No. の設定	58

BGM ブロックの設定.....	61
回線 No. の設定.....	61
起動入力の設定.....	63
回線 No. の設定.....	63
マルチ業務リモコン (マルチ RM) の設定	69
回線 No. の設定.....	69
設定の変更について.....	71

設定データについて..... 72

入力データの確認方法.....	72
設定データの保存.....	72
設定データの初期化.....	73

設置工事、システム設定後の確認について..... 75

主な確認の概要.....	75
システム点検モードによる確認	75
システム点検の概要.....	76
システム点検画面の表示.....	76
システム構成の確認.....	77
スピーカー回線の短絡点検	79
パワーアンプの点検.....	80
インピーダンス測定.....	81
蓄電池の点検.....	85
全項目点検 (連続自動点検)	86
システム動作の確認.....	87
放送階選択—スピーカー回線の確認.....	87
非常放送の動作確認.....	88
業務放送の動作確認.....	95
動作点検モードによる確認.....	99
動作点検モードの機能と設定方法.....	99
動作点検画面の表示と動作点検機能の設定方法.....	100

履歴情報の確認..... 101

履歴情報の確認のしかた.....	101
履歴情報コード表.....	102

エラー表示について..... 108

本体のエラー表示と動作状態について.....	108
マルチ業務リモコンのエラー表示と動作状態について.....	109
デジタルマトリックスユニットのエラー表示と動作状態について.....	109

システム設定時のご注意..... 110

放送に関して.....	110
スイッチ列の設定に関して.....	110
マトリックスコントロールユニットに関して.....	110

付録シート..... 111

■機器の名称の表記について

- 本書では、機器の名称を機種名や呼称で表記しています。同じシリーズの機器は機種名を一部省略して表記する場合があります。(例：EM-C156/C154)
各機器の商品名、機種名と呼称は次のとおりです。

商品名	機種名	呼称
非常業務操作器	EM-E156	本体
非常業務放送装置	EM-E1500	
	シリーズ	
非常業務遠隔操作器	EM-C156 (EM-C1560 シリーズ)	非常リモコン
	EM-C154 (EM-C1540 シリーズ)	
回線追加ユニットケース	EM-ES12-10	回線追加ケース
回線追加ユニット	EM-ES5	回線追加ユニット
主入力制御ユニット	EM-Y152	—
回線制御ユニット	EM-L152	—
パワーアンプ	EM-A083 EM-A163 EM-A244 EM-A364	パワーアンプ、 アナログパワーアンプ
デジタルパワーアンプ	EM-A922D EM-A932D EM-A942D	パワーアンプ、 デジタルパワーアンプ
非常業務予備電源 ユニット	EM-N152	非常業務電源ユニット
ニッケルカドミウム 蓄電池	NB-35B NB-60	蓄電池
主電源ユニット	EM-P11	—
ミキサーユニット	EM-M102	—
モニターユニット	EM-S102	—
デジタルマトリックス ユニット	PA-MX92	—
デジタルプログラム チャイム	PA-DT600	—
デジタルボイスファイル	PA-DR600	—
デジタルミュージック マシン	PA-DA600	—
標準ラックケース	PA-R641B	ラックケース
ミニラックケース	PA-R631B	
リモコンケース	EM-R6	リモコンケース
追加リモコンケース	EM-R2	
リモートマイクロホン	PA-C50 PA-C51 PA-C52 PA-C53	業務リモコン、 PA-C50 シリーズ
マルチリモートマイク ロホン	PA-C620	マルチ業務リモコン

システム設定について

システム設定の項目

インテリジェント PA システム (EM-1500 シリーズ) は「設定スイッチ」と「液晶表示」による対話型の設定操作により様々なシステムに対応できます。設定によって以下のような放送ができます。

メモ： _____

- システム設定モード中は、すべての放送の起動を受け付けません。非常放送操作を行うには、[モード] スイッチを押して通常モードに戻してから、非常放送操作を行ってください。

非常放送

自動火災報知設備からの階別火災信号により自動的に非常放送を行うことや、手動操作により非常放送を行うことができます。システム設定により、非常放送時の動作や放送する場所を決定します。

■ 放送階選択

1 つの放送階選択スイッチでグループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送ができます。非常放送時でも業務放送時でも使用できます。

■ 同一階連動階と出火階情報

1 つの階に複数の放送階選択スイッチを設けた場合は、同一階設定した放送階選択スイッチを同時に動作させることで、同じ階の全スピーカーエリアに放送できます。また自動火災報知設備からの信号により非常放送する場合は、連動階設定した放送階選択スイッチを同時に動作させ、出火階と連動階のスピーカーエリアに出火階情報をつけた音声警報メッセージを放送できます。

業務放送

本体のスイッチ操作や業務リモコンからの放送、プログラムタイマーなどによる自動放送などを行うことができます。デジタルマトリックスユニットの追加により多元放送が可能です。

システム設定により、優先順位を決定したり放送機器や放送する場所を決定します。

■ 緊急優先ブロック

1 つの緊急優先ブロックスイッチで、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。音声ファイル No. と再生モードを設定します。業務放送時は使用できますが、非常放送時は使用できません。

■ 業務ブロック

1 つの業務ブロックスイッチで、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。業務放送時は使用できますが、非常放送時は使用できません。

■ BGM ブロック

1 つの BGM ブロックスイッチで、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。業務放送時は使用できますが、非常放送時は使用できません。

■ 起動入力

1 つの起動入力ごとに以下の放送機器名を設定でき、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。[業務リモコン・報時チャイム・電話ペーキング・アナウンスユニット・音声ファイル・無線・緊急優先・BGM] 放送機器名を音声ファイル・緊急優先に設定した場合は、音声ファイル No. と再生モードも設定します。業務放送時は使用できますが、非常放送時は使用できません。

■ マルチ業務リモコンのブロック選択

マルチ業務リモコンの 1 つのブロック選択スイッチで、グループにまとめた複数のスピーカーエリアに放送できます。

システム設定の新機能について

● 個別作動表示設定

放送階選択スイッチ No. とスピーカー回線 No. を同一の No. に固定して使用できます。(☞ 27 ページ)

● インピーダンス測定

デジタルパワーアンプ (EM-A922D/A932D/A942D) をお使いのとき、回線ごとのパワーアンプのインピーダンスの測定や結果を確認することができます。(☞ 81 ページ)

インピーダンス測定を行う場合は、回線ごとにどのパワーアンプで測定を行うかの組み合わせを設定することができます。(☞ 30 ページ)

● 900 モード/1000 モード

非常リモコンは、モード切換スイッチにより 900 モードもしくは 1000 モードに設定することができます。

900 モードのときは EM-900 シリーズ、1000 モードのときは EM-1000 シリーズに接続できます。それぞれのモード中は、本体 (EM-E156) には接続できません。

詳しくは、EM-1500 シリーズ「設置説明書 (工事編)」をご覧ください。

この設置説明書の見かた

■ 本文中の記号の見かた

- ご注意： 操作上の注意が書かれています。
- メモ： 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
- ☞： 参考ページや参照項目を示しています。

■ 本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

メニュー一覧

システムの設定や各種点検を行うときに、本体の液晶表示部に表示されるメニュー一覧です。

システム設定メニュー

■ 環境設定

設定項目	初期設定	設定できる値	参照ページ
個別作動表示	しない	する／しない	27 ページ
スイッチ列の設定	スイッチ列総数 64 列 緊急優先ブロック 0 列 放送階選択 64 列 業務ブロック 0 列 BGM ブロック 0 列 制御出力ブロック 0 列	スイッチ列総数 4 ~ 64 列 緊急優先ブロック 0 ~ 63 列 放送階選択 総数から他の列数を引いた値 業務ブロック 0 ~ 63 列 BGM ブロック 0 ~ 63 列 制御出力ブロック 0 ~ 4 列	28 ページ
マトリックスユニット	マトリックス なし フェーダー 0/0 ミキシング なし	なし / 20 入力 10 出力 / 20 入力 20 出力 0/0 / 1/1 / 2/2 / 3/3 / 3/1 なし / 大 / 中 / 小	29 ページ
アンプ回線	0 (空欄)	0 ~ 40	30 ページ
メンテナンス時刻	1 時 0 分	0 時 0 分 ~ 23 時 59 分	32 ページ

■ 動作設定

設定項目		初期設定	設定できる値	参照ページ	
非常放送	非常時動作	自火報動作	連動	連動 / 一斉	35 ページ
		手動起動動作	階別	階別 / 連動	
		発報連動停止	連動	連動 / 停止	
		発報火災切換	発報	発報 / 火災	
		発報放送形式	2 回	2 回 / 連続 / 15 秒 / 30 秒	
	タイマー動作	火災放送移行時間	2 分	2 分 ~ 39 分 30 秒 (30 秒単位)	36 ページ
		一斉移行時間	OFF	OFF (- 分 - 秒) / 0 分 ~ 39 分 30 秒 (30 秒単位)	
音声警報 / ガイド	音声警報言語	日本	日本 / 日英	37 ページ	
	非常操作ガイド	あり	あり / なし		
RB 制御	RB 制御	一斉	一斉 / 個別	38 ページ	
業務放送	一斉スイッチ	緊急	緊急 / 通常	41 ページ	
	業務 RM 一斉	緊急	緊急 / 通常		
	放送優先順位	後	先 / 後		
	緊急優先入力	OFF	アナ / OFF		
	緊急優先 RB 制御	なし	なし / 一斉 / 個別		
	起動モード	レベル	レベル / パルス		
	状態出力パターン	A	A / B / C		
	外部起動機器名	あり	あり / なし		
業務優先順位	本体	2 位	2 位 ~ 24 位	43 ページ	
	非常リモコン				
	業務リモコン				
	音声ファイル				
	マルチ RM1 ~ 8				
	ページング 1 ~ 3				
	報時チャイム 1 ~ 3				
	アナウンス U1 ~ 2				
	無線				
業務チャイム	チャイム 1	C01	C01 ~ C06, M01 ~ M45	45 ページ	
	チャイム 2	C02			
	業務 RM	C01			
BGM ミキシング	BGM ミキシング	なし	なし / 大 / 小	46 ページ	
	本体マイク連動	なし	あり / なし		
一斉はずし設定	緊急地震放送	320 回線	1 ~ 320	47 ページ	
	非常一斉	すべてが設定			
	緊急優先一斉	された状態			
	業務一斉				

メニュー一覧 (つづき)

■ 回線 No. 設定

設定項目		初期設定	設定できる値	参照ページ		
緊急優先ブロック	ブロック No.	—		50 ページ		
	回線設定	—	1 ~ 320			
	音声ファイル設定ファイル No.	なし	なし、C01 ~ C06、M01 ~ M45			
	再生モード	1 回	1 回、繰返し			
放送階選択	回線設定	放送階選択 No.	—	52 ページ		
		回線設定	—		1 ~ 320	
		緊急設定	なし		あり/なし	
	同一階設定	同一階設定する放送階選択スイッチを選択する 同一階グループの放送階選択スイッチをすべて選択する		54 ページ		
	連動階設定	出火階となる放送階選択スイッチをひとつ選択する 連動階グループの放送階選択スイッチをすべて選択する		55 ページ		
出火階情報	ELNo.	—		57 ページ、 134 ページ		
	出火階情報	0	0 ~ 499			
業務ブロック	業務ブロック No.	—		58 ページ		
	回線設定	—	1 ~ 320			
	緊急指定	なし	あり/なし			
	音声ファイル設定ファイル No.	なし	なし、C01 ~ C06、M01 ~ M45			
	再生モード	1 回	1 回、繰返し			
BGM ブロック	BGM ブロック	—		61 ページ		
	回線設定	—	1 ~ 320			
	マトリックス入力 No.	—	2 ~ 20 ※マトリックスユニット設定が「あり」の場合			
起動入力	起動入力 No.	—	1 ~ 45	63 ページ		
	放送機器/機能	電話ベージング1~3、	回線設定	—	1 ~ 320	64 ページ
		報時チャイム1~3、	緊急指定	なし	あり/なし	
		BGM、	チャイム設定ファイル No.	なし	なし、C01 ~ C06、M01 ~ M45 ※マトリックスユニット設定が「なし」の場合	
		アナウンスU1~2、無線	マトリックス入力設定	—	2 ~ 20 ※マトリックスユニット設定が「あり」の場合	
	業務リモコン	回線設定	—	1 ~ 320	66 ページ	
		緊急指定	なし	あり/なし		
		マトリックス入力設定	—	2 ~ 20 ※マトリックスユニット設定が「あり」の場合		
	緊急優先	回線設定	—	1 ~ 320	67 ページ	
		音声ファイル設定ファイル No.	なし	なし、C01 ~ C06、M01 ~ M45		
		再生モード	1 回	1 回、繰返し		
	音声ファイル	回線設定	—	1 ~ 320	68 ページ	
		緊急指定	なし	あり/なし		
		音声ファイル設定ファイル No.	M01	C01 ~ C06、M01 ~ M45		
		再生モード	1 回	1 回、繰返し		
メッセージ停止	—	起動入力 No.24 にのみ設定可能	63 ページ			
時刻校正	—	起動入力 No.25 にのみ設定可能				
マルチ RM	マルチ RM	—	1 ~ 8	69 ページ		
	マトリックス入力 No.	—	2 ~ 20 ※マトリックスユニット設定が「あり」の場合			
	ブロック No.	—	1 ~ 20			
	回線設定	—	1 ~ 320			
	緊急指定	なし	あり/なし			

■ 設定データ管理

設定項目	メッセージ	設定値	参照ページ
設定データ保存	設定データを保存します	• 音量や動作履歴は保存されない	72 ページ
設定データ初期化	工場出荷状態に戻します	• 本体の音声は、すべて「15」になる • 非常リモコンの音声は初期化されない • 時計設定は初期化されない • 時計表示の設定は「なし」になる • 履歴情報はすべて削除	73 ページ

システム点検メニュー

点検項目	点検内容	検出項目	参照ページ
システム構成確認	接続されている主要ユニットの情報を自動収集し、表示する	バージョン 接続台数	77 ページ
SP 回線短絡点検	全回線の短絡試験を自動的に行う 全回線を順に行うので、回線数が多い時は数分間の時間を要する 短絡回線が検出された場合は履歴が残る	短絡回線の検出	79 ページ
パワーアンプ点検	全スピーカー回線負荷でのパワーアンプ定格出力試験を自動的に行う	アンプ異常 1) 出力異常 2) 定格出力不足	80 ページ
インピーダンス測定	設置時・スピーカー回線工事時・スピーカー増設時に回線の誤接続や負荷を簡易的に確認する	スピーカー回線ごとのインピーダンス	81 ページ
蓄電池点検	各蓄電池の放電試験を自動的に行う	蓄電池電圧異常	85 ページ
全項目点検	上記 3 種（SP 回線短絡、パワーアンプ、蓄電池）の点検を自動的に行う	項目ごとに表示	86 ページ

動作点検メニュー

*：初期値

点検項目	設定内容（選択肢）	参照ページ
RB 制御	非常制御信号（RB）を、「制御停止」させて動作点検を行うことができます。 非常制御信号出力なし（制御停止）では非常放送の操作練習、火災避難訓練、自動火災報知設備と非常業務放送設備の連動動作点検など行う際、非常制御信号を常時出力のままにするので、通常業務中の音響機器（カラオケ、テナント独立 BGM など）を遮断しません。 ・あり：制御出力信号を制御する ・なし*：制御出力信号を制御しない	99 ページ
手動起動動作	非常放送の手動起動動作時のスピーカー回線動作方法を選択します。 ・階別*：押された放送階選択スイッチのスピーカー回線のみを動作させる ・連動：押された放送階選択スイッチとその連動階のスピーカー回線を動作させる	
一斉火災移行	一斉火災放送に移行するかどうかを設定します。 ・あり：一斉移行時間が経過すると一斉火災放送に移行する ・なし*：移行しない	
状態出力	状態出力および非常時リレーの出力の選択をします。 ・あり：出力する ・なし*：出力しない	
SP 回線制御	スピーカー回線制御リレーの動作を選択します。動作を停止してスピーカー回線の音声を止めたり、緊急リレーを常時 ON してアッテネーターをカットすることができます。 「なし」を選択すると、スピーカーから非常放送音を出力することなく、自動火災報知設備と非常業務放送設備の点検・動作確認作業を行うことができます。 ・あり：通常動作 ・なし*：停止 ・SPR：緊急リレー常時 ON	
点検音	点検時に流す音と音量の設定をします。 ・なし*：無音 ・1 大：小川のせせらぎ（音量大） ・1 中：小川のせせらぎ（音量中） ・1 小：小川のせせらぎ（音量小） ・2 大：子犬の鳴き声（音量大） ・2 中：子犬の鳴き声（音量中） ・2 小：子犬の鳴き声（音量小） ・3 大：やさしい電子音（音量大） ・3 中：やさしい電子音（音量中） ・3 小：やさしい電子音（音量小） ・4 大：BGM（音量大） ・4 中：BGM（音量中） ・4 小：BGM（音量小） ・ミキサー：本体のミキサー入力からの音源入力	
RM モニター出力	非常リモコンモニタースピーカーの設定をします。 ・あり：通常出力 ・なし*：出力停止	
本体放送出力	本体のパワーアンプ出力の設定をします。 ・あり：通常出力 ・なし*：出力停止	

システム設定の手順

STEP 1 プログラムシートを記入する

「プログラムシートの書きかた」(☞ 11 ページ) を参考に、プログラムシートを記入します。

STEP 2 環境設定を行う

環境設定のプログラムシートを見ながら、「環境／動作設定プログラムシートの書きかた」(☞ 13 ページ) の説明に従って、順に設定してください。

- 放送中は設定をすることはできません。
- システム設定中はプログラムタイマーなどの外部起動がかからないようにしてください。また、本体での非常操作および非常リモコン、業務リモコンの操作をしないください。

設定項目	初期設定	ページ
個別作動表示	しない	27 ページ
スイッチ列設定	スイッチ総数 64 列	28 ページ
	緊急優先ブロック 0 列	
	放送階選択 64 列	
	業務ブロック 0 列	
	BGM ブロック 0 列	
	制御出力ブロック 0 列	
マトリックスユニット設定	マトリックス なし	29 ページ
	フェーダー (0/0)	
	ミキシング (なし)	
アンプ回線	0 (空欄)	30 ページ
メンテナンス時刻設定	毎日 1 時 0 分	32 ページ

STEP 3 非常放送の動作設定を行う

非常放送の動作設定プログラムシートを見ながら、「非常放送の動作設定」(☞ 33 ページ) の説明に従って、順に設定してください。

画面表示	設定項目	初期設定	ページ
自火報動作	自火報起動時の連動設定	連動	35 ページ
手動起動動作	手動起動時の放送階連動設定	階別	
発報連動停止	発報連動停止設定	連動	36 ページ
発報火災切換	発報火災切換設定	発報	
発報放送形式	発報放送形式の設定	2 回	
タイマー動作	火災放送移行時間の設定	2 分 00 秒	
	一斉移行時間の設定	-- 分 -- 秒 (移行しない)	
警報メッセージ	音声警報の言語設定	日本	37 ページ
	非常操作ガイドの設定	あり	
RB 制御設定	非常制御信号 (RB) の設定	一斉	38 ページ

STEP 4 業務放送の動作設定を行う

業務放送の動作設定プログラムシートを見ながら、「業務放送の動作設定」(☞ 39 ページ) の説明に従って、順に設定してください。

動作設定	設定項目	初期設定	ページ	
業務放送	一斉スイッチ	緊急	41 ページ	
	業務 RM 一斉	緊急		
	放送優先順位	後		
	緊急優先入力	OFF		
	緊急優先 RB 制御	なし		
	起動モード	レベル		
	状態出力パターン	A		
	外部起動機器名	あり		
業務優先順位	本体、非常リモコン、業務リモコン、音声ファイル、マルチ RM 1 ~ 8、電話ページング 1 ~ 3、報時チャイム 1 ~ 3、アナウンス U 1 ~ 2、無線	2 位	43 ページ	
	緊急優先	1 位 (変更不可)		
	BGM	25 位 (変更不可)		
	業務チャイム	チャイム 1		C01
		チャイム 2		C02
BGM ミキシング	業務 RM	C01	45 ページ	
	BGM ミキシング	なし		
ミキシング	本体マイク連動	なし	46 ページ	

STEP 5 回線 No. 設定の書き込みを行う

緊急優先ブロック、放送階選択、業務ブロック、BGM ブロック、マルチ業務リモコン、起動入力の各プログラムシートを見ながら、「回線 No. の設定」(☞ 48 ページ) の説明に従って、順に設定してください。

設定項目	ページ
緊急優先ブロック ブロック No. の設定 / スピーカー回線 No. の設定 / 音声ファイルの設定 / 再生モードの設定	50 ページ
放送階選択 回線 No. の設定 / 同一階の設定 / 連動階の設定 / 出火階情報の設定	52 ページ
業務ブロック 回線 No. の設定 / 緊急指定の設定 / 音声ファイル No. の設定 / 音声ファイルの再生モード	58 ページ
BGM ブロック 回線 No. の設定 / マトリックス入力の設定	61 ページ
起動入力 放送機器の設定 / 回線 No. の設定 / 緊急指定の設定 / マトリックス入力の設定 / 起動時のチャイム / 音声ファイル No. の設定 / 音声ファイルの再生モード	63 ページ
マルチ業務リモコン リモコン No. の設定 / マトリックス入力の設定 / ブロック設定 / 回線 No. 設定 / 緊急指定の設定	69 ページ

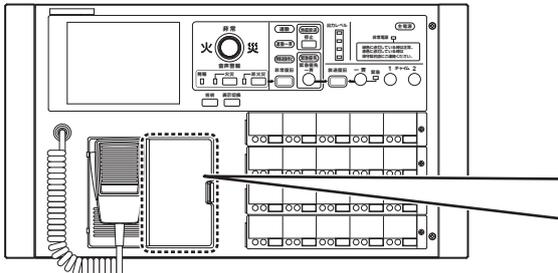
STEP 6 動作の確認を行う

通常モードに戻し、「設置工事、システム設定後の確認について」(☞ 75 ページ) の説明に従って、動作の確認を行なってください。

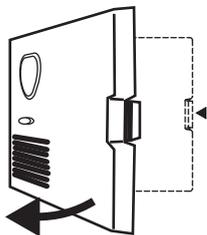
システム設定時に使用するスイッチのはたらき

本システムを設定するときは、本体のポケットカバー内にある、設定スイッチによって行います。

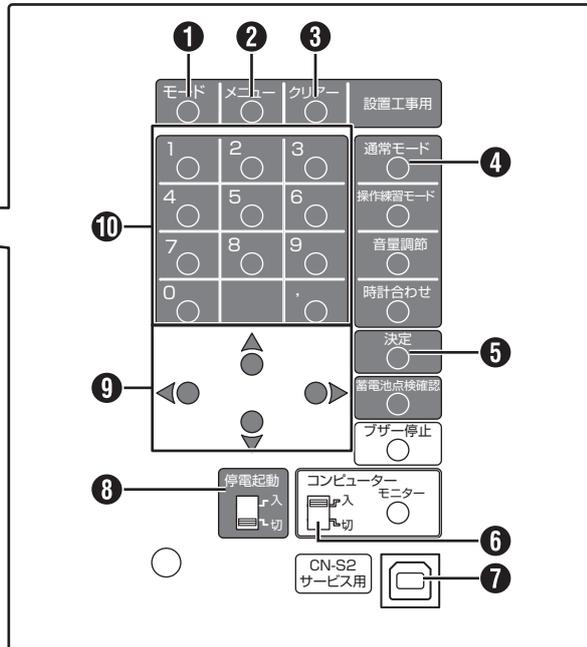
非常業務操作器 (EM-E156)



■ ポケットの開け方



ポケットカバーの右側のツメを押して手前に開きます。



① [モード] スイッチ

通常モードから、設定のための「スタートメニュー」画面を表示するときに使います。(3秒以上押してください)
または「スタートメニュー」画面から通常モードに戻るときに使います。

メモ：

- 「スタートメニュー」画面を開いているあいだ、30秒ごとにピピッとブザーがなります。通常モードに戻るとブザーは停止します。
- 放送操作や制御出力の実行中は「スタートメニュー」画面を表示することはできません。

② [メニュー] スイッチ

メニュー画面を1つ前の画面に戻すときに使います。

③ [クリアー] スイッチ

設定により一度入力した数値を初期値へクリアーするときに使います。
回線設定時は、全スピーカー回線 No. を削除します。

④ [通常モード] スイッチ

操作練習／音量調節／時計合わせ／蓄電池点検確認の各モードから通常モードに戻るときに使います。また、設定のメニュー画面を1つ前の画面に戻すときに使います。

⑤ [決定] スイッチ

設定する内容を確定するときに押します。

⑥ コンピュータースイッチ

通常は「入」の位置にしてください。

動作が異常の場合にスイッチを「切」(3秒以上)にして、「入」にすることでシステムを再起動することができます。

上記の操作でも正常な状態に戻らない場合は、最寄りの弊社サービス窓口にご連絡ください。

ご注意：

- 設定データの保存中やメンテナンス時間の前後は、コンピュータースイッチの操作をしないでください。

⑦ サービス用コネクタ (CN-S2)

USB ケーブルを接続して、設置支援アプリケーションソフトウェア EM-ZS1500 を使用することができます。

⑧ [停電起動] スイッチ

停電中に業務放送を行うときに「入」にします。

⑨ 選択・変更スイッチ

設定項目の選択、カーソルの移動などに使う選択スイッチ (▲▼) と、設定項目の内容を変更する変更スイッチ (◀▶) です。

⑩ テンキー

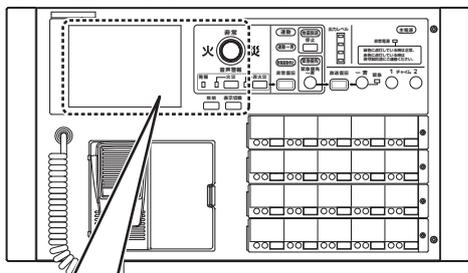
設定項目の内容の変更や回線 No. の設定など、数値を入力するときに使います。

液晶表示について

本システムでは設定時に必要な情報を本体の液晶画面に表示します。

ここでは、各設定に共通した部分の表示について説明します。(詳しくは個々の設定項目の説明をご覧ください)

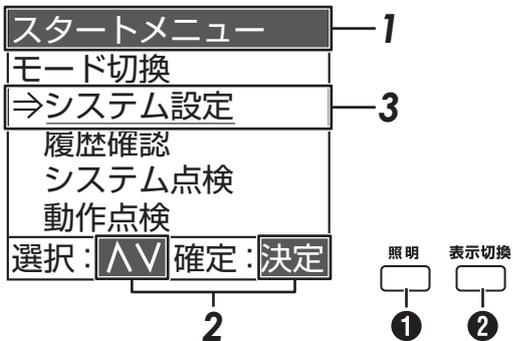
非常業務操作器 (EM-E156)



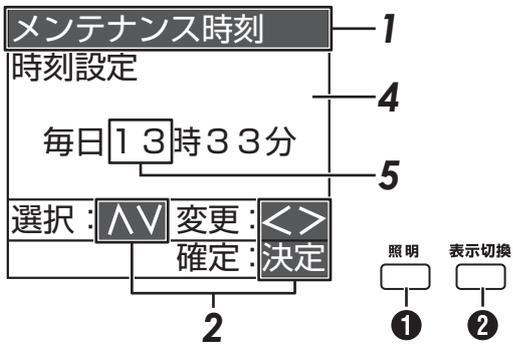
■ 液晶表示部の意味

- 1 現在設定中の項目を表示します。
- 2 入力、選択、確定を行うときに使用するスイッチ名を表示します。
- 3 データの設定が可能な場所を矢印と“_”マーク (=カーソル) で表示します。
- 4 各種設定の指示を表示します。
- 5 データの設定を変更する場所を で囲んで表示します。

例：「スタートメニュー」の画面



例：「メンテナンス時刻設定」の画面



■ 液晶表示部スイッチ

① [照明] スイッチ

液晶表示部のバックライトを点灯させるときに押します。

② [表示切換] スイッチ

画面の表示内容を切り換えるときに押します。

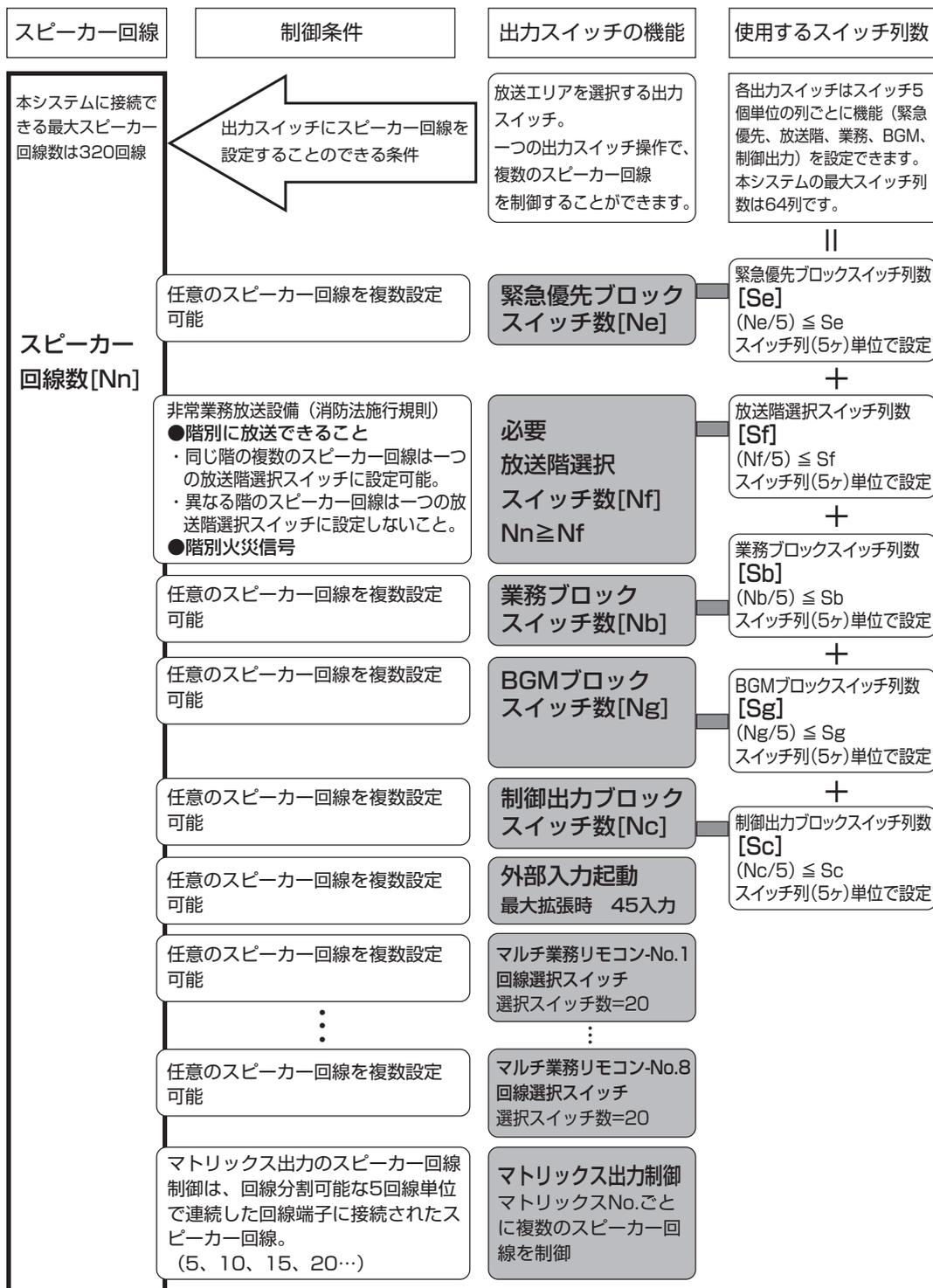
プログラムシートの書きかた

プログラムシートを書く前に

プログラムの入力容易にするために、115ページ～133ページの回線No.設定プログラムシートと112ページ～114ページの間環境/動作設定プログラムシートをコピーし、記入してください。

また、設置時に設定したプログラムの内容は、将来システム変更、増設時に必要となりますので、プログラムシートの写しをお客様へお渡しください。

出力スイッチ



メモ：

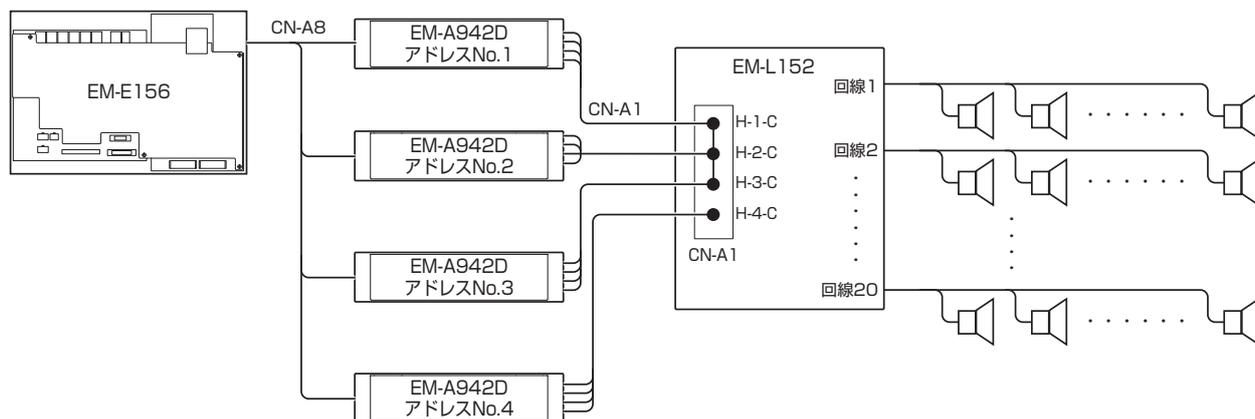
- 「個別回線表示ブロック（放送中の回線のオン/オフを個別に表示する機能）」を使用する場合は、各ブロックスイッチに割り当てるスイッチ列の合計以外に、回線数分の回線追加ユニット（EM-ES5）を接続します。ただし、接続できるスイッチ列の合計は64列までです。すべての回線を表示できない場合があります。

プログラムシートを書く前に（つづき）

アンプ回線の設定について

スピーカー回線を駆動するパワーアンプのアドレス No. を 5 回線ごとに設定します。パワーアンプを並列接続しているときは、すべてのアドレス No. を設定してください。

(例) アドレス No.1、2、3 に設定したパワーアンプを 3 台並列し回線 1～15 に接続、アドレス No.4 に設定したパワーアンプ（1 台）を回線 16～20 に接続する場合は、以下のようにアンプ回線を設定します。



パワーアンプとスピーカー回線の組み合わせ表

	アドレスNo.		
回線No.1～5	1	2	3
回線No.6～10	1	2	3
回線No.11～15	1	2	3
回線No.16～20	4		

自動火災報知設備と連動動作について

連動階の設定は消防法およびその関連法規に基づいて、下記のように設定してください。

出火階	連動階	非常放送が行われる階
2 階以上の階	その直上階	出火階、その直上階
1 階	2 階・地階	出火階、その直上階および地階
地階	その他の地階・直上階	出火階、その他の地階および直上階

環境／動作設定プログラムシートの書きかた

112 ページの環境設定プログラムシート、114 ページの動作設定プログラムシートを使用します。

■ 環境設定プログラムシートの書きかた

- 1：選択して“レ”を記入してください。
- 2～6：列数（0～64）を記入してください。
- 7：回線数（1～320）を記入してください。
- 8：時刻を記入してください。
- 9：選択して“レ”を記入してください。
- 10：デジタルパワーアンプのアドレス No.（0～40）を記入してください。
- 11：出力 No.（1～20）を記入してください。
- 12：ミキシングレベル、フェーダーパターンをそれぞれ選択して“レ”を記入してください。

<記入例>

環境設定プログラムシート(1/2)

(コピーしてお使いください)

1.個別動作表示.....しない
する

2.緊急優先ブロックスイッチ列.....7列

3.放送階選択スイッチ列.....20列

4.業務ブロックスイッチ列.....4列

5.BGMブロックスイッチ列.....4列

6.制御出力ブロックスイッチ列.....5列

7.スピーカー回線数.....80

8.メンテナンス時刻.....7時 0分

9.マトリックス入出力.....なし
20入力10出力 (MX92)
20入力20出力 (MX92)

10.マトリックス設定

回線No.	出力No.	回線No.	出力No.	回線No.	出力No.	回線No.	出力No.
1-5	/	81-85		161-165		241-245	
6-10	2	86-90		166-170		246-250	
11-15	2	91-95		171-175		251-255	
16-20	2	96-100		176-180		256-260	
21-25	3	101-105		181-185		261-265	
26-30	3	106-110		186-190		266-270	
31-35	4	111-115		191-195		271-275	
36-40	4	116-120		196-200		276-280	
41-45	5	121-125		201-205		281-285	
46-50	5	126-130		206-210		286-290	
51-55	6	131-135		211-215		291-295	
56-60	6	136-140		216-220		296-300	
61-65	7	141-145		221-225		301-305	
66-70	7	146-150		226-230		306-310	
71-75	8	151-155		231-235		311-315	
76-80	9	156-160		236-240		316-320	

環境設定プログラムシート(2/2)

(コピーしてお使いください)

11.デジタルマトリックス設定

入力	ミキシングレベル				フェーダー[ターン]				入力	ミキシングレベル				フェーダー[ターン]				
	大	中	小	無し	00	1/1	2/2	3/3		3/1	大	中	小	無し	00	1/1	2/2	3/3
1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>							
2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>							
3	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

12.アンプ回線設定

回線No.	アドレスNo.	回線No.	アドレスNo.	回線No.	アドレスNo.
1-5	/	66-70		131-135	
6-10	/	71-75		136-140	
11-15	/	76-80		141-145	
16-20	/	81-85		146-150	
21-25	2 3	86-90		151-155	
26-30	2 3	91-95		156-160	
31-35	2 3	96-100		161-165	
36-40	2 3	101-105		166-170	
41-45		106-110		171-175	
46-50		111-115		176-180	
51-55		116-120		181-185	
56-60		121-125		186-190	
61-65		126-130		191-195	

回線No.	アドレスNo.	回線No.	アドレスNo.
196-200		261-265	
201-205		266-270	
206-210		271-275	
211-215		276-280	
216-220		281-285	
221-225		286-290	
226-230		291-295	
231-235		296-300	
236-240		301-305	
241-245		306-310	
246-250		311-315	
251-255		316-320	
256-260			

環境／動作設定プログラムシートの書きかた（つづき）

■ 動作設定プログラムシートの書きかた

- 非常放送動作設定 1～5、8～10
- 非常放送動作設定 6：時間を記入してください。
- 非常放送動作設定 7：時間を記入するか「設定しない」に“レ”を記入してください。
- 業務放送動作設定 1～11：
 選択して“レ”を記入してください。
 優先順位（2～24）を記入してください。

<記入例>

動作設定プログラムシート (コピーしてお使いください)	
■非常放送動作設定	
1.自火報起動時の動作.....	<input checked="" type="checkbox"/> 連動 <input type="checkbox"/> 連動一斉
2.手動起動時の動作.....	<input checked="" type="checkbox"/> 階別 <input type="checkbox"/> 連動
3.発報連動停止.....	<input checked="" type="checkbox"/> 連動 <input type="checkbox"/> 発報停止
4.発報火災切換.....	<input checked="" type="checkbox"/> 発報 <input type="checkbox"/> 火災
5.発報放送形式.....	<input type="checkbox"/> 2回 <input checked="" type="checkbox"/> 連続して繰り返し
	<input checked="" type="checkbox"/> 15秒間隔で繰り返し <input type="checkbox"/> 30秒間隔で繰り返し
6.火災放送移行時間.....	<input type="checkbox"/> 2分 <input type="checkbox"/> 0秒
7.一斉移行時間.....	<input type="checkbox"/> 2分 <input type="checkbox"/> 0秒 <input type="checkbox"/> 設定しない
8.音声警報の言語.....	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語 <input type="checkbox"/> 日本語+英語
9.音声操作ガイド.....	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
10.RB制御.....	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉 <input type="checkbox"/> ユニット別
■業務放送動作設定	
1.一斉スイッチ.....	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急 <input type="checkbox"/> 通常
2.業務RM一斉.....	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急 <input type="checkbox"/> 通常
3.放送優先順位.....	<input checked="" type="checkbox"/> 先 <input type="checkbox"/> 後
4.緊急優先入力.....	<input checked="" type="checkbox"/> アナ <input type="checkbox"/> OFF
5.緊急優先RB制御.....	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 一斉 <input type="checkbox"/> 個別
6.起動モード.....	<input checked="" type="checkbox"/> レベル <input type="checkbox"/> パルス
7.状態出力パターン.....	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C
8.外部起動機器名.....	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
9.業務放送の優先順位 (2位～24位)	
本体.....	ページング1..... [5] 位
非常リモコン.....	ページング2..... [5] 位
業務リモコン.....	ページング3..... [5] 位
音声ファイル.....	報時チャイム1..... [6] 位
マルチRM1.....	報時チャイム2..... [6] 位
マルチRM2.....	報時チャイム3..... [6] 位
マルチRM3.....	アナウンスU1..... [4] 位
マルチRM4.....	アナウンスU2..... [4] 位
マルチRM5.....	無線..... [2] 位
マルチRM6.....	
マルチRM7.....	
マルチRM8.....	
10.業務チャイム	
チャイム1.....	[CO1]
チャイム2.....	[CO2]
業務RM.....	[CO1]
11.BGMミキシング	
BGMミキシング.....	<input checked="" type="checkbox"/> なし
	<input type="checkbox"/> あり
本体マイク連動.....	<input checked="" type="checkbox"/> なし
	<input type="checkbox"/> 大
	<input type="checkbox"/> 小

緊急優先ブロックプログラムシートの書きかた

緊急優先ブロック - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

115 ページの回線 No. 設定プログラムシート -1 を使用します。

放送エリア	緊急優先 ブロック スイッチNo.	出力 スイッチ No.	音声ファ イルNo.	音声ファ イル再生 モード	スピーカー エリア	B3 駐 車 場	B3 共 用 通 路	B2 駐 車 場	B2 共 用 通 路	B1 懇 じ の 広 場	1F ロ ビ ー	エ ス カ レ タ ー	エ レ ベ ー タ ー				
					マトリクス 出力No.	1		2									
					スピーカー 回線	1	2	3	4	5	6	7	8				
					緊急指定	1	2	3	4	5	6	7	8				
エリア1	1	1	MO1	1回	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>								
エリア2	2	2	MO1	1回	<input type="radio"/>						<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				
エリア3	3	3	MO1	1回	<input type="radio"/>												
エリア4	4	4	MO1	1回	<input type="radio"/>												
エリア5	5	5	MO1	1回	<input type="radio"/>												
	6	6			<input type="radio"/>												
	7	7			<input type="radio"/>												
	8	8			<input type="radio"/>												
	9	9			<input type="radio"/>												
	10	10			<input type="radio"/>												

- a** 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b** マトリクスユニットを使用する場合は、5 回線単位にマトリクス出力 No. を記入します。
- c** 縦軸に放送エリア／緊急優先ブロックスイッチ No. と出力スイッチ No. を記入します。
- d** 音声ファイル No. と音声ファイル再生（モード）を記入します。
- e** 緊急優先ブロックで放送する回線に“○”をつけます。

放送階選択プログラムシートの書きかた

放送階選択 - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

放送階選択スイッチにスピーカー回線を割り当てます。
117 ページの回線 No. 設定プログラムシート -2 を使用します。

放送エリア /自火報 エリア	出火階情報	放送階選択 スイッチNo. /ELNo.	出力 スイッチNo.	スピーカー エリア	B3 駐車場	B3 共用通路	B2 駐車場	B2 共用通路	B1 憩いの広場	1F ロビー	エ ス カ レ ー	エ レ ベ ー タ ー
					マトリックス 出力No.		緊急指定					
					1		2					
					1	2	3	4	5	6	7	8
地下3階 (地下3階)	34	1	1		○	○						
地下2階 (地下2階)	33	2	2				○	○				
地下1階 (地下1階)	32	3	3						○			
1階東 (1階東)	101	4	4							○		
1階西 (1階西)	201	5	5									
2階東 (2階東)	102	6	6									
2階西 (2階西)	202	7	7									
3階東 (3階東)	103	8	8									
3階西 (3階西)	203	9	9									
4階東 (4階東)	104	10	10									

- a** マトリックスユニットを使用する場合は、5 回線単位にマトリックス出力 No. を記入します。
- b** 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- c** 放送階選択スイッチで放送する回線に “○” をつけます。
- d** 縦軸に出力スイッチ No. と、放送エリア/自火報エリア、出火階情報を記入します。
- e** 緊急指定する場合には、緊急指定欄に “○” をつけます。

放送階選択 - 同一階連動階の設定プログラムシートの書きかた

119 ページの回線 No. 設定プログラムシート -3 を使用します。

放送エリア /自火報 エリア	出火階情報	放送階選択 スイッチNo. /ELNo.	放送エリア	地下3階	地下2階	地下1階	1階東	1階西	2階東	2階西	3階東	3階西
				1	2	3	4	5	6	7	8	9
地下3階 34 (地下3階)		1	1	●	○	○	○	○				
地下2階 33 (地下2階)		2	2	○	●	○	○	○				
地下1階 32 (地下1階)		3	3	○	○	●	○	○				
1階東 101 (1階東)		4	4	○	○	○	●	●	○	○		
1階西 201 (1階西)		5	5	○	○	○	●	●	○	○		
2階東 102 (2階東)		6	6						●	●	○	○
2階西 202 (2階西)		7	7						●	●	○	○
3階東 103 (3階東)		8	8								●	●
3階西 203 (3階西)		9	9								●	●
4階東 104 (4階東)		10	10									

- a** 横軸に放送階選択スイッチ No. に対応する放送エリア名、階を記入します。
- b** 縦軸に放送エリア/自火報エリア、出火階情報を記入します。
- c** 同じ階の放送エリアは同一階のグループとして“●”を記入します。
連動階の放送エリアは“○”を記入します。

業務ブロックプログラムシートの書きかた

業務ブロック - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

121 ページの回線 No. 設定プログラムシート -4 を使用します。

放送エリア	業務ブロック スイッチNo.	出力 スイッチNo.	音声ファ イルNo.	音声ファ イル再生 モード	スピーカー エリア	<table border="1"> <tr> <td>B3 駐車場</td> <td>B3 共用 通路</td> <td>B2 駐車場</td> <td>B2 共用 通路</td> <td>B1 憩いの 広場</td> <td>1F ロビー</td> <td>エ スカ レ ター</td> <td>エ レ ベ ーター</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>								B3 駐車場	B3 共用 通路	B2 駐車場	B2 共用 通路	B1 憩いの 広場	1F ロビー	エ スカ レ ター	エ レ ベ ーター		
					B3 駐車場	B3 共用 通路	B2 駐車場	B2 共用 通路	B1 憩いの 広場	1F ロビー	エ スカ レ ター	エ レ ベ ーター											
					マトリクス 出力No.	1				2													
					スピーカー 回線																		
緊急指定	1	2	3	4	5	6	7	8															
事務所	1	21	CO1	繰り返し	<input type="radio"/>																		
従業員 食堂休憩所	2	22			<input type="radio"/>																		
機械室	3	23																					
電気室	4	24																					
駐車場 管理室	5	25																					
地下 駐車場	6	26			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>														
ロビー、 広場	7	27							<input type="radio"/>	<input type="radio"/>													
テナント	8	28																					
共用	9	29			<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		<input type="radio"/>			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>										
	10	30																					

- a** 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b** マトリクスユニットを使用する場合は、5 回線単位にマトリクス出力 No. を記入します。
- c** 縦軸に業務ブロックスイッチ No. に対応する放送エリア／自火報エリアを記入し、出力スイッチ No. も記入します。
- d** 音声ファイル No. と音声ファイル再生（モード）を記入します。
- e** 緊急指定をする場合には緊急指定の欄に“○”をつけます。
- f** 業務ブロック選択スイッチで放送する回線 No. に“○”をつけます。

BGM ブロックプログラムシートの書きかた

BGM ブロック - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

123 ページの回線 No. 設定プログラムシート -5 を使用します。

放送エリア	マトリクス 入力No.	BGM ブロック スイッチNo.	スピーカー 出力 スイッチNo.	スピーカー エリア															
				B3 駐車場	B3 共用通路	B2 駐車場	B2 共用通路	B1 憩いの広場	1F ロビー	エ スカレーター	エ ベーター								
				マトリクス 出力No.															
				1	2	3	4	5	6	7	8	9							
従業員系	11	1	31																
駐車場	12	2	32	○	○	○	○												
ロビー	12	3	33					○	○										
食料品	12	4	34																
レストラン	12	5	35																
テナント	12	6	36																
テナント	12	7	37																
共用	12	8	38																
	2	9	39																
	2	10	40																

c
f
c
d

- a** 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b** マトリクスユニットを使用する場合は、5 回線単位にマトリクス出力 No. を記入します。
- c** 縦軸に BGM ブロックスイッチ No. に対応する放送エリア名を記入します。
- d** BGM ブロック選択スイッチに対応する出力 No. を記入します。
- e** BGM ブロック選択スイッチで放送する回線 No. に“○”をつけます。
- f** マトリクスユニットを使用する場合は、マトリクス入力 No. を記入します。

マルチ業務リモコンプログラムシートの書きかた

マルチ業務リモコン 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

125 ページの回線 No. 設定プログラムシート -6 を使用します。
 プログラムシートのタイトル部にマルチ業務リモコンの No. を記入してお使いください。

放送エリア	マトリックス 入力No.	ブロック スイッチNo.	スピーカー エリア	B3 駐車場	B3 共用 通路	B2 駐車場	B2 共用 通路	B1 憩いの 広	1F ロビー	エ ス レ タ ー	エ レ ベ ー タ ー	a		
			マトリックス 出力No.	1		2							b	
			スピーカー 回線	1	2	3	4	5	6	7	8			9
			緊急指定	1	2	3	4	5	6	7	8		9	f
B3	3	1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>										
B2		2			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								
B1		3					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
共用		4		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>								
従業員		5												
		6												
		7												
c	d	c	e											

- a** 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b** マトリックスユニットを使用する場合は、5 回線単位にマトリックス出力 No. を記入します。
- c** 縦軸にブロックスイッチ No. に対応する放送エリア名を記入します。
- d** マトリックスユニットを使用する場合はマトリックス入力 No. を記入します。
- e** 緊急指定をする場合には緊急指定の欄に “○” をつけます。
- f** マルチ業務リモコンで放送する回線 No. に “○” をつけます。

起動入力プログラムシートの書きかた

起動入力 - 回線 No. 設定 (単元放送時) プログラムシートの書きかた

127 ページの回線 No. 設定プログラムシート -7 を使用します。

放送エリア	接続機器名	起動チャイム	放送機器名	音声ファイルNo.	音声ファイル再生モード	起動入力No.	スピーカーエリア	緊急指定												
								1	2	3	4	5	6	7	8					
5F子供服	5F 業務リモコン		業務リモコン			1														
5Fおもちゃ文具	5F 業務リモコン		業務リモコン			2														
6F贈答品、日用雑貨	6F 業務リモコン		業務リモコン			3														
7Fレストラ.	7F 業務リモコン		業務リモコン			4														
8Fレストラ.	7F 業務リモコン		業務リモコン			5														
開店、閉店	報時チャイム		報時チャイム1			6														
開店前、閉店後	アナウンス	CO1	アナウンスU1			7	○													
30分毎	CM	CO3	アナウンスU2			8														
12時	定時チャイム		音声ファイル	MO1	1回のみ	9														
3時	定時チャイム		音声ファイル	MO2	1回のみ	10														

- a** 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b** 単元放送のときは記入しません。
- c** 縦軸に起動入力 No. に対応する放送エリア、接続機器名、放送機器名を記入します。
- d** 起動時のチャイムをならす場合には音声ファイル No. を記入します。
- e** 音声ファイル No. と音声ファイル再生 (モード) を記入します。
- f** 緊急指定をする場合には緊急指定の欄に “○” をつけます。
- g** 起動入力で放送する回線 No. に “○” をつけます。

起動入力プログラムシートの書きかた（つづき）

起動入力 - 回線 No. 設定（多元放送時）プログラムシートの書きかた

129 ページの回線 No. 設定プログラムシート -8 を使用します。

放送エリア	接続機器名	マトリックス 入力No.	放送機器名	音声 ファイルNo.	音声 ファイル再生 モード	起動入力No.	緊急指定	スピーカー エリア									
								マトリックス 出力No.	スピーカー 回線No.	1	2	3	4	5	6	7	8
5F子供服	5F 業務リモコン	5	業務 リモコン			1											
5Fおもちゃ 文具	5F 業務リモコン	5	業務 リモコン			2											
6F贈答品、 日用雑貨	6F 業務リモコン	6	業務 リモコン			3											
7Fレストラ	7F 業務リモコン	7	業務 リモコン			4											
8Fレストラ	7F 業務リモコン	7	業務 リモコン			5											
開店、閉店	報時チャイム	8	報時チャイム1			6											
開店前、 閉店後	アナウンス	9	アナウンス U1			7											
30分毎	CM	9	アナウンス U2			8											
12時	定時チャイム		音声 ファイル	MO1	1回のみ	9											
3時	定時チャイム		音声 ファイル	MO2	1回のみ	10											

- a** 横軸にスピーカー回線 No. に対応するスピーカーエリア名、階を記入します。
- b** 5 回線単位にマトリックス出力 No. を記入します。
- c** 縦軸に起動入力 No. に対応する放送エリア、接続機器名、放送機器名を記入します。
- d** マトリックス入力 No. を記入します。
- e** 音声ファイル No. と音声ファイル再生（モード）を記入します。
- f** 緊急指定をする場合には緊急指定の欄に“○”をつけます。
- g** 起動入力で放送する回線 No. に“○”をつけます。

一斉はずしプログラムシートの書きかた

一斉はずし - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

131 ページの回線 No. 設定プログラムシート -9 を使用します。

一斉放送名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
緊急地震	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
非常一斉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
緊急優先一斉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
業務一斉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

a

c

b

a 横軸にスピーカー回線 No. を記入します。

b 縦軸に一斉放送名を記入します。

c 放送する回線 No. に “○” をつけます。

制御出力スイッチ名称プログラムシートの書きかた

制御出力スイッチ名称 - 回線 No. 設定プログラムシートの書きかた

133 ページの回線 No. 設定プログラムシート -10 を使用します。

制御出力	制御出力 スイッチ	出力スイ ッチNo.
1階	1	51
2階	2	52
3階	3	53
4階	4	54
5階	5	55
	6	56
	7	57
	8	58
	9	59
	10	60

a

b

a 縦軸に放送エリアを記入します。

b 縦軸に出力スイッチ No. を記入します。

設定の保存について

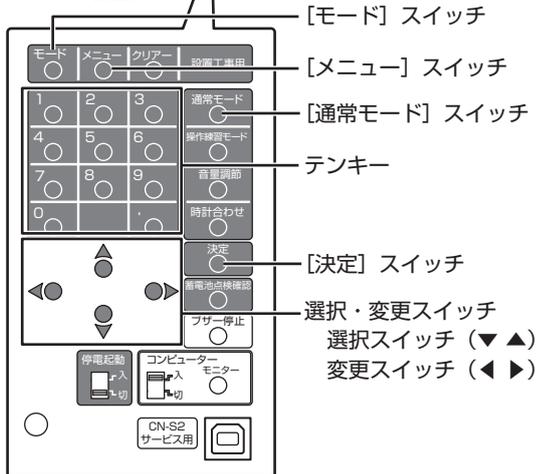
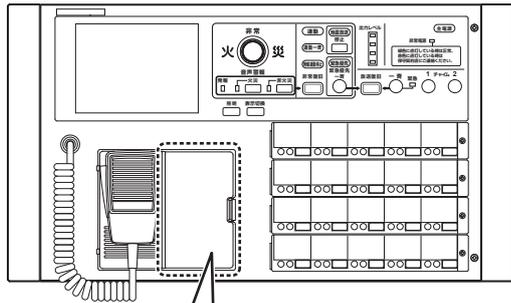
設定の保存のしかた

各種設定の共通項目です。

各種設定が終了したあとは、[通常モード] スイッチを押してスタートメニュー画面まで戻ります。このとき [モード] スイッチを押すと「設定が保存されていません」と表示され、変更した内容を保存するかどうか液晶画面上で確認できます。

内容が変更されていない場合にはこのメッセージは表示されません。

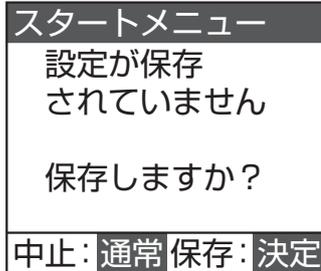
非常業務操作器 (EM-E156)



1 設定データ保存画面を表示させる

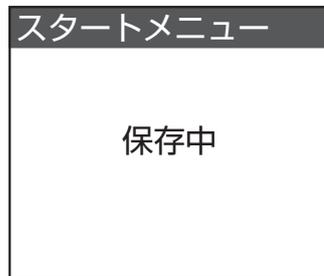
各設定を行なったときに設定した内容に変更がある場合は、保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。

- ・ 中止：[通常モード] スイッチを押します。(設定の変更をしません。)
- ・ 保存：[決定] スイッチを押します。



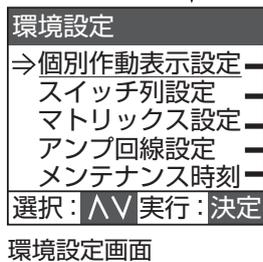
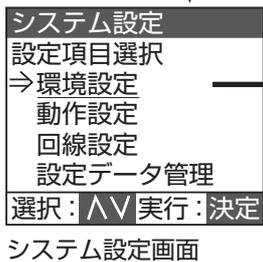
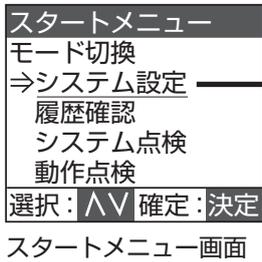
2 保存を終了する

設定データの保存が終了すると、本体が再起動します。



環境設定の画面構成

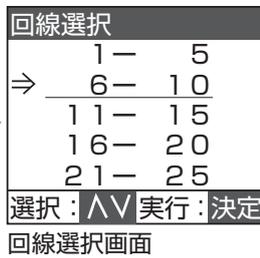
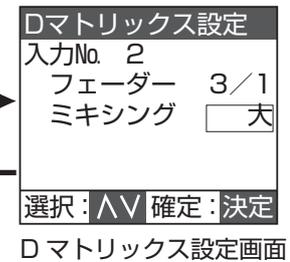
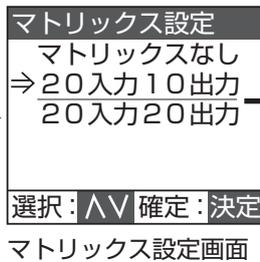
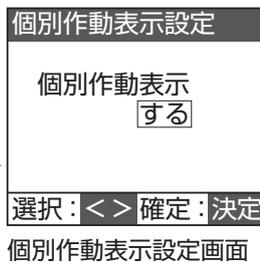
環境設定の画面の流れは次のようになっています。



【決定】 スイッチを押すと、→ (矢印の方向) 次の画面に移ります。

【メニュー】 スイッチを押すと、一つ前の画面に戻ります。

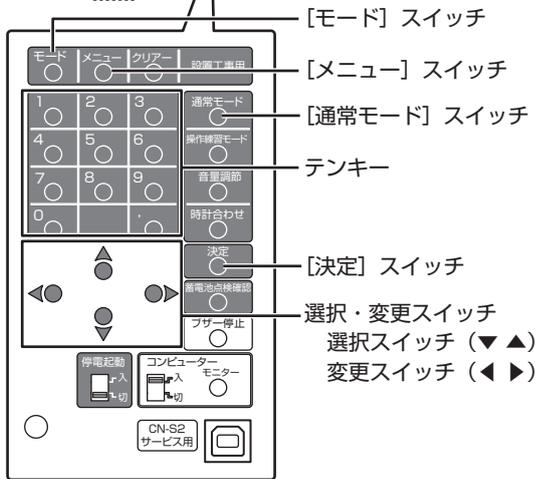
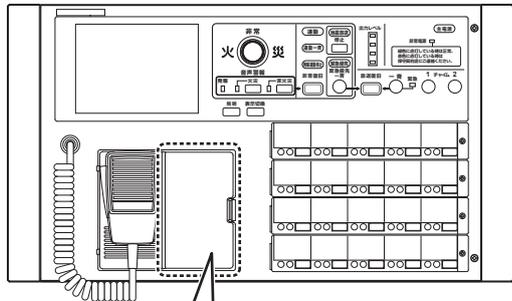
▲▼(選択スイッチ)を押すと、選択項目(カーソル)が移動します。



環境設定画面の表示

スタートメニューから環境設定画面を表示させます。スイッチ列設定、マトリックス設定、メンテナンス時刻の各メニュー画面を表示し、設定作業をするために必要な共通の手順です。

非常業務操作器 (EM-E156)

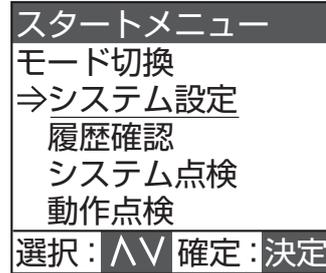


1 「スタートメニュー」画面を表示させる

[モード] スイッチを3秒以上押し、「スタートメニュー」画面を表示させます。

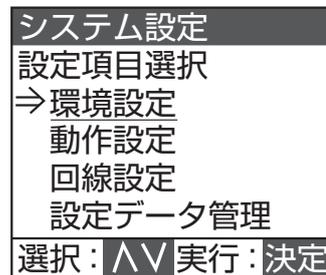
2 「システム設定」画面を表示させる

「スタートメニュー」画面で選択スイッチを使い「システム設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



3 「環境設定」画面を表示させる

「システム設定」画面で選択スイッチを使い「環境設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



以下、下記の設定項目に移動します。

- 個別作動表示設定：
「個別作動表示の設定」(☞ 27 ページ)
- スイッチ列設定：
「スイッチ列の設定」(☞ 28 ページ)
- マトリックス設定：
「デジタルマトリックスユニットの設定」(☞ 29 ページ)
- アンブ回線設定：
「アンブ回線の設定」(☞ 30 ページ)
- メンテナンス時刻：
「メンテナンス時刻の設定」(☞ 32 ページ)

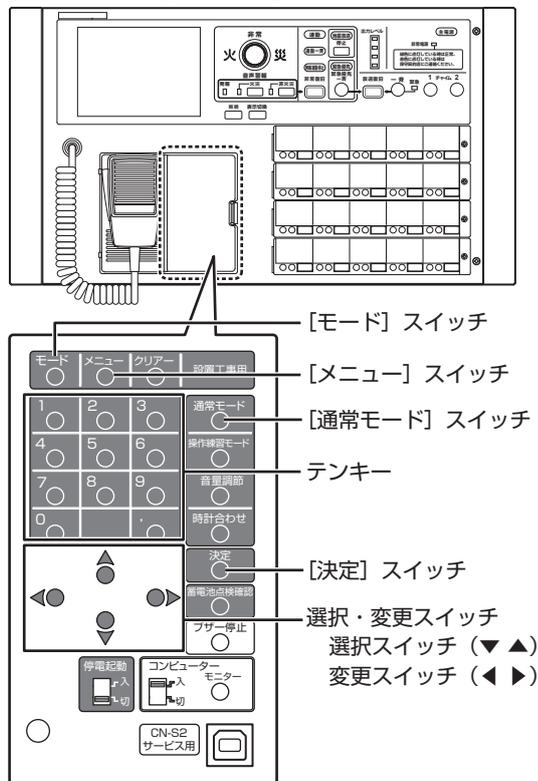
メモ： _____

- 前の画面に戻るときは、[メニュー] スイッチを押します。

個別作動表示の設定

放送階選択スイッチの作動表示灯の動作を設定します。
放送階選択スイッチ No. とスピーカー回線 No. を同一の
No. に固定して使用するための設定を行います。

非常業務操作器 (EM-E156)

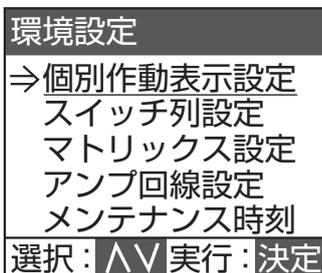


1 「環境設定」画面を表示させる

「環境設定画面の表示」(☞ 26 ページ) の操作を行い、
「環境設定」画面を表示させます。

2 「個別作動表示設定」画面を表示させる

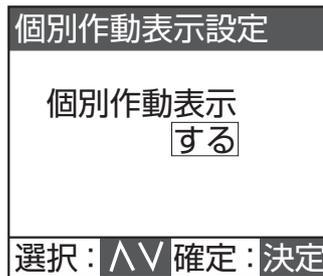
「環境設定」画面で選択スイッチを使い「個別作動表示
設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



3 個別作動表示を設定する

変更スイッチで設定を選択します。

- ・「しない」(初期値):
放送階選択スイッチの作動表示灯はスイッチの状態
を表示します。
- ・「する」:
業務放送を行うとき、放送階選択スイッチの作動表
示灯は、放送グループにかかわらずスピーカー回線
の状態を表示します。非常放送、緊急地震速報の
ときは、スイッチの状態を表示します。
「する」を選択して [決定] スイッチを押すと、変
更確認画面が表示されます。再度 [決定] スイッチ
を押すと「する」に設定されます。



ご注意:

- 「する」に設定した場合は、以下の設定値に影響し
ますのでご注意ください。
 - すべての放送で、マトリクス設定「なし」で
動作します。
 - すべての放送で、放送階選択の回線 No. 設定で
の設定値が無効になり、初期値で動作します。
(☞ 52 ページ)

メモ:

- 本体放送あるいは非常リモコン放送以外で点灯し
たスピーカー回線表示は、放送階選択スイッチの操
作で消灯することはできません。業務放送の優先順
位に従った放送切替になります。
- 本体放送あるいは非常リモコン放送において業務
ブロックを設定した場合、業務ブロックスイッチに
よって点灯したスピーカー回線表示は、放送階選択
スイッチの操作で消灯することはできません。[放
送復旧] スイッチで放送を終了させて、再度放送先
を選択してください。
- 本体放送あるいは非常リモコン放送において一斉
はずしを設定している場合、一斉放送中に回線を増
やすときは、放送階選択スイッチを2回押してく
ださい。

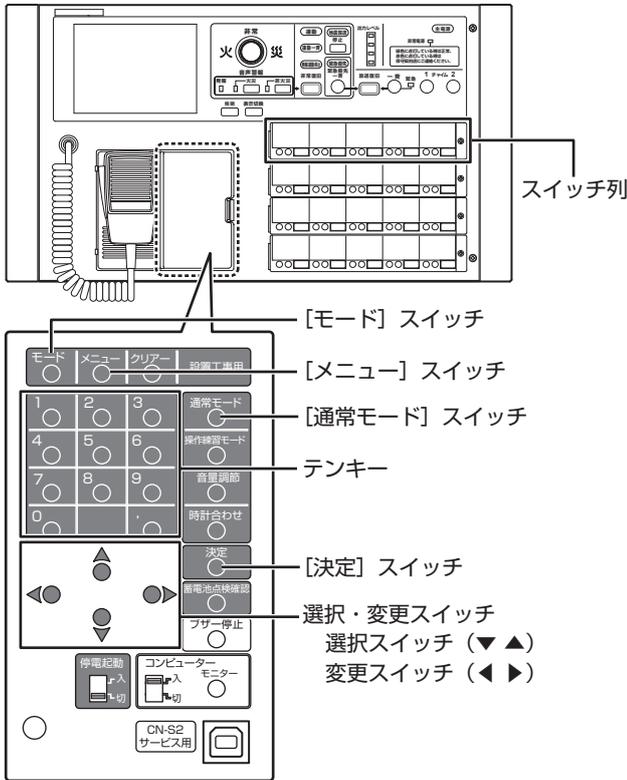
4 設定を終了する

入力が終わったら [決定] スイッチを押します。「環境
設定」画面に戻り、個別作動表示設定を終了します。
内容が変更されている場合は設定を保存します。
「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

スイッチ列の設定

出力スイッチの一部を、スイッチ列（出力スイッチ 5 個）単位で、緊急優先ブロックスイッチ、業務ブロックスイッチ、BGM ブロックスイッチ、制御出力ブロックスイッチに設定します。

非常業務操作器 (EM-E156)



3 スイッチ列総数および各ブロックを設定する

選択スイッチで設定したい項目を選択し、テンキーで数値を入力するか、変更スイッチで数値を変更します。

スイッチ列設定	
スイッチ列総数	32列
緊急優先	16列
放送階選択	8列
業務ブロック	8列
選択	▲▼
確定	決定

設定項目	初期設定	選択肢
スイッチ列総数	64 列	・ 4 ~ 64 列
緊急優先ブロック	0 列	・ 0 ~ 63 列
放送階選択	64 列	・ 総数から他の列数を引いた値
業務ブロック	0 列	・ 0 ~ 63 列
BGM ブロック	0 列	・ 0 ~ 63 列
制御出力ブロック	0 列	・ 0 ~ 4 列

- メモ：
- 各項目で [クリア] スイッチを押すと、その項目の設定値は初期値に戻ります。
 - 放送階選択スイッチの列数は、総数から他の列数を引いた値になり、設定操作はありません。なお、放送階選択スイッチの列数の最低値は「1」で、[クリア] スイッチを押した時は「4」になります。
 - スイッチ列の配列は出力スイッチ No.1 ~ No.5 のスイッチ列より、順に緊急優先ブロックスイッチ、放送階選択スイッチ、業務ブロックスイッチ、BGM ブロックスイッチ、制御出力ブロックスイッチと配置されます。
 - スイッチ列総数が、各ブロックスイッチに割り当てるスイッチ列の合計より多い場合、ブロックスイッチに設定されていない回線追加ユニット (EM-ES5) は、「個別回線表示ブロック (放送中の回線のオン/オフを個別に表示する機能)」に自動的に設定されます。

1 「環境設定」画面を表示させる

「環境設定画面の表示」(☞ 26 ページ) の操作を行い、「環境設定」画面を表示させます。

2 「スイッチ列設定」画面を表示させる

「環境設定」画面で選択スイッチを使い「スイッチ列設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。

環境設定
個別作動表示設定
⇒ スイッチ列設定
マトリックス設定
アンプ回線設定
メンテナンス時刻
選択：▲▼ 実行：決定

4 設定を終了する

入力が終了したら [決定] スイッチを押します。「環境設定」画面に戻り、スイッチ列の設定を終了します。内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

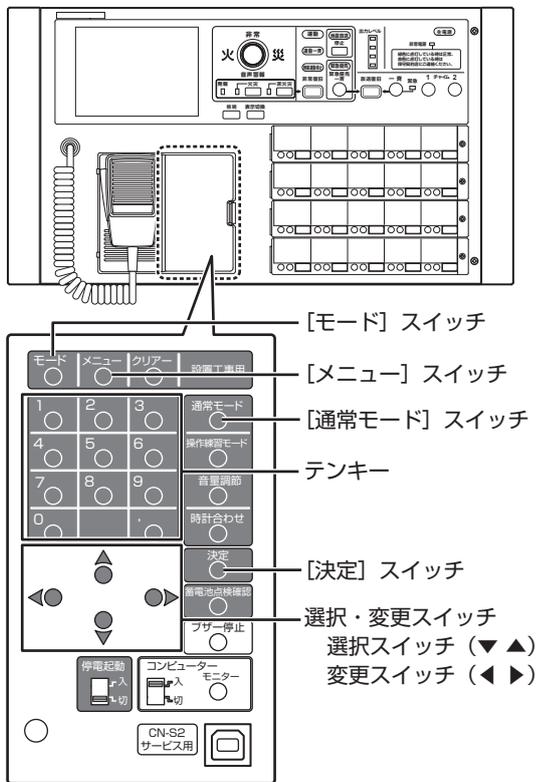
デジタルマトリックスユニットの設定

デジタルマトリックスユニットの入出力の状態（マトリックスなしの設定も含む）を設定します。マトリックスユニットがある場合（多元放送システム）は、さらに5回線ごとにマトリックス出力 No. を設定し、フェーダー／ミキシングの設定も行います。

メモ： _____

- 個別作動表示が「する」に設定されている場合は、デジタルマトリックスユニットの設定はできません。（※ 27 ページ）
- マトリックス設定を変更する場合は、回線 No. 設定の内容を確認したうえで動作させてください。

非常業務操作器 (EM-E156)



1 「環境設定」画面を表示させる

「環境設定画面の表示」(※ 26 ページ) の操作を行い、「環境設定」画面を表示させます。

2 「マトリックス設定」画面を表示させる

「環境設定」画面で選択スイッチを使い「マトリックス設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。

環境設定

個別作動表示設定
 スイッチ列設定
 ⇒マトリックス設定
 アンプ回線設定
 メンテナンス時刻

選択：▲▼ 実行：決定

3 使用するマトリックスを選択する

選択スイッチで使用するマトリックスを選択し、[決定] スイッチを押します。

- ・マトリックスなしを選択すると「環境設定」画面に戻ります。

マトリックス設定

⇒マトリックスなし
 20入力10出力
 20入力20出力

選択：▲▼ 決定：決定

4 フェーダーおよびミキシングを設定する

フェーダーと、その入力を通常レベルで放送しているときにミキシングソースとなる側のミキシングレベルを設定します。

選択スイッチで「フェーダー」または「ミキシング」を選択し、変更スイッチで変更します。

Dマトリックス設定

入力No. 1
 フェーダー 1/1
 ミキシング なし

選択：▲▼ 決定：決定

設定項目	選択肢
フェーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 0/0 (フェードインなし / フェードアウトなし) ・ 1/1 (フェードイン1秒 / フェードアウト1秒) ・ 2/2 (フェードイン2秒 / フェードアウト2秒) ・ 3/3 (フェードイン3秒 / フェードアウト3秒) ・ 3/1 (フェードイン3秒 / フェードアウト1秒)
ミキシング	<ul style="list-style-type: none"> ・ なし ・ 大 (0dB) ・ 中 (-10dB) ・ 小 (-20dB)

メモ： _____

- フェーダーで「0/0」以外を選択し、放送を行なった場合、フェードイン時間内で放送が重なると、はじめの放送の音量が急に大きくなってからフェードアウトする場合があります。
- フェーダーについては、EM-1500 シリーズ「設置説明書 (工事編)」をご覧ください。

5 入力 No. を変更し、フェーダーとミキシングを設定する

カーソルが「フェーダー」の位置にあるときに選択スイッチを押すと、前の入力 No. に戻ります。

「ミキシング」の位置にあるときに選択スイッチを押すと、次の入力 No. に進みます。

入力 No. 1 ~ 20 に対して手順 4、5 の設定を繰り返します。

次ページへつづく

デジタルマトリックスユニットの設定 (つづき)

6 デジタルマトリックス出力を決定する

すべての入力終了したら [決定] スイッチを押します。「マトリックス出力設定」画面に移ります。

7 各スピーカー回線のマトリックス出力を設定する

選択スイッチでカーソルを移動して出力 No. を選択し、変更スイッチまたはテンキーで入力します。

- 選択肢：1 ~ 20 (マトリックス設定値による)
「デジタルマトリックスユニットの設定」(※ 29 ページ)

マトリックス出力設定		
SP回線		出力
1-	5	1
6-	10	2
11-	15	3
16-	20	4
選択：▲▼ 変更：◀▶		

メモ： _____

- [クリア] スイッチを押すと「1」になります。
- 「マトリックス出力設定」画面は複数画面 (スピーカー回線 1 ~ 320) あります。選択スイッチで矢印を最下部または最上部まで移動したときに次の画面が表示されます。

8 設定を終了する

入力が終了したら [決定] スイッチを押します。環境設定画面に戻り、デジタルマトリックスユニットの設定を終了します。

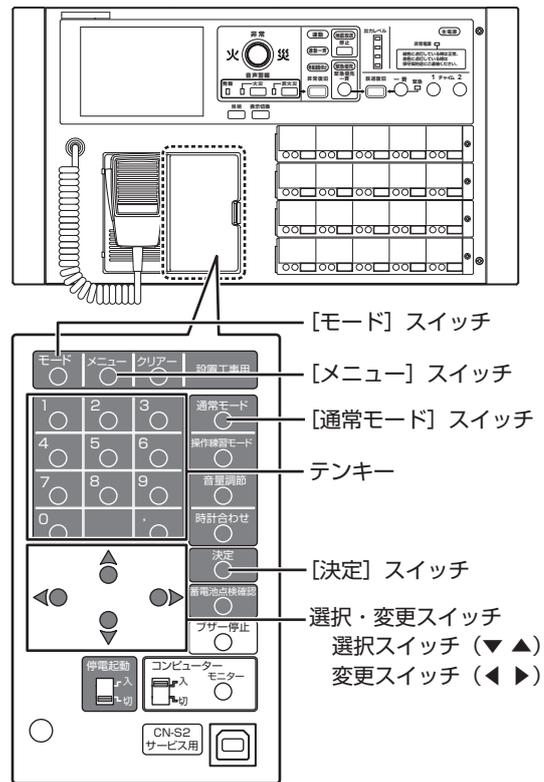
内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(※ 24 ページ) をご覧ください。

アンプ回線の設定

デジタルパワーアンプを使用して、システム点検モードのインピーダンス測定機能を使用する場合のみ、アンプ回線設定を行なってください。(※ 12 ページ)

実際のシステムの接続にしたがって、各スピーカー回線 No. に対して接続されたパワーアンプのアドレス No. を設定します。

非常業務操作器 (EM-E156)



1 「環境設定」画面を表示させる

「環境設定画面の表示」(※ 26 ページ) の操作を行い、「環境設定」画面を表示させます。

2 「回線選択」画面を表示させる

「環境設定」画面で選択スイッチを使い「アンプ回線設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。

環境設定	
個別作動表示設定	
スイッチ列設定	
マトリックス設定	
⇒アンプ回線設定	
メンテナンス時刻	
選択：▲▼ 実行：決定	

3 設定したいスピーカー回線を選択する

選択スイッチでスピーカー回線を選択し、[決定] スイッチを押します。

回線選択	
1 -	5
⇒ 6 -	10
11 -	15
16 -	20
21 -	25
選択：△▽	実行：決定

4 パワーアンプのアドレス No. を設定する

選択スイッチで入力先を選択し、テンキーで入力します。

アンプ設定	
回線No.	1 - 5
アドレスNo.	1 0
アドレスNo.	1 1
アドレスNo.	
選択：△▽	確定：決定

メモ： _____

- 入力できる値は 0 ~ 40 です。
41 以上の数値を入力すると、40 として表示されます。0 を入力すると、空欄として表示されます。
- パワーアンプは最大 3 台を並列接続できるため、選択した回線に接続するアドレス No. を 3 つまで入力することができます。アドレス No. を重複して設定した場合は、一方が削除されます。
- 未接続のアドレス No. を設定すると、インピーダンス測定時に「設定異常」となります。

5 設定継続の有無を選択する

続けてアンプ回線の設定をするかどうかを選択します。

- 終了：
[通常モード] スイッチを押します。
手順 2 の画面に戻ります。
- 継続：
[決定] スイッチを押します。
手順 3 の画面に戻ります。

継続確認
設定を継続しますか？
終了：通常 継続：決定

内容が変更されている場合は設定を保存します。
「設定の保存について」(P. 24 ページ) をご覧ください。

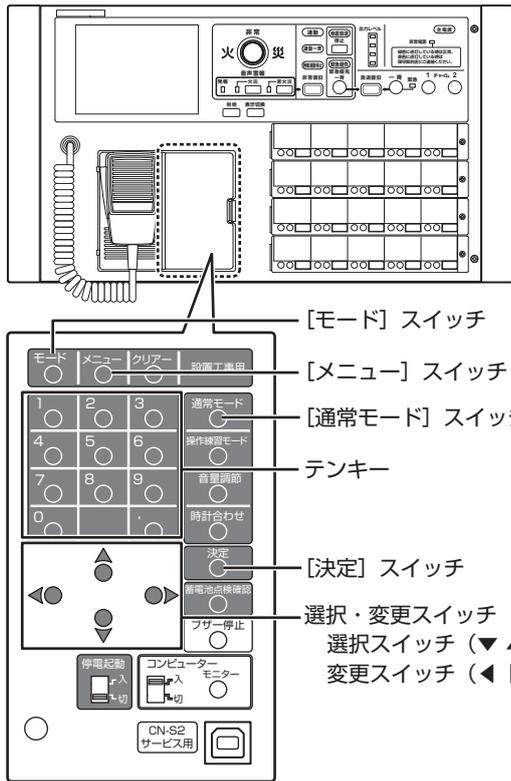
メモ： _____

- アンプ回線設定を終了したあとに再度アンプ回線設定画面を開くと、アドレス No. は昇順に並び変わります。

メンテナンス時刻の設定

本システムのメンテナンス時刻の設定をします。
 メンテナンスとは、設定した時刻に蓄電池点検や履歴データの保存を行うことです。システム設定、システム点検、動作点検、操作練習、非常放送中にメンテナンス時刻になった場合、メンテナンスは行われません。
 メンテナンス時刻は本システムを使用しない時刻を設定してください。

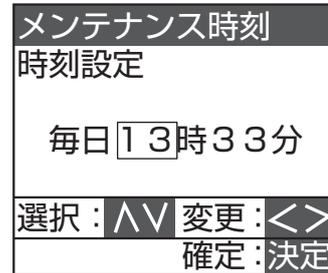
非常業務操作器 (EM-E156)



3 メンテナンス時刻を設定する

選択スイッチで時、分にカーソルを合わせ、変更スイッチまたはテンキーにて入力します。

- ・ 選択肢 時：0～23
分：0～59



4 設定を終了する

入力終了したら [決定] スイッチを押します。「環境設定」画面に戻り、メンテナンス時刻の設定を終了します。

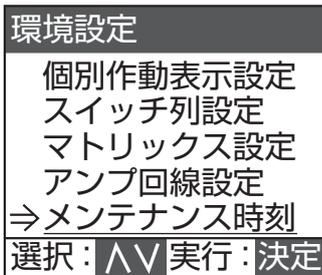
内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

1 「環境設定」画面を表示させる

「環境設定画面の表示」(☞ 26 ページ) の操作を行い、「環境設定」画面を表示させます。

2 「メンテナンス時刻」画面を表示させる

「環境設定」画面で選択スイッチを使い「メンテナンス時刻」を選択し、[決定] スイッチを押します。



非常放送の動作設定の画面構成

非常放送の動作設定の画面の流れは以下のようになっています。

スタートメニュー	
モード切替	
⇒システム設定	
履歴確認	
システム点検	
動作点検	
選択：△▽	確定：決定

スタートメニュー画面

システム設定	
設定項目選択	
環境設定	
⇒動作設定	
回線設定	
設定データ管理	
選択：△▽	実行：決定

システム設定画面

動作設定	
⇒非常放送	
業務放送	
業務優先順位	
業務チャイム	
BGMミキシング	
選択：△▽	実行：決定

動作設定画面

非常放送設定	
⇒非常時動作	
タイマー動作	
音声警報／ガイド	
RB制御	
選択：△▽	実行：決定

非常放送設定画面

非常時動作	
自火報動作	連動
手動起動動作	階別
発報連動停止	連動
発報火災切換	発報
発報放送形式	2回
選択：△▽	確定：決定

非常時動作画面

タイマー動作	
火災放送移行時間	39分30秒
一斉移行時間	15分 0秒
選択：△▽	確定：決定

タイマー動作画面

警報メッセージ	
音声警報言語	日本
非常操作ガイド	あり
選択：△▽	確定：決定

警告メッセージ画面

RB制御	
RB制御	一斉
選択：△▽	確定：決定

RB制御画面

【決定】 スイッチを押すと、→ (矢印の方向) 次の画面に移ります。

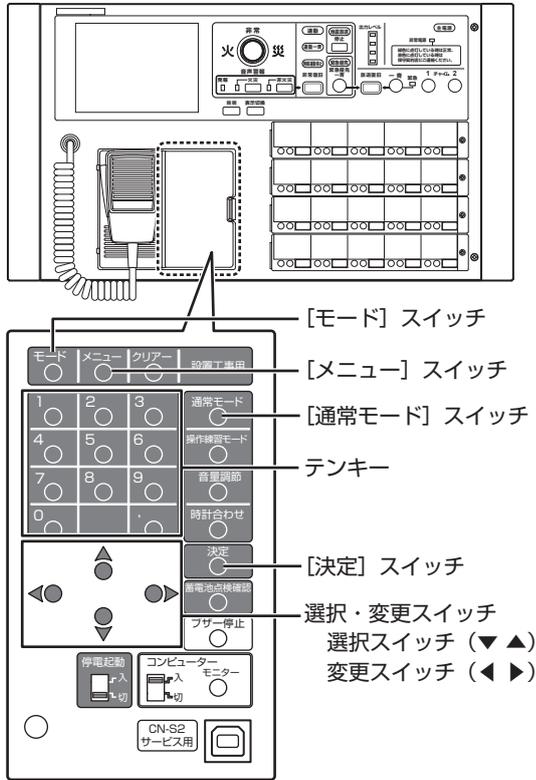
【メニュー】 スイッチを押すと、一つ前の画面に戻ります。

▲▼(選択スイッチ) を押すと、選択項目 (カーソル) が移動します。

非常放送設定画面の表示

非常時動作設定、タイマー動作設定、発報形式他、警報メッセージの各メニュー画面を表示し、設定作業をするために必要な共通の手順です。

非常業務操作器 (EM-E156)



1 「スタートメニュー」画面を表示させる

[モード] スイッチを3秒以上押し、「スタートメニュー」画面を表示させます。

2 「システム設定」画面を表示させる

「スタートメニュー」画面で選択スイッチを使い「システム設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。

スタートメニュー	
モード切換	
⇒システム設定	
履歴確認	
システム点検	
動作点検	
選択：▲▼	確定：決定

3 「動作設定」画面を表示させる

「システム設定」画面で選択スイッチを使い「動作設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。

システム設定	
設定項目選択	
環境設定	
⇒動作設定	
回線設定	
設定データ管理	
選択：▲▼	実行：決定

4 「非常放送設定」画面を表示させる

「動作設定」画面で選択スイッチを使い「非常放送」を選択し、[決定] スイッチを押します。

動作設定	
⇒非常放送	
業務放送	
業務優先順位	
業務チャイム	
BGMミキシング	
選択：▲▼	実行：決定

以下、下記の項目に移動します。

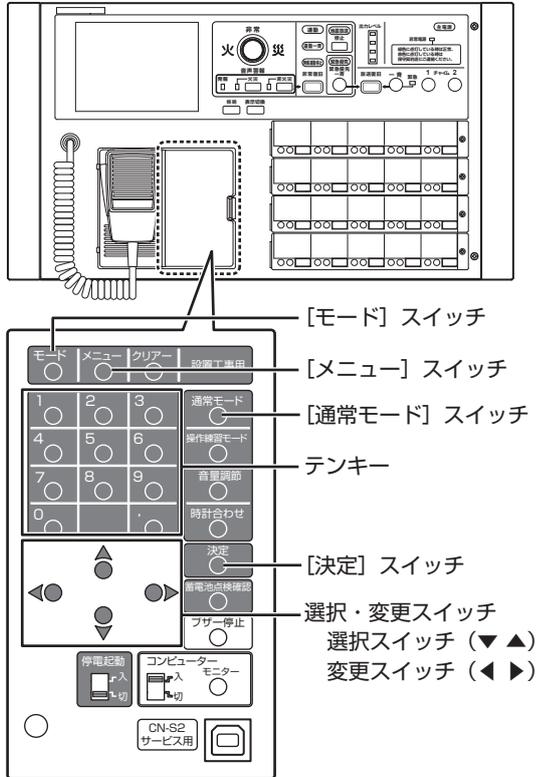
- ・非常時動作
「非常時動作の設定」(P.35)
- ・タイマー動作
「タイマー動作の設定」(P.36)
- ・音声警報／ガイド
「警報メッセージの設定」(P.37)
- ・RB 制御
「RB 制御の設定」(P.38)

メモ：
 ● 前の画面に戻るときは、[メニュー] スイッチを押します。

非常時動作の設定

自火報起動時の連動、手動起動時の放送階連動、発報連動停止、発報火災切換などの各種設定を行います。

非常業務操作器 (EM-E156)



3 各動作の設定をする

選択スイッチで設定したい項目を選択し、変更スイッチで動作を選択します。

非常時動作	
自火報動作	連動
手動起動動作	階別
発報連動停止	連動
発報火災切換	発報
発報放送形式	2回
選択:	▲▼
確定:	決定

設定項目	初期設定	選択肢
自火報動作	連動	・ 連動／一斉
手動起動動作	階別	・ 階別／連動
発報連動停止	連動	・ 連動／停止
発報火災切換	発報	・ 発報／火災
発報放送形式	2回	・ 2回／連続／15秒／30秒

メモ:

- 各設定項目の選択肢の詳細については「非常時動作の設定項目について」(P.35 ページ) をご覧ください。

4 設定を終了する

すべての設定が終了したら [決定] スイッチを押します。「非常放送設定」画面に戻り、非常時動作の設定を終了します。内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(P.24 ページ) をご覧ください。

1 「非常放送設定」画面を表示させる

「非常放送設定画面の表示」(P.34 ページ) の操作を行い、「非常放送設定」画面を表示させます。

2 「非常時動作」画面を表示させる

選択スイッチで「非常時動作」を選択し、[決定] スイッチを押します。

非常放送設定

⇒非常時動作

タイマー動作

音声警報／ガイド

RB制御

選択: ▲▼ 実行: 決定

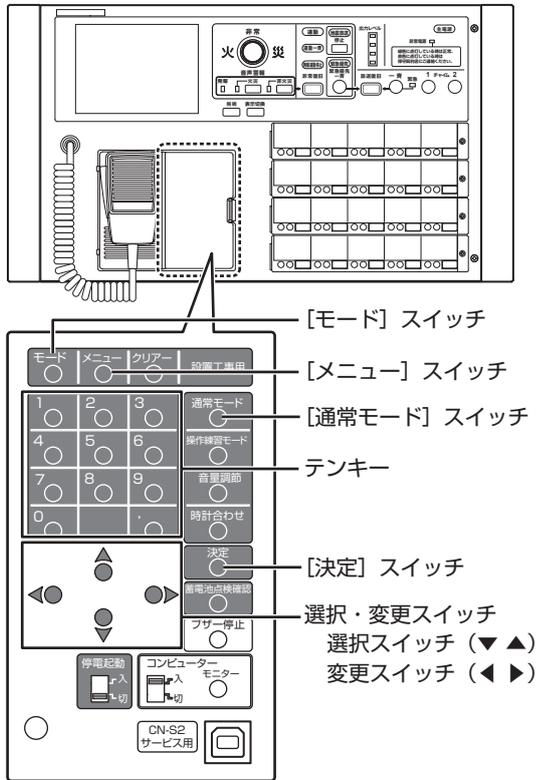
非常時動作の設定項目について

設定項目	選択肢	設定内容
自火報動作	連動	自動火災報知設備からの信号によって、出火階と連動階へ非常放送を行うモードです。
	一斉	自動火災報知設備からの信号によって、全回線へ非常放送を行うモードです。
手動起動動作	階別	押された放送階選択スイッチのスピーカー回線のみを動作させます。
	連動	押された放送階選択スイッチとその連動階のスピーカー回線を動作させます。
発報連動停止	連動	階別信号 (EL) のみ受信したときにスピーカーから発報放送を行うモードです。
	停止	階別信号 (EL) のみ受信したときにスピーカーから放送を行わずにブザー音 (火災音信号) を鳴動させるモードです。
発報火災切換	発報	階別信号 (EL) と火災確認信号 (EF) を同時に受信する、または手動起動時に発報放送、火災放送を放送するモードです。
	火災	階別信号 (EL) と火災確認信号 (EF) を同時に受信する、または手動起動時にただちに火災放送を放送するモードです。
発報放送形式	2回	発報放送を2回のみ放送します。
	連続	発報放送を連続して放送します。
	15秒	発報放送を約15秒間隔で2回繰り返します。
	30秒	発報放送を約30秒間隔で2回繰り返します。

タイマー動作の設定

火災放送移行時間、一斉移行時間の各種設定を行います。

非常業務操作器 (EM-E156)



■ 火災放送移行時間

火災放送移行時間は、火災放送移行タイマーのスタートから終了（タイムアップ）までの時間です。

火災放送移行タイマーは発報放送の開始時または火災音信号の鳴動開始時にスタートします。

その後、非火災放送の放送操作を行わない場合は、火災放送移行タイマーの終了時（タイムアップ時）に自動的に火災放送へ移行します。非火災放送の放送操作を行なった場合は、火災放送移行タイマーが停止し火災放送へ移行しません。

工場出荷時は 2 分に設定されていますが、所轄消防署と相談のうえ、設定してください。

■ 一斉移行時間

一斉移行時間は、一斉移行タイマーのスタートから終了（タイムアップ）までの時間です。

一斉移行タイマーは火災放送の開始時にスタートします。

その後、非火災放送の放送操作を行わない場合は、一斉移行タイマーの終了時（タイムアップ時）に自動的に一斉火災放送へ移行します。非火災放送の放送操作を行なった場合は、火災放送移行タイマーが停止し、一斉火災放送へ移行しません。

工場出荷時は OFF（一斉火災放送へ移行しない）に設定されていますが、所轄消防署と相談のうえ、設定してください。

1 「非常放送設定」画面を表示させる

「非常放送設定画面の表示」(☞ 34 ページ) の操作を行い、「非常放送設定」画面を表示させます。

2 「タイマー動作」画面を表示させる

選択スイッチで「タイマー動作」を選択し、[決定] スイッチを押します。

非常放送設定

非常時動作
⇒ **タイマー動作**
音声警報 / ガイド
RB制御

選択：▲▼ 実行：決定

3 火災放送移行時間および一斉移行時間の設定をする

選択スイッチで設定する分または秒の数値を選択し、変更スイッチで数値を変更します。

分を選択していると 1 分単位で、秒を選択していると 30 秒単位で変更できます。

タイマー動作

火災放送移行時間
39分 30秒

一斉移行時間
15分 0秒

選択：▲▼ 確定：決定

設定項目	初期設定	選択肢
火災放送移行時間	2 分	• 2 分～ 39 分 30 秒 (30 秒単位)
一斉移行時間	OFF (-分 -- 秒)	• OFF(-分 -- 秒) • 0 分～ 39 分 30 秒 (30 秒単位)

4 設定を終了する

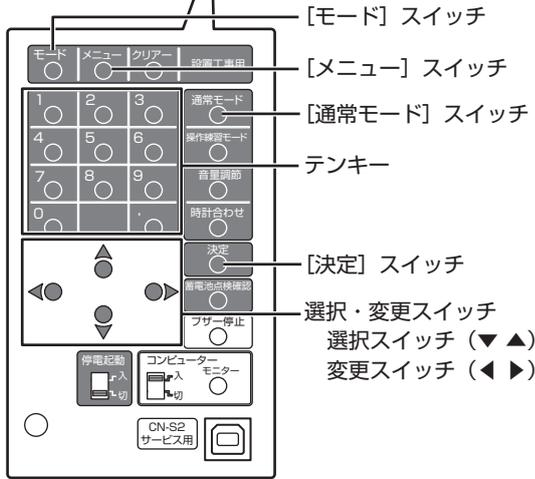
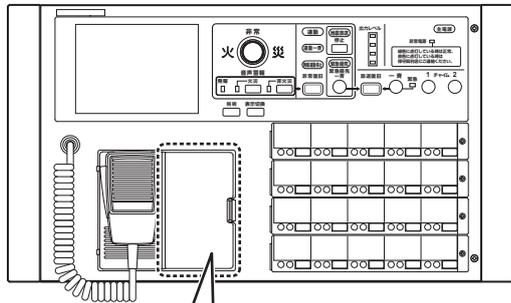
すべての設定が終了したら [決定] スイッチを押します。「非常放送設定」画面に戻り、タイマー動作の設定を終了します。

内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

警報メッセージの設定

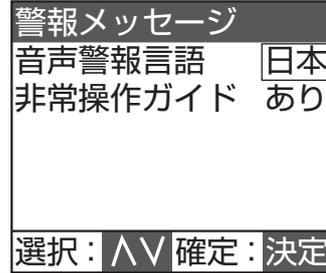
音声警報の言語、非常操作ガイドの各種設定を行います。

非常業務操作器 (EM-E156)



3 音声警報言語および非常操作ガイドの設定をする

選択スイッチで設定したい項目を選択し、変更スイッチで変更します。



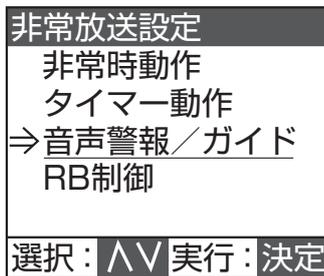
設定項目	初期設定	選択肢
音声警報言語	日本	<ul style="list-style-type: none"> 日本：日本語の音声警報メッセージを放送します。 日英：日本語の音声警報メッセージのあと、英語の音声警報メッセージを放送します。
非常操作ガイド	あり	<ul style="list-style-type: none"> あり：音声ガイド機能が非常起動されたあとにモニタースピーカーから音声で非常業務放送設備の操作を案内しますので、慌てることなく非常誘導放送を行えます。 なし：音声ガイド機能は停止します。防災センターなど訓練された専門の担当者が配置されている防火対象物では「なし」に設定します。

1 「非常放送設定」画面を表示させる

「非常放送設定画面の表示」(☞ 34 ページ) の操作を行い、「非常放送設定」画面を表示させます。

2 「警報メッセージ」画面を表示させる

選択スイッチで「音声警報／ガイド」を選択し、[決定] スイッチを押します。



4 設定を終了する

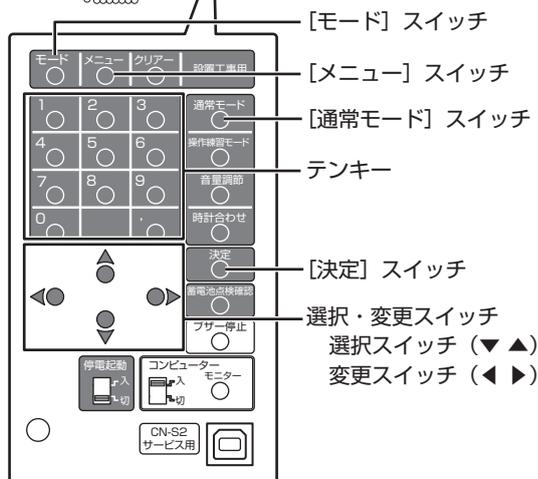
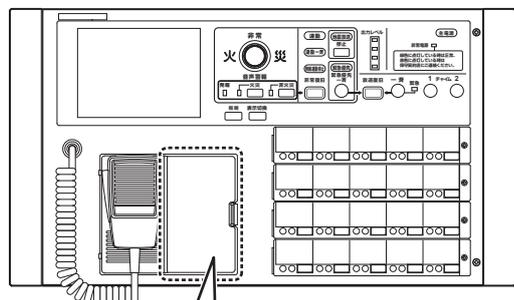
すべての設定が終了したら [決定] スイッチを押します。「非常放送設定」画面に戻り、警報メッセージの設定を終了します。

内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

RB 制御の設定

RB 制御の設定を行います。

非常業務操作器 (EM-E156)



3 RB 制御の設定をする

変更スイッチで動作を選択します。



- 一斉
非常起動時に、すべての RB 端子が非常信号を出力 (DC 24V から無電圧へ変化) します。
- 個別
非常起動時に、各回線制御ユニットのスピーカー回線制御が 1 回路でも動作すると、当該ユニットの RB 端子が非常信号を出力 (DC 24 V から無電圧へ変化) します。

4 設定を終了する

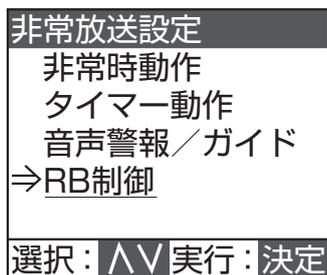
設定が終了したら【決定】スイッチを押します。「非常放送設定」画面に戻り、RB 制御の設定を終了します。内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(P.24 ページ) をご覧ください。

1 「非常放送設定」画面を表示させる

「非常放送設定画面の表示」(P.34 ページ) の操作を行い、「非常放送設定」画面を表示させます。

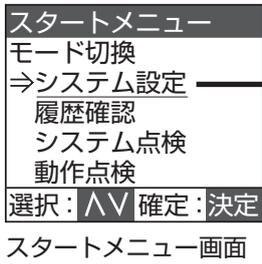
2 「RB 制御」画面を表示させる

選択スイッチで「RB 制御」を選択し、【決定】スイッチを押します。



業務放送の動作設定の画面構成

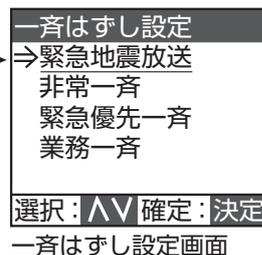
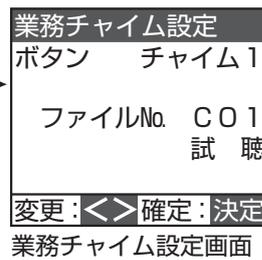
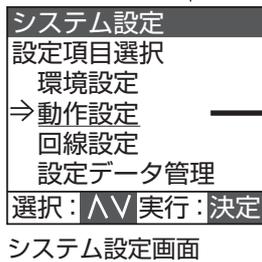
業務放送の動作設定の画面の流れは以下のようになっています。



【決定】スイッチを押すと、→ (矢印の方向) 次の画面に移ります。

【メニュー】スイッチを押すと、一つ前の画面に戻ります。

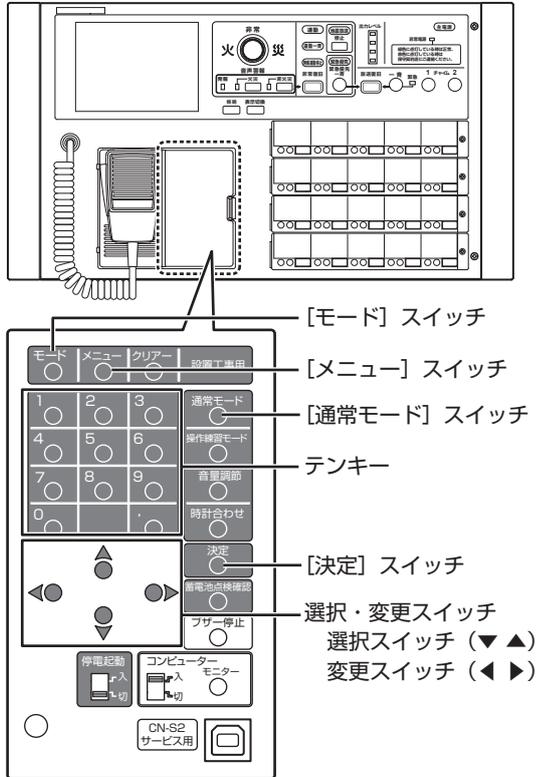
▲▼(選択スイッチ)を押すと、選択項目(カーソル)が移動します。



動作設定画面の表示

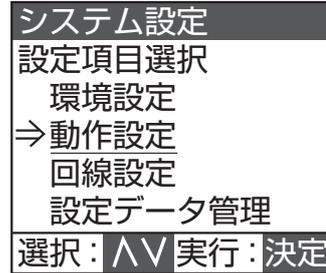
業務放送、業務優先順位の設定などの各メニュー画面を表示し、設定作業をするために必要な共通の手順です。

非常業務操作器 (EM-E156)



3 「動作設定」画面を表示させる

「システム設定」画面で選択スイッチを使い「動作設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



以下、下記の項目に移動します。

- 業務放送
「業務放送の設定」(☞ 41 ページ)
- 業務優先順位
「業務放送の優先順位設定」(☞ 43 ページ)
- 業務チャイム
「業務チャイムの設定」(☞ 45 ページ)
- BGM ミキシング
「BGM ミキシングの設定」(☞ 46 ページ)
- 一斉はずし
「一斉はずしの設定」(☞ 47 ページ)

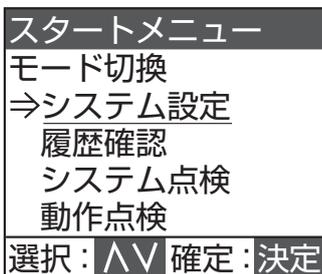
メモ: _____
● 前の画面に戻るときは、[メニュー] スイッチを押します。

1 「スタートメニュー」画面を表示させる

[モード] スイッチを3秒以上押し、「スタートメニュー」画面を表示させます。

2 「システム設定」画面を表示させる

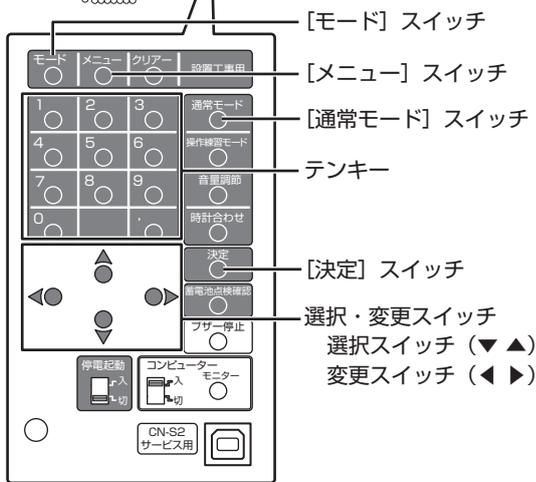
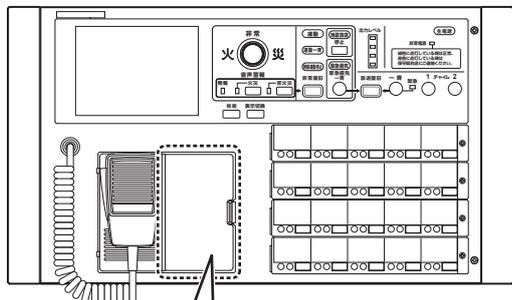
「スタートメニュー」画面で選択スイッチを使い「システム設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



業務放送の設定

業務放送の各種設定を行います。

非常業務操作器 (EM-E156)



3 各項目の設定をする

選択スイッチで設定したい項目を選択し、変更スイッチで動作を選択します。

業務放送設定	
一斉スイッチ	緊急
業務RM一斉	緊急
放送優先順位	先
緊急優先入力	アナ
緊急優先RB制御	一斉
選択: ▲▼	実行: 決定

設定項目	初期設定	選択肢
一斉スイッチ	緊急	・ 緊急 ・ 通常
業務 RM 一斉	緊急	・ 緊急 ・ 通常
放送優先順位	後	・ 先 ・ 後
緊急優先入力	オフ	・ アナ ・ オフ
緊急優先 RB 制御	なし	・ なし ・ 一斉 ・ 個別
起動モード	レベル	・ レベル ・ パルス
状態出力パターン	A	・ A ・ B ・ C
外部起動機器名	あり	・ あり ・ なし

1 「動作設定」画面を表示させる

「動作設定画面の表示」(P. 40 ページ) の操作を行い、「動作設定」画面を表示させます。

2 「業務放送設定」画面を表示させる

「動作設定」画面で選択スイッチを使い「業務放送」を選択し、[決定] スイッチを押します。

動作設定
非常放送
⇒業務放送
業務優先順位
業務チャ임
BGMミキシング
選択: ▲▼ 実行: 決定

メモ:

- 各設定項目の選択肢の詳細については「業務放送の設定項目について」(P. 42 ページ) をご覧ください。
- 起動モードを「パルス」に設定した場合、音声ファイル放送の起動のみパルス動作になります。この場合、再生モードが「繰返し」でも、上位放送の割り込み終了後、音声ファイル放送は停止したままとなります。

4 設定を終了する

すべての設定が終了したら [決定] スイッチを押します。「動作設定」画面に戻り、業務放送の設定を終了します。内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(P. 24 ページ) をご覧ください。

業務放送の設定（つづき）

業務放送の設定項目について

業務放送設定	
一斉スイッチ	緊急
業務RM一斉	緊急
放送優先順位	先
緊急優先入力	アナ
緊急優先RB制御	一斉
選択：▲▼ 実行：決定	



業務放送設定	
緊急優先入力	アナ
緊急優先RB制御	一斉
起動モード	レベル
状態出力パターン	A
外部起動機器名	なし
選択：▲▼ 実行：決定	

設定項目	選択肢	設定内容
一斉スイッチ	緊急	一斉スイッチによる一斉放送時に、緊急リレーを ON にする設定です。
	通常	一斉スイッチによる一斉放送時に、緊急リレーを ON にしない設定です。
業務 RM 一斉	緊急	業務リモコンによる一斉放送時に、緊急リレーを ON にする設定です。
	通常	業務リモコンによる一斉放送時に、緊急リレーを ON にしない設定です。
放送優先順位	先	放送中に同一の優先度の放送を後から入れた時、先の放送を有効にする設定です。
	後	放送中に同一の優先度の放送を後から入れた時、後の放送を有効にする設定です。
緊急優先入力	アナ	緊急優先放送時に、アナウンスユニットの入力を使用する設定です。
	OFF	緊急優先放送時に、アナウンスユニットの入力を使用しない設定です。
緊急優先 RB 制御	なし	緊急優先放送時に非常制御信号（RB）を制御しません。
	一斉	緊急優先放送時にすべての非常制御信号（RB）を制御します。
	個別	緊急優先放送時に回線制御ユニット単位で非常制御信号（RB）を制御します。
起動モード	レベル	音声ファイルの起動パターンを「レベル」に設定します。
	パルス	音声ファイルの起動パターンを「パルス」に設定します。
状態出力パターン	A	状態出力のパターンを「A」、「B」、「C」のいずれかに設定します。詳しくは「主入力制御ユニット（EM-Y152）状態出力パターン」（※ 42 ページ）をご覧ください。
	B	
	C	
外部起動機器名	あり	業務放送時の放送表示で、電話ページング／報時チャイム／アナウンスユニット／無線の放送表示を各起動機器の名称とする設定です。
	なし	業務放送時の放送表示で、電話ページング／報時チャイム／アナウンスユニット／無線の放送表示を外部起動 A/B/C に変える設定です。

■ 主入力制御ユニット（EM-Y152）状態出力パターン

端子台状態出力	CN-C25	パターン A	パターン B	パターン C
1	1	火災放送中	一斉火災放送中	火災放送中
2	2	マイク放送中	マイク放送中	マイク放送中
3	3	音声警報メッセージ出力中	音声警報メッセージ出力中	音声警報メッセージ出力中
4	4	一斉放送中	一斉放送中	一斉火災放送中
5	5	本体と非常リモコンの業務放送中	本体と非常リモコンの業務放送中	本体と非常リモコンの業務放送中
6	—	地震放送中	地震放送中	地震放送中
7	—	異常発生中	異常発生中	異常発生中
—	6	緊急優先放送中	緊急優先放送中	緊急優先放送中
—	7	一斉火災放送中	火災放送中	一斉放送中
—	8	発報放送中	発報放送中	発報放送中
—	9	非火災放送中	非火災放送中	非火災放送中
—	10	通常モード以外	通常モード以外	通常モード以外

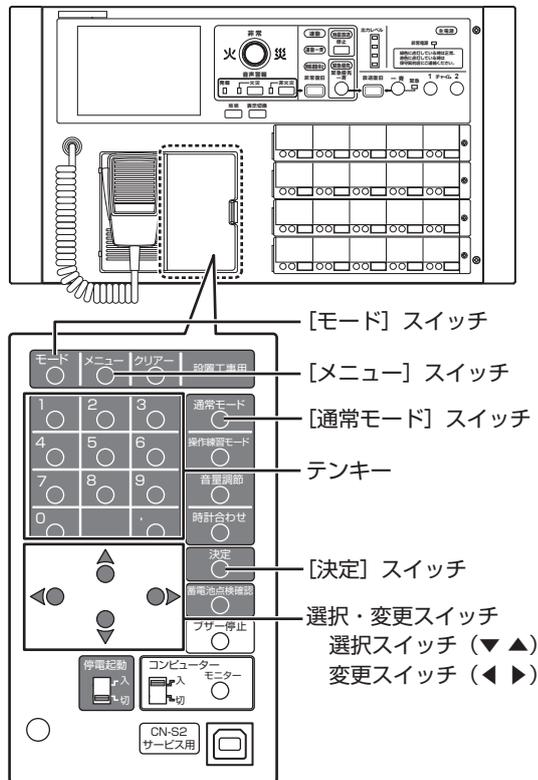
■ 外部起動機器名

業務放送 カテゴリ	業務放送（別名）	EM-E156 音声入力端子
報時チャイム 1	外部起動 A1	報時チャイム
報時チャイム 2	外部起動 A2	報時チャイム
報時チャイム 3	外部起動 A3	報時チャイム
アナウンスユニット 1	外部起動 B1	アナウンスユニット／無線
アナウンスユニット 2	外部起動 B2	アナウンスユニット／無線
無線	外部起動 B3	アナウンスユニット／無線
電話ページング 1	外部起動 C1	電話ページング
電話ページング 2	外部起動 C2	電話ページング
電話ページング 3	外部起動 C3	電話ページング

業務放送の優先順位設定

業務放送の優先順位の設定を行います。
緊急優先放送が最優先となり、業務放送時の同一順位内の放送は「放送優先順位」によって優先順位が設定されます。
(☞ 41 ページ)

非常業務操作器 (EM-E156)



1 「動作設定」画面を表示させる

「動作設定画面の表示」(☞ 40 ページ) の操作を行い、「動作設定」画面を表示させます。

2 「業務優先順位設定」画面を表示させる

「動作設定」画面で選択スイッチを使い「業務優先順位」を選択し、「決定」スイッチを押します。

動作設定	
非常放送	
業務放送	
⇒業務優先順位	
業務チャイム	
BGMミキシング	
選択：▲▼	実行：決定

3 各項目を設定する

選択スイッチで変更する項目を選択し、テンキーで数値を入力するか変更スイッチで数値を変更します。
選択スイッチでカーソルを最下部または最上部まで移動すると、画面に表示される項目が切り換わります。

業務優先順位設定	
本体	2 位
非常リモコン	2 位
業務リモコン	2 位
音声ファイル	2 位
選択：▲▼	確定：決定

設定項目	初期設定	選択肢
本体	2 位	・ 2 位～ 24 位
非常リモコン		
業務リモコン		
音声ファイル		
マルチ RM1 ～ 8		
ページング 1 ～ 3		
報時チャイム 1 ～ 3		
アナウンス U1 ～ 2		
無線		
緊急優先	1 位	(変更できません。)
BGM	25 位	(変更できません。)

メモ：

- 各項目で [クリア] スイッチを押すと「2」になります。
- 若い数字ほど優先度が高くなります。
- 同じ優先順位を設定したときの動作は、業務放送設定の「放送優先順位」に従います。(☞ 41 ページ)

4 設定を終了する

すべての設定が終了したら [決定] スイッチを押します。「動作設定」画面に戻り、業務放送の優先順位の設定を終了します。

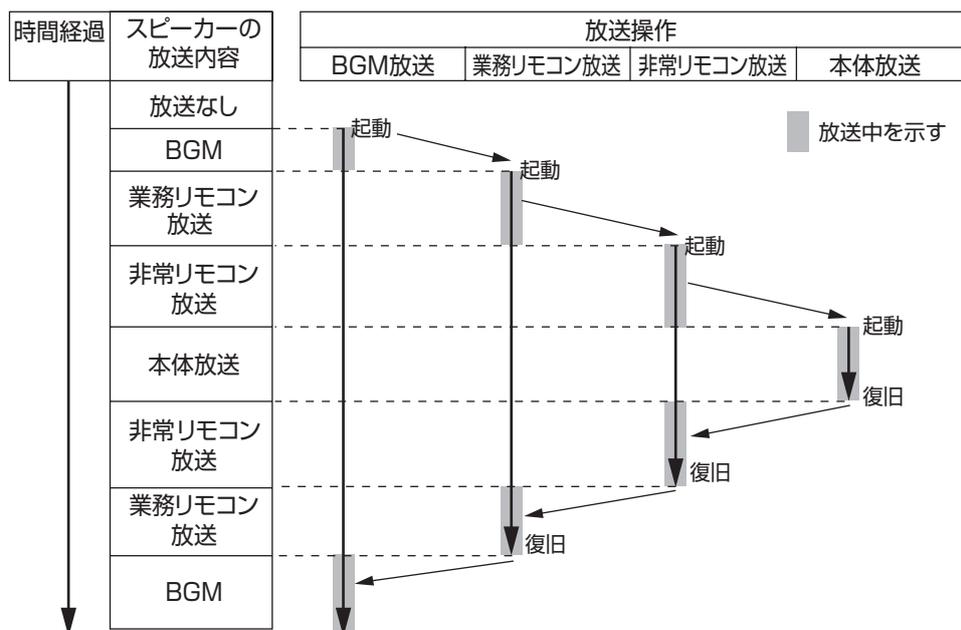
内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

業務放送の優先順位設定（つづき）

業務放送の優先順位

業務放送の優先順位の設定と動作の例です。ただし、システム設定の内容や操作によっては必ずしもこのように動作しない場合がありますのでご注意ください。

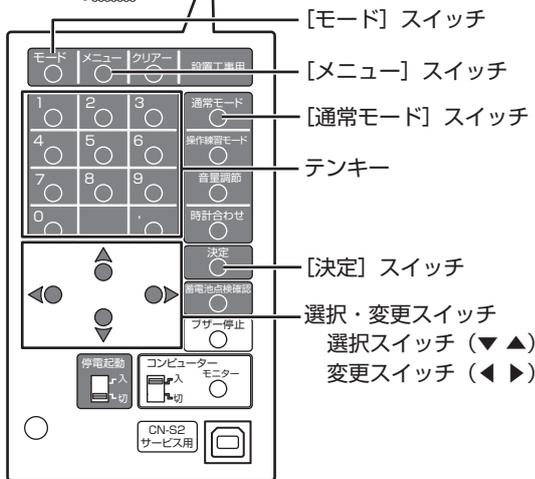
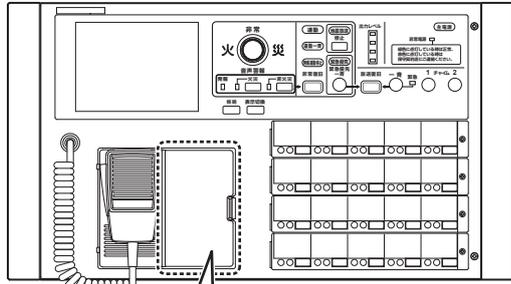
本体：2位	非常リモコン：2位	業務リモコン：3位	BGM：25位	放送優先順位：後
-------	-----------	-----------	---------	----------



業務チャイムの設定

業務チャイムの種類、およびファイル No. などの各種設定を行います。

非常業務操作器 (EM-E156)

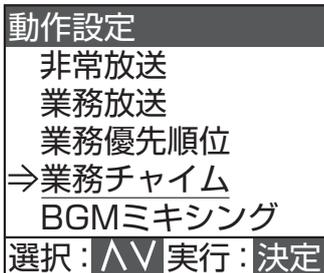


1 「動作設定」画面を表示させる

「動作設定画面の表示」(☞ 40 ページ) の操作を行い、「動作設定」画面を表示させます。

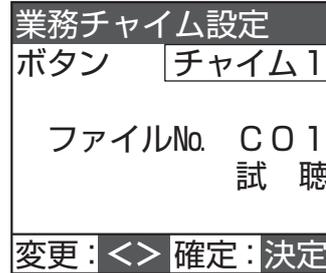
2 「業務チャイム」設定画面を表示させる

「動作設定」画面で選択スイッチを使い「業務チャイム」を選択し、[決定] スイッチを押します。



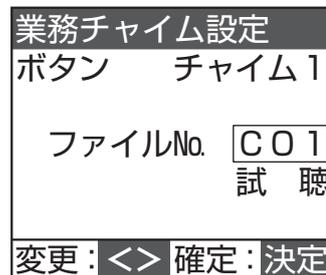
3 ボタンを選択する

選択スイッチで「ボタン」を選択し、変更スイッチでボタンの種類を選択します。



4 ファイル No. を選択する

選択スイッチで「ファイル No.」を選択し、変更スイッチでファイル No. を選択します。



設定項目	初期設定	選択肢
チャイム 1	C01	• C01 ~ C06
チャイム 2	C02	C01 : 4 音上り速い C02 : 4 音下り速い C03 : 4 音上り遅い C04 : 4 音下り遅い C05 : 2 音 C06 : 1 音
業務 RM	C01	• M01 ~ M45 (ユーザーファイル)

メモ:

- 選択操作は「C01」～「C06」→「M01」～「M45」→「なし」とループし、逆回転も可能です。
- ファイルを試聴するには、選択スイッチで「試聴」を選択します。
- ユーザーファイル (M01 ~ M45) については、「非常業務操作器 (EM-E156) に内蔵されている業務用放送メッセージ」(☞ 144 ページ) をご覧ください。

5 設定継続の有無を選択する

すべての設定が終了したら [決定] スイッチを押し、続けて、業務チャイムの設定を継続するかどうかを選択します。

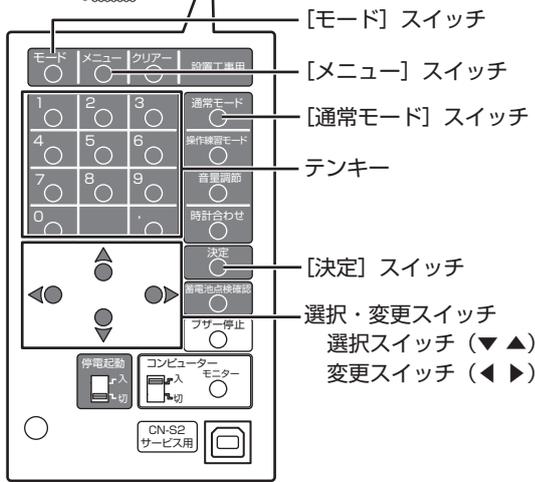
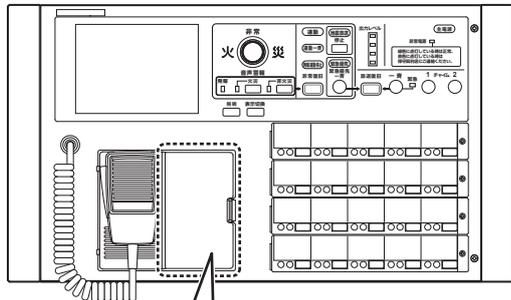
- 終了:
[通常モード] スイッチを押します。
手順 2 の画面に戻ります。
- 継続:
[決定] スイッチを押します。
手順 3 の画面に戻ります。

内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

BGM ミキシングの設定

BGM ミキシング、本体マイク連動の各種設定を行います。

非常業務操作器 (EM-E156)



3 BGM ミキシングおよび本体マイク連動を設定する

選択スイッチで設定したい項目を選択し、変更スイッチで設定値を変更します。



設定項目	初期設定	選択肢
BGM ミキシング	なし	・ なし (ミックスしない) ・ 大 (BGM : - 10 dB) ・ 小 (BGM : - 20 dB)
本体マイク連動	なし	・ あり 本体放送時、マイクスイッチまたはミキサー音声検出によって BGM の音量を下げます。 ・ なし 本体放送時、常に BGM の音量を下げます。

メモ :

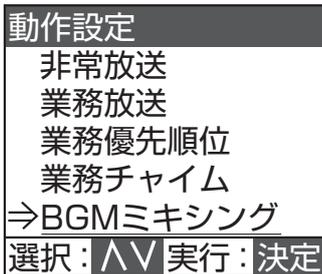
- BGM ミキシングと本体マイク連動は依存関係にあり、BGM ミキシングが「なし」設定で本体マイク連動を「あり」に設定しても、無効扱いとなります。

1 「動作設定」画面を表示させる

「動作設定画面の表示」(☞ 40 ページ) の操作を行い、「動作設定」画面を表示させます。

2 「BGM ミキシング設定」画面を表示させる

「動作設定」画面で選択スイッチを使い「BGM ミキシング」を選択し、[決定] スイッチを押します。



4 設定を終了する

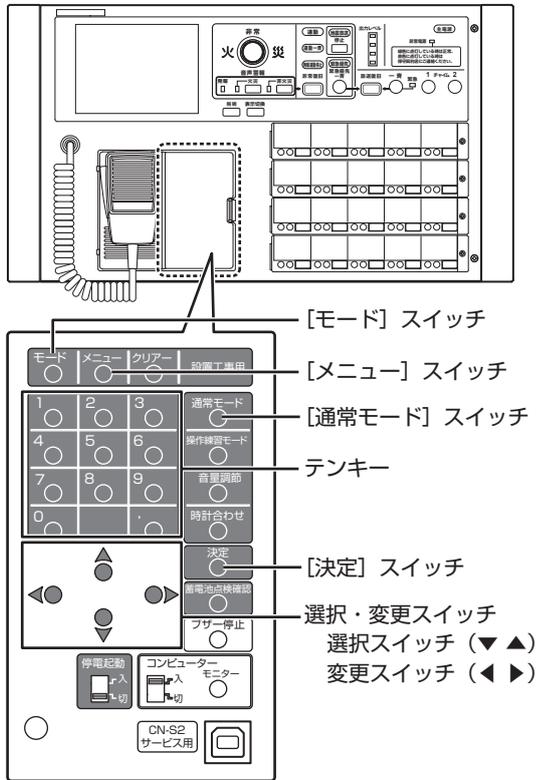
すべての設定が終了したら [決定] スイッチを押します。「動作設定」画面に戻り、BGM ミキシングの設定を終了します。

内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

一斉はずしの設定

一斉放送時に放送しないスピーカー回線の設定を行います。

非常業務操作器 (EM-E156)



4 スピーカー回線 No. (接続端子番号) の設定をする

放送するスピーカー回線 No. (接続端子番号) を指定します。スピーカー回線は 320 個設定できます。スピーカー回線 No. (接続端子番号) が指定されていない場合は放送されません。選択スイッチでカーソルを移動して出力スイッチ、変更スイッチまたはテンキーで入力します。入力後、テンキーの「,」を押すと入力内容が確定し、カーソルが次の入力欄に移動します。

一斉はずし回線設定

緊急地震放送

1,	2
13,	14
25,	
,	

入力後: , 確定: 決定

設定項目	初期設定	選択肢
緊急地震放送	320 回線	・ 1 ~ 320
非常一斉	すべてが	
緊急優先一斉	設定された状態	
業務一斉		

メモ: _____

- 個別作動表示を「しない」に設定している場合は、すべての放送階選択スイッチの作動表示灯は一斉はずしの設定内容にかかわらず点灯します。個別作動表示を「する」に設定している場合は、一斉はずしで設定した内容で点灯します。
- 回線別の動作状態をモニターしたい場合は、個別回線表示ブロックを追加することで可能になります。詳しくは、EM-1500 シリーズ「設置説明書 (工事編)」の「出力スイッチとスピーカー回線」をご覧ください。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) の番号を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリア] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) の番号がクリアされます。
- スピーカー回線 No. がクリアされた状態 (すべての回線をはずした状態) での設定はできません。
- [一斉] スイッチを押すと、すべてのスピーカー回線 No. が入力された状態になります。
- スピーカー回線 No. の設定方法については「設定の変更について」(P.71 ページ) をご覧ください。

1 「動作設定」画面を表示させる

「動作設定画面の表示」(P.40 ページ) の操作を行い、「動作設定」画面を表示させます。

2 「一斉はずし設定」画面を表示させる

「動作設定」画面で選択スイッチを使い「一斉はずし設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。

動作設定

業務放送

業務優先順位

業務チャイム

BGMミキシング

⇒一斉はずし設定

選択: ▲▼ 実行: 決定

3 一斉はずしを設定したい放送を選択する

選択スイッチで設定したい放送を選択し、[決定] スイッチを押します。

一斉はずし設定

⇒緊急地震放送

非常一斉

緊急優先一斉

業務一斉

選択: ▲▼ 確定: 決定

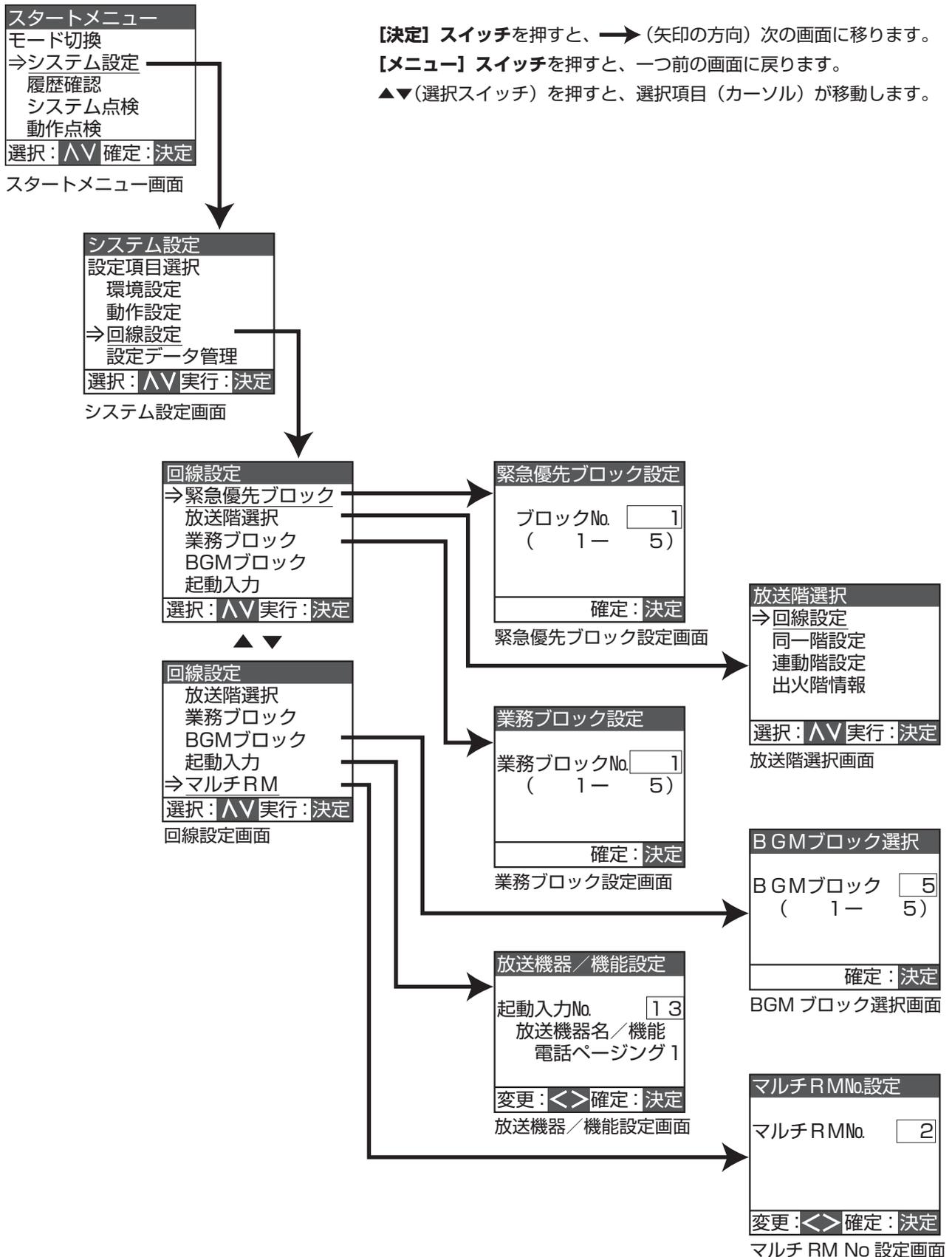
5 設定を終了する

すべての設定が終了したら [決定] スイッチを押して「一斉はずし設定」画面に戻ります。さらに [通常モード] スイッチを押すと「動作設定」画面に戻り、一斉はずしの設定を終了します。内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(P.24 ページ) をご覧ください。

回線 No. の設定

回線 No. 設定の画面構成

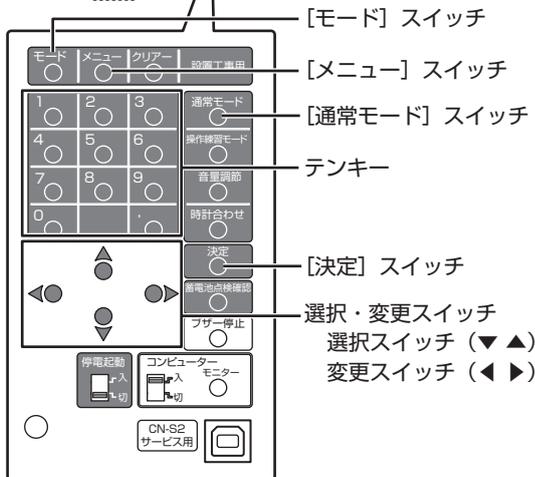
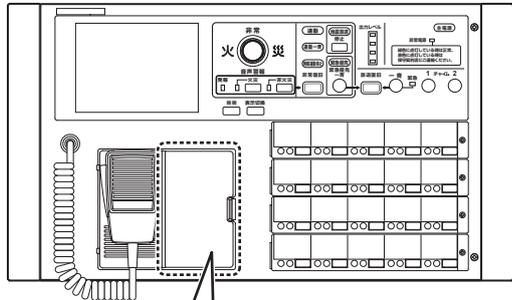
回線 No. 設定の画面の流れは以下のようになっています。



回線設定画面の表示

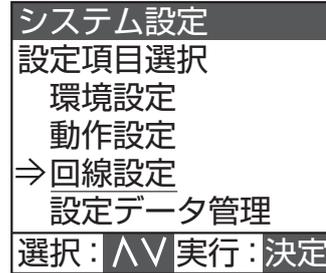
緊急優先ブロック、放送階選択、業務ブロック、BGM ブロック、起動入力、マルチ RM の各メニュー画面を表示し、設定作業をするために必要な共通の手順です。

非常業務操作器 (EM-E156)



3 「回線設定」画面を表示させる

「システム設定」画面で選択スイッチを使い「回線設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



以下、下記の項目に移動します。

- 緊急優先ブロック
「緊急優先ブロックの設定」(☞ 50 ページ)
- 放送階選択
「放送階選択の設定」(☞ 52 ページ)
- 業務ブロック
「業務ブロックの設定」(☞ 58 ページ)
- BGM ブロック
「BGM ブロックの設定」(☞ 61 ページ)
- 起動入力
「起動入力の設定」(☞ 63 ページ)
- マルチ RM
「マルチ業務リモコン (マルチ RM) の設定」(☞ 69 ページ)

メモ：

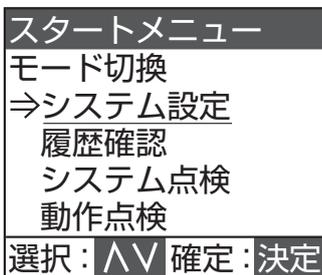
- 前の画面に戻るときは、[メニュー] スイッチを押します。

1 「スタートメニュー」画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、「スタートメニュー」画面を表示させます。

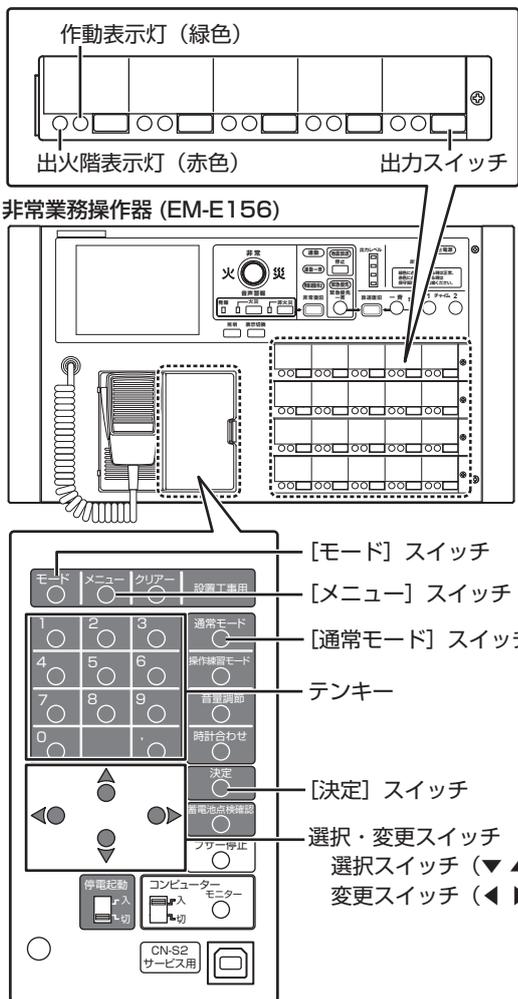
2 「システム設定」画面を表示させる

「スタートメニュー」画面で選択スイッチを使い「システム設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



緊急優先ブロックの設定

緊急優先ブロックの各種設定を行います。

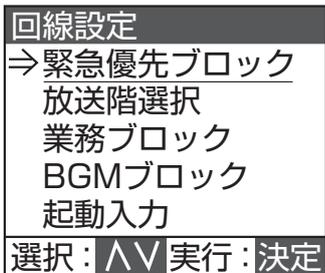


1 「回線設定」画面を表示させる

「回線設定画面の表示」(※49 ページ) の操作を行い、「回線設定」画面を表示させます。

2 「緊急優先ブロック設定」画面を表示させる

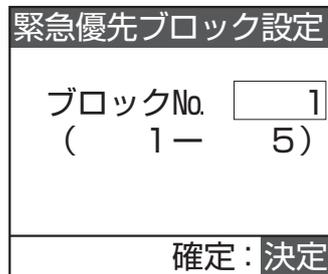
「回線設定」画面で選択スイッチを使い「緊急優先ブロック」を選択し、[決定] スイッチを押します。



3 緊急優先ブロックを選択する

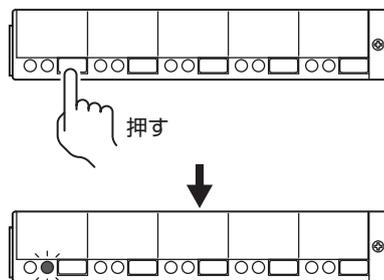
変更スイッチまたはテンキーで放送したいエリアを選択します。選択した出力スイッチは作動表示灯 (緑) が点灯します。

[決定] スイッチを押すとブロック No. が確定し、「回線設定」画面に進みます。

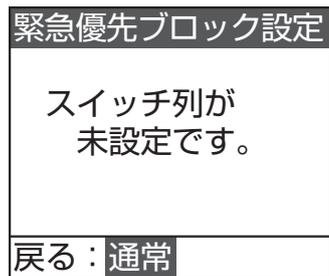


メモ：

- [クリア] スイッチを押すと「1」が選択されます。
- 「緊急優先ブロック設定」画面で出力スイッチを押しても、ブロック No. を選択できます。



- 緊急優先ブロックのスイッチ列が設定されていないと、下記の画面が表示され、文字が点滅します。「スイッチ列の設定」(※28 ページ) [通常モード] スイッチを押すと元の画面に戻ります。



4 スピーカー回線 No. (接続先端子番号) の設定をする

放送のスピーカー回線 No. (接続先端子番号) を指定します。選択スイッチでカーソルを移動して変更スイッチまたはテンキーで入力します。

すべての入力が終了したら [決定] スイッチを押し、音声ファイル設定画面に進みます。

- 選択肢：1 ~ 320

回線設定	
緊急ブロックNo.	1
1,	2
3,	4
5,	6
7,	8
入力後：	確定：決定

メモ： _____

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 「回線設定」画面で出力スイッチを押しても、スピーカー回線 No. (接続端子番号) を選択できます。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリア] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

5 音声ファイルの設定をする

選択スイッチでファイル No. または再生モードを選択し、変更スイッチでファイル No. および再生モードを指定します。

音声ファイル設定	
緊急ブロックNo.	1
ファイルNo.	M01
再生モード	繰返し 試聴
変更：<>	確定：決定

設定項目	初期設定	選択肢
ファイル No.	なし	<ul style="list-style-type: none"> • なし • C01 ~ C06 C01：4 音上り速い C02：4 音下り速い C03：4 音上り遅い C04：4 音下り遅い C05：2 音 C06：1 音 • M01 ~ M45 (ユーザーファイル)

設定項目	初期設定	選択肢
再生モード	1 回	<ul style="list-style-type: none"> • 1 回 起動時に 1 回だけ音声ファイルを再生します。 音声ファイル再生中に、非常放送や緊急地震放送が始まった場合は、音声ファイル再生を停止します。 • 繰返し 連続して音声ファイルを再生します。 音声ファイル再生中に、非常放送や緊急地震放送が始まった場合は、音声ファイル再生を停止します。

メモ： _____

- [クリア] スイッチを押すと「なし」になります。
- 選択スイッチで「試聴」を選択すると、選択したファイルが再生されます。
- ユーザーファイル (M01 ~ M45) については、「非常業務操作器 (EM-E156) に内蔵されている業務用放送メッセージ」(☞ 144 ページ) をご覧ください。

6 回線設定継続の有無を選択する

続けて回線を設定するかどうかを選択します。

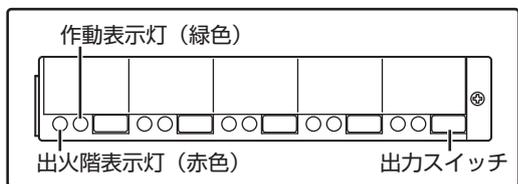
- 終了：
[通常モード] スイッチを押します。
手順 3 の画面に戻ります。
- 継続：
[決定] スイッチを押します。
手順 4 の画面に戻ります。

継続確認
回線設定を 続けますか？
終了：通常 継続：決定

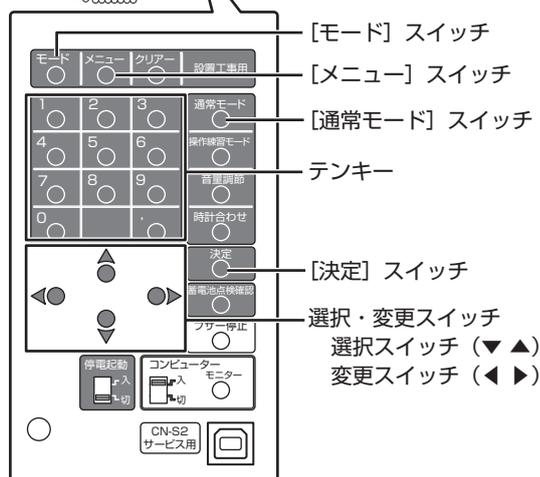
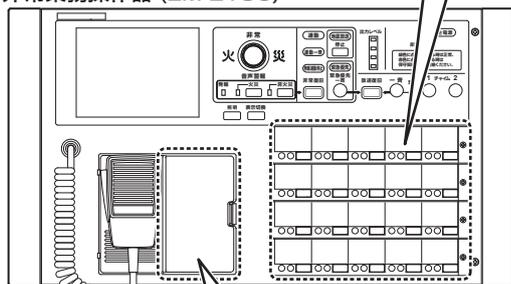
内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

放送階選択の設定

回線 No. の設定



非常業務操作器 (EM-E156)



1 「回線設定」画面を表示させる

「回線設定画面の表示」(E 49 ページ) の操作を行い、「回線設定」画面を表示させます。

2 「放送階選択」画面を表示させる

「回線設定」画面で選択スイッチを使い「放送階選択」を選択し、[決定] スイッチを押します。

回線設定

緊急優先ブロック

⇒ 放送階選択

業務ブロック

BGMブロック

起動入力

選択：**▲▼** 実行：**決定**

3 回線設定 (放送階選択) 画面を表示させる

「放送階選択」画面で選択スイッチを使い「回線設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。

放送階選択

⇒ 回線設定

同一階設定

連動階設定

出火階情報

選択：**▲▼** 実行：**決定**

4 放送階を選択する

回線設定 (放送階選択) 画面で変更スイッチまたはテンキーで放送したい階を選択します。選択した放送階選択スイッチは作動表示灯 (緑) が点灯します。[決定] スイッチを押すと放送階が確定し、「回線設定」画面に進みます。

放送階選択

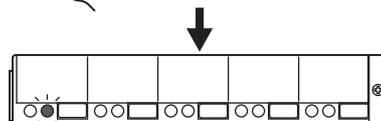
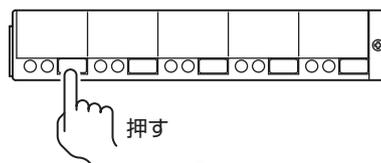
放送階選択No.

(1-320)

確定：**決定**

メモ：

- [クリア] スイッチを押すと「1」が選択されます。
- 回線設定 (放送階選択) 画面で放送階選択スイッチを押しても、放送階を選択できます。



- 個別作動表示が「する」に設定されている場合は、手順 4 のあとは手順 6 に進みます。(E 27 ページ)

5 スピーカー回線 No. (接続先端子番号) の設定をする

放送のスピーカー回線 No. (接続先端子番号) を指定します。選択スイッチでカーソルを移動して変更スイッチまたはテンキーで入力します。

- 選択肢：1 ~ 320

回線設定	
放送階選択No.	1
1,	2
<input type="text" value="3"/> ,	4
5,	6
7,	8
入力後：,	確定：決定

すべての入力が終了したら [決定] スイッチを押し、緊急指定画面に進みます。

メモ： _____

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 「回線設定」画面で放送階選択スイッチを押しても、スピーカー回線 No. (接続端子番号) を選択できません。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリアー] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

6 緊急指定の設定をする

変更スイッチで緊急指定の有無を選択し、[決定] スイッチで確定します。

- あり
スピーカーの音量調節器がどの位置にあっても最大音量で放送されます。
- なし
スピーカーの音量調節器で設定された音量で放送されます。

緊急指定	
放送階選択No.	1
緊急指定	<input type="text" value="なし"/>
変更：<>	確定：決定

メモ： _____

- 緊急指定ありの放送階選択スイッチと緊急指定なしの放送階選択スイッチを操作した場合は、スピーカー回線 5 回線ごとに緊急指定あり/なしを制御します。

7 回線設定継続の有無を選択する

続けて回線を設定するかどうかを選択します。

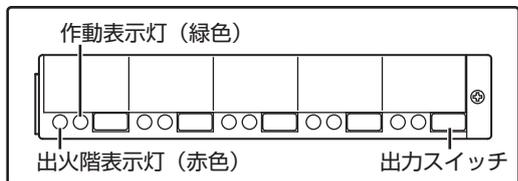
- 終了：
[通常モード] スイッチを押します。
手順 3 の画面に戻ります。
- 継続：
[決定] スイッチを押します。
手順 4 の画面に戻ります。

継続確認
回線設定を 続けますか？
終了：通常 継続：決定

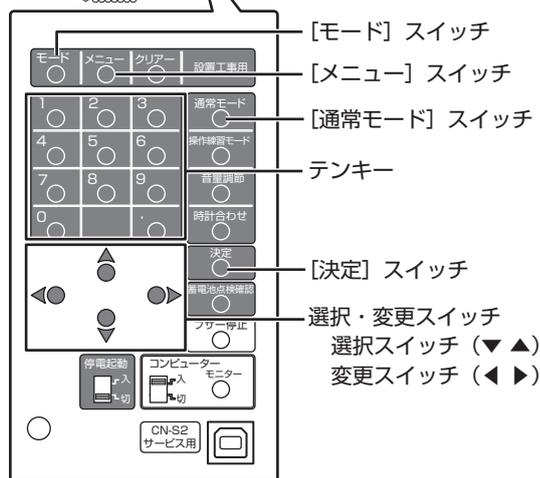
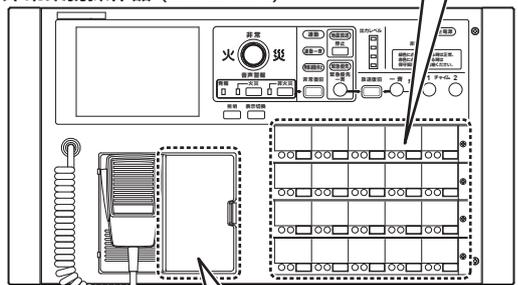
内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

放送階選択の設定 (つづき)

同一階の設定



非常業務操作器 (EM-E156)



1 「回線設定」画面を表示させる

「回線設定画面の表示」(※ 49 ページ) の操作を行い、「回線設定」画面を表示させます。

2 「放送階選択」画面を表示させる

「回線設定」画面で選択スイッチを使い「放送階選択」を選択し、「決定」スイッチを押します。

回線設定
緊急優先ブロック
⇒ 放送階選択
業務ブロック
BGMブロック
起動入力
選択：▲▼ 実行：決定

3 「同一階設定」画面を表示させる

「放送階選択」画面で選択スイッチを使い「同一階設定」を選択し、「決定」スイッチを押します。

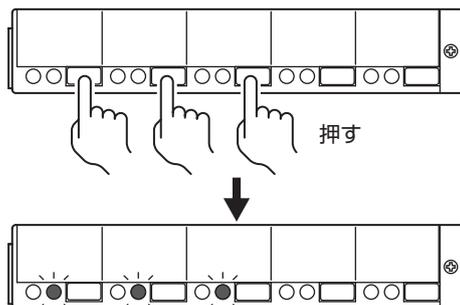
放送階選択
回線設定
⇒ 同一階設定
連動階設定
出火階情報
選択：▲▼ 実行：決定

メモ：

- 非常放送時には同じ階に複数の放送階選択スイッチが存在していても、どれか 1 つを押すと同じ階のすべてに放送できます。

4 同一階の設定をする

放送階のグループにする放送階選択スイッチをすべて押し、「決定」スイッチを押します。選択した放送階選択スイッチ作動表示灯が点灯します。



同一階選択
同一階設定する
放送階選択スイッチを選択する
中止：通常

同一階設定
同一階グループの
放送階選択スイッチを
すべて選択する
終了：通常 確定：決定

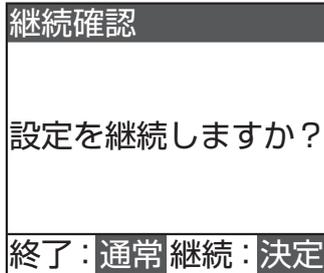
メモ：

- 選択した放送階選択スイッチを押すと解除します。すべての選択を解除する場合は「クリア」スイッチを押します。

5 設定継続の有無を選択する

続けて同一階の設定をするかどうかを選択します。

- 終了：
[通常モード] スイッチを押します。
手順 3 の画面に戻ります。
- 継続：
[決定] スイッチを押します。
手順 4 の画面に戻ります。



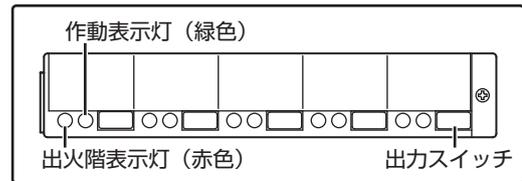
内容が変更されている場合は設定を保存します。
「設定の保存について」(P. 24 ページ) をご覧ください。

連動階の設定

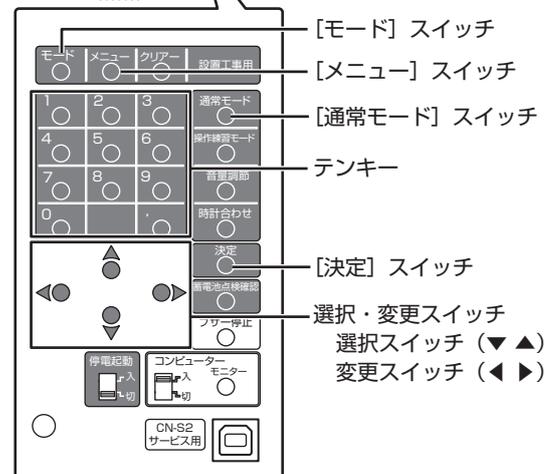
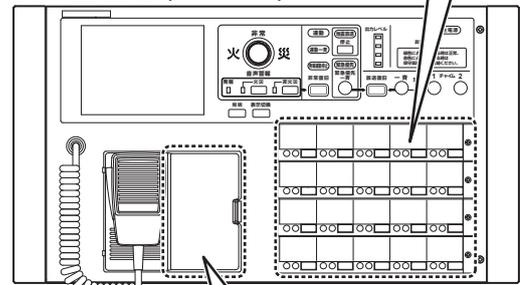
ご注意：

消防法関連規則により自動火災報知設備などによる非常起動時は出火階および直上階に放送することが定められています。

- 出火階が 2 階以上のときは出火階の直上階
- 出火階が 1 階にあっては直上階の 2 階と地下階のすべて
- 出火階が地下階にあっては他の地下階と直上階



非常業務操作器 (EM-E156)



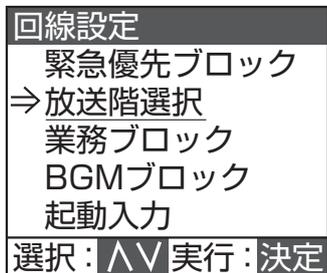
1 「回線設定」画面を表示させる

「回線設定画面の表示」(P. 49 ページ) の操作を行い、「回線設定」画面を表示させます。

放送階選択の設定 (つづき)

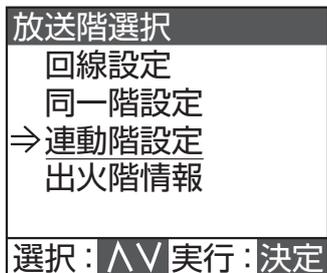
2 「放送階選択」画面を表示させる

「回線設定」画面で選択スイッチを使い「放送階選択」を選択し、[決定] スイッチを押します。



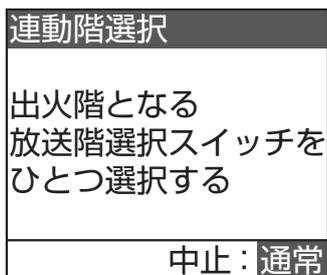
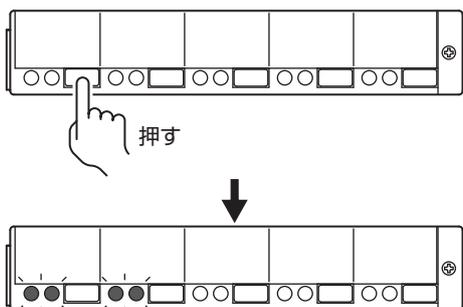
3 連動階設定画面を表示させる

「放送階選択」画面で選択スイッチを使い「連動階設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。

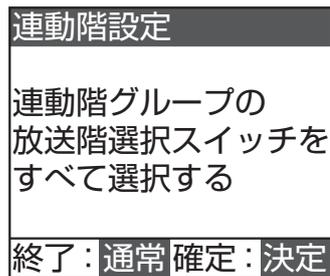
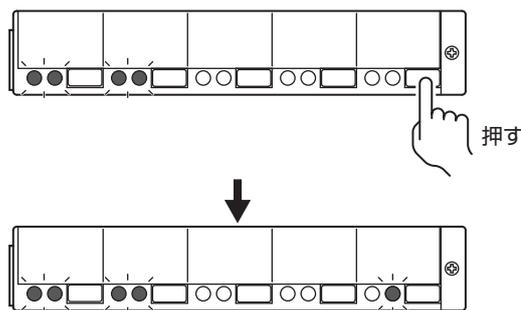


4 連動階の設定をする

出火階の放送階選択スイッチを押すと、出火階と同一階の出火階表示灯と作動表示灯が点灯します。



連動階に設定する放送階選択スイッチをすべて押すと、選択した連動階の作動表示灯が点灯します。

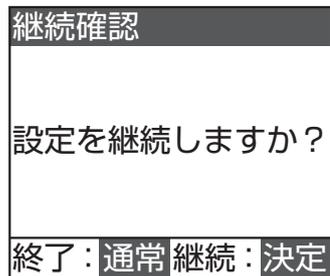


- メモ：
- 選択した放送階選択スイッチをもう一度押すと解除されます。
 - 連動階のすべての選択を解除するには [クリア] スイッチを押します。出火階表示灯はクリアされません。

5 設定継続の有無を選択する

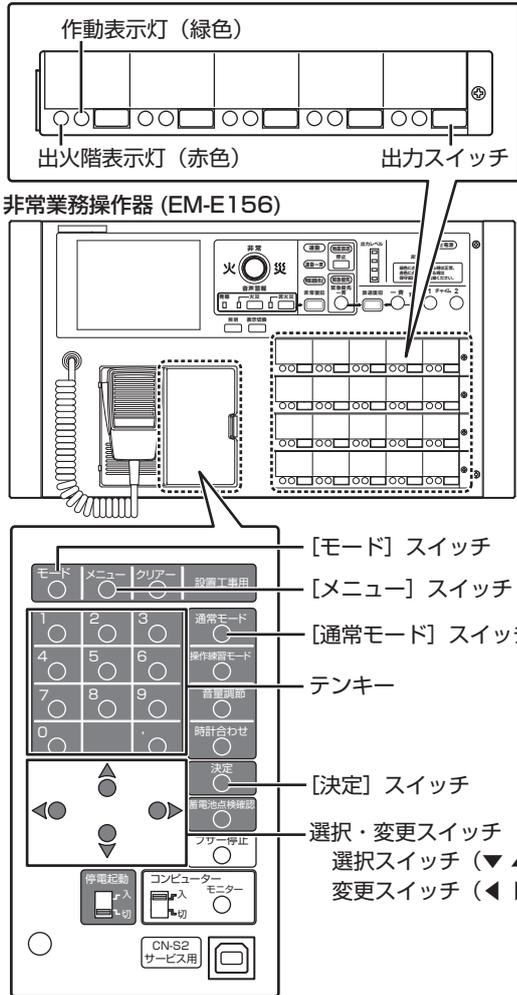
続けて連動階の設定をするかどうかを選択します。

- 終了：
[通常モード] スイッチを押します。
手順 3 の画面に戻ります。
- 継続：
[決定] スイッチを押します。
手順 4 の画面に戻ります。



内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

出火階情報の設定

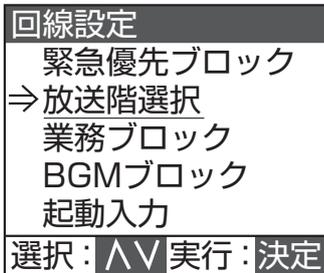


1 「回線設定」画面を表示させる

「回線設定画面の表示」(P. 49 ページ) の操作を行い、「回線設定」画面を表示させます。

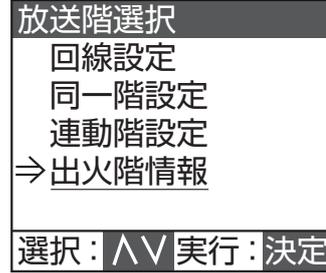
2 「放送階選択」画面を表示させる

「回線設定」画面で選択スイッチを使い「放送階選択」を選択し、[決定] スイッチを押します。



3 「EL 選択」画面を表示させる

「放送階選択」画面で選択スイッチを使い「出火階情報」を選択し、[決定] スイッチを押します。



メモ:

- EL とは自動火災報知設備の火災感知器などが火災を検出すると、非常業務放送設備へ出力される階別火災信号のことをいいます。

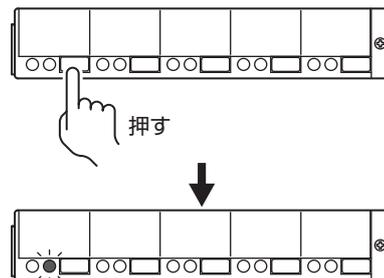
4 EL No. を選択する

EL No. を変更スイッチまたはテンキーで選択します。[決定] スイッチを押すと EL No. が確定し、出火階情報画面に進みます。



メモ:

- [クリア] スイッチを押すと「1」が選択されます。
- 「EL 選択」画面で放送階選択スイッチを押しても、EL No. を選択できます。



放送階選択の設定 (つづき)

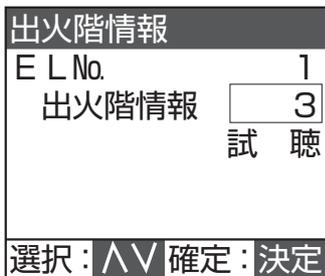
5 出火階情報を選択する

選択した EL No. に適した放送内容を変更スイッチまたはテンキーで入力し、[決定] スイッチを押します。

- 選択肢：0～499

メモ： _____

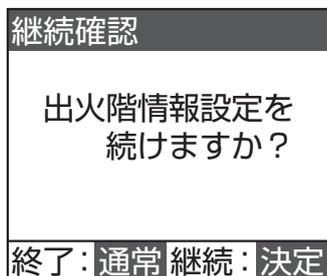
- [クリア] スイッチを押すと「0」になります。選択スイッチで「試聴」を選択すると、放送内容を試聴できます。なお、放送内容については「出火階情報の内容」(P.134 ページ) をご覧ください。
- 例) 下記の画面で選択スイッチの下を押すと、「火事です。火事です。3階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください」(男性の声) と放送されます。「試聴」の表示は「再生中」に変わります。



6 設定継続の有無を選択する

続けて出火階情報の設定をするかどうかを選択します。

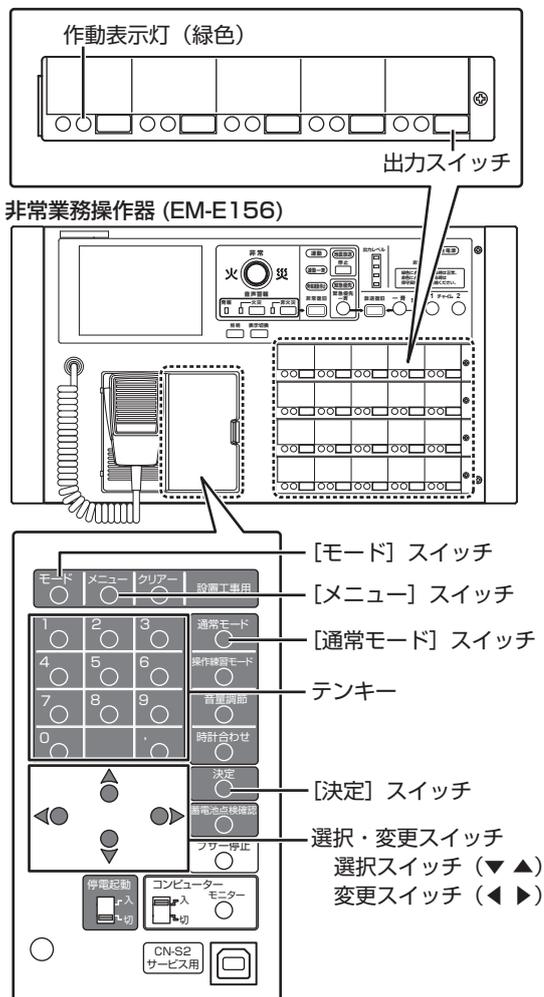
- 終了： [通常モード] スイッチを押します。手順 3 の画面に戻ります。
- 継続： [決定] スイッチを押します。手順 4 の画面に戻ります。



内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(P.24 ページ) をご覧ください。

業務ブロックの設定

回線 No. の設定

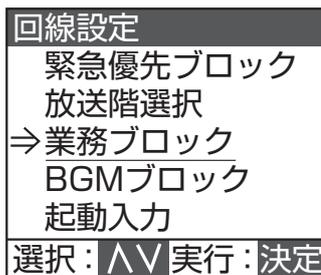


1 「回線設定」画面を表示させる

「回線設定画面の表示」(P.49 ページ) の操作を行い、「回線設定」画面を表示させます。

2 「業務ブロック設定」画面を表示させる

「回線設定」画面で選択スイッチを使い「業務ブロック」を選択し、[決定] スイッチを押します。



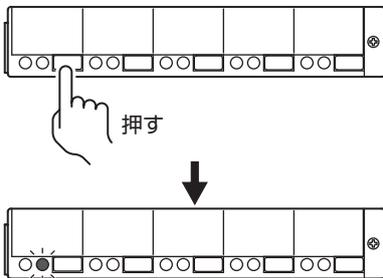
3 業務ブロックの選択をする

回線 No. を変更スイッチ、またはテンキーで入力し、[決定] スイッチを押します。
選択した出力スイッチの作動表示灯が点灯します。

業務ブロック設定	
業務ブロックNo.	1
(1 - 5)	
確定：決定	

メモ：

- [クリアー]スイッチを押すと「1」が選択されます。
- 「業務ブロック設定」画面で出力スイッチを押しても、回線 No. を選択できます。



- 業務ブロックのスイッチ列が設定されていないと、下記の画面が表示され、文字が点滅します。「スイッチ列の設定」(※ 28 ページ) [通常モード] スイッチを押すと元の画面に戻ります。

業務ブロック設定
スイッチ列が 未設定です。
戻る：通常

4 スピーカー回線 No. (接続端子番号) の設定をする

放送のスピーカー回線 No. (接続端子番号) を指定します。
選択スイッチでカーソルを移動して変更スイッチまたはテンキーで入力します。

- 選択肢：1～320

回線設定	
業務ブロックNo.	1
1,	2
3,	4
5,	6
7,	8
入力後：	確定：決定

すべての入力が終了したら、[決定] スイッチを押し、「緊急指定」画面に進みます。

メモ：

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 回線 No. の設定方法については「設定の変更について」(※ 71 ページ) をご覧ください。
- 「回線設定」画面で出力スイッチを押しても、スピーカー回線 No. (接続端子番号) を選択できます。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリアー] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

5 緊急指定の設定をする

変更スイッチで緊急指定の有無を選択し、[決定] スイッチで確定します。

- あり
スピーカーの音量調節器がどの位置にあっても最大音量で放送されます。
- なし
スピーカーの音量調節器で設定された音量で放送されます。

緊急指定	
業務ブロックNo.	1
緊急指定	なし
変更：<>	確定：決定

メモ：

- 緊急指定ありの業務ブロックスイッチと緊急指定なしの業務ブロックスイッチを操作した場合は、スピーカー回線 5 回線ごとに緊急指定あり/なしを制御します。

業務ブロックの設定(つづき)

6 音声ファイルの設定をする

選択スイッチでファイル No. または再生モードを選択し、変更スイッチでファイル No. および再生モードを指定します。

音声ファイル設定	
業務ブロックNo.	1
ファイルNo.	M01
再生モード	繰返し 試聴
変更: <>	確定: 決定

選択肢	初期設定	選択肢
ファイル No.	なし	<ul style="list-style-type: none"> なし C01 ~ C06 C01 : 4 音上り速い C02 : 4 音下り速い C03 : 4 音上り遅い C04 : 4 音下り遅い C05 : 2 音 C06 : 1 音 M01 ~ M45 (ユーザーファイル)
再生モード	1 回	<ul style="list-style-type: none"> 1 回 起動時に 1 回だけ音声ファイルを再生します。 音声ファイル再生中に、優先順位の高い放送機器からの放送が始まった場合は、音声ファイル再生を停止します。 繰返し 連続して音声ファイルを再生します。 音声ファイル再生中に、優先順位の高い放送機器からの放送が始まった場合は、音声ファイル再生を停止します。

メモ:

- 「ファイル No.」で [クリア] スイッチを押すと「なし」になります。
- 選択スイッチで「試聴」を選択すると、選択したファイルが再生されます。
- ユーザーファイル (M01 ~ M45) については、「非常業務操作器 (EM-E156) に内蔵されている業務用放送メッセージ」(P. 144 ページ) をご覧ください。

7 設定継続の有無を選択する

続けて業務ブロックの設定をするかどうかを選択します。

- 終了:
[通常モード] スイッチを押します。
手順 2 の画面に戻ります。
- 継続:
[決定] スイッチを押します。
手順 3 の画面に戻ります。

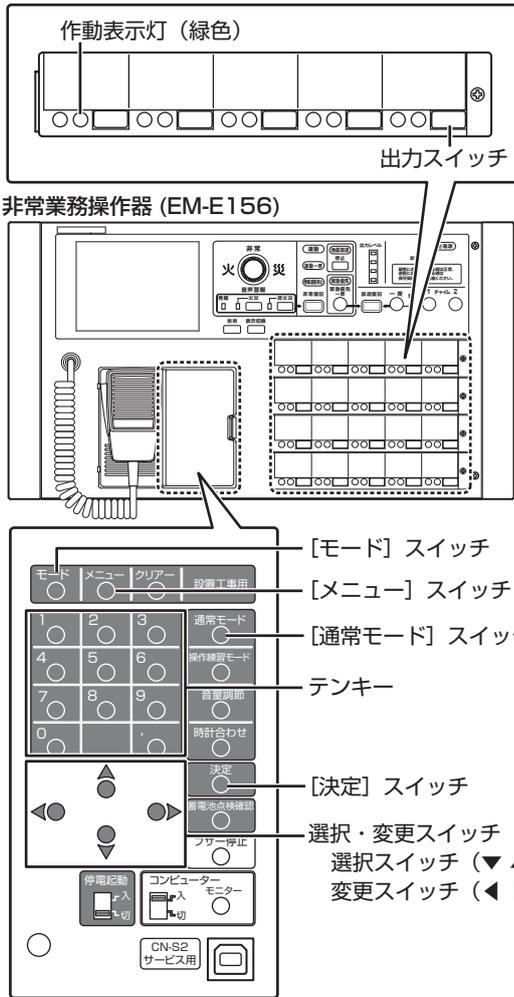
継続確認
回線設定を 続けますか?
終了: 通常 継続: 決定

内容が変更されている場合は設定を保存します。
「設定の保存について」(P. 24 ページ) をご覧ください。

BGM ブロックの設定

回線 No. の設定

BGM ブロックスイッチに放送したい回線 No. を設定します。
マトリックスユニットがある場合は、放送したいBGM 機器が接続されているマトリックス入力 No. も設定します。

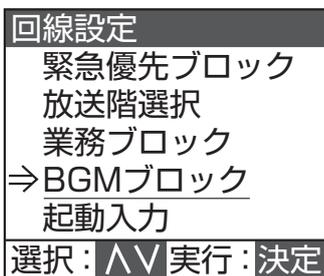


1 「回線設定」画面を表示させる

「回線設定画面の表示」(E38 49 ページ) の操作を行い、「回線設定」画面を表示させます。

2 「BGM ブロック選択」画面を表示させる

「回線設定」画面で選択スイッチを使い「BGM ブロック」を選択し、「決定」スイッチを押します。



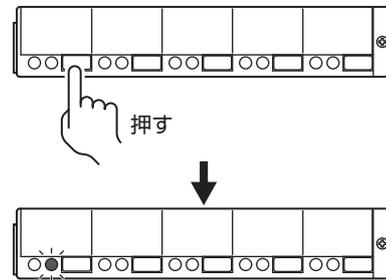
3 BGM ブロックの選択をする

回線 No. を変更スイッチ、またはテンキーで入力し、「決定」スイッチを押します。
選択した BGM ブロックの作動表示灯が点灯します。

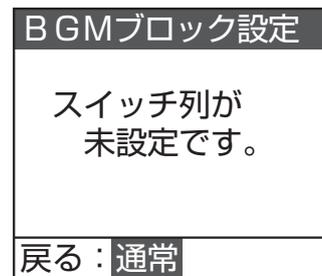


メモ: _____

- [クリアー]スイッチを押すと「1」が選択されます。
- 「BGM ブロック選択」画面で出力スイッチを押しても、回線 No. を選択できます。



- BGM ブロックのスイッチ列が設定されていないと、下記の画面が表示され、文字が点滅します。「スイッチ列の設定」(E38 28 ページ) [通常モード] スイッチを押すと元の画面に戻ります。



BGM ブロックの設定(つづき)

4 スピーカー回線 No. (接続端子番号) の設定をする

放送のスピーカー回線 No. (接続端子番号) を指定します。

選択スイッチでカーソルを移動して変更スイッチ、またはテンキーで入力します。

- 選択肢： 1 ~ 320

回線設定	
BGMブロック	5
1,	2
3,	4
5,	6
7,	8
入力後：,	確定：決定

すべての入力が終了したら、[決定] スイッチを押します。マトリックスユニットの設定が「あり」の場合は、手順 5 に進みます。

マトリックスユニットの設定が「なし」の場合は、手順 6 に進みます。

メモ： _____

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 回線 No. の設定方法については「設定の変更について」(☞ 71 ページ) をご覧ください。
- 「回線設定」画面では、出力スイッチを押してスピーカー回線 No. (接続端子番号) を登録することができます。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリアー] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

5 マトリックス入力設定をする

変更スイッチ、またはテンキーで入力し、[決定] スイッチを押します。

- 選択肢： 2 ~ 20 (マトリックス設定値による)
「デジタルマトリックスユニットの設定」
(☞ 29 ページ)

マトリックス入力設定	
BGMブロック	5
マトリックス	
入力No.	2
変更：<>	確定：決定

メモ： _____

- [クリアー] スイッチを押すと「2」になります。

6 設定継続の有無を選択する

続けて BGM ブロックの設定をするかどうかを選択します。

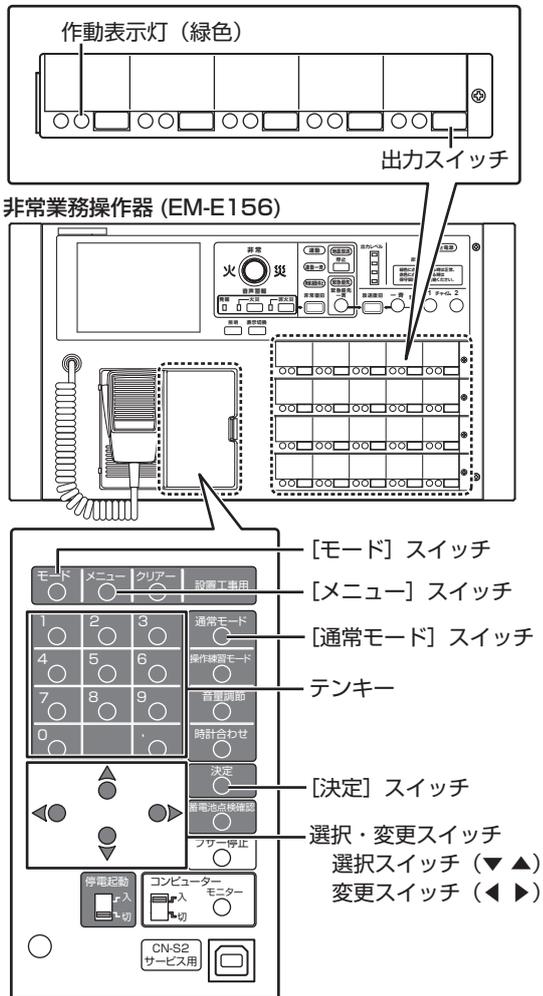
- 終了：
[通常モード] スイッチを押します。
手順 2 の画面に戻ります。
- 継続：
[決定] スイッチを押します。
手順 3 の画面に戻ります。

継続確認
設定を継続しますか？
終了：通常 継続：決定

内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

起動入力の設定

回線 No. の設定

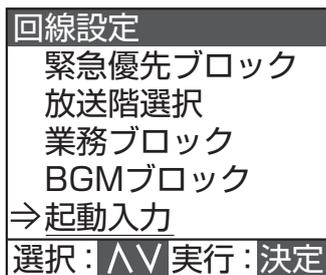


1 「回線設定」画面を表示させる

「回線設定画面の表示」(E57 49 ページ) の操作を行い、「回線設定」画面を表示させます。

2 起動入力画面を表示させる

「回線設定」画面で選択スイッチを使い「起動入力」を選択し、[決定] スイッチを押します。

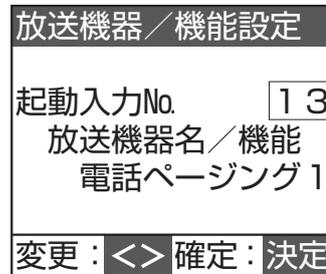


3 起動入力の設定をする

選択スイッチで外部起動 No. を選択し、変更スイッチ、またはテンキーで起動入力 No. (端子の番号) を入力します。

選択スイッチで「放送機器名/機能」を選択し、変更スイッチで放送機器名を選択します。

起動入力、放送機器名を変更したら、[決定] スイッチを押します。



以降の設定は、放送機器名/機能ごとに異なります。設定方法については、下記の参照ページをご覧ください。

設定項目	選択肢	参照ページ	
起動入力 No.	1 ~ 45	—	
放送機器/機能	電話ページング 1 ~ 3	64 ページ	
	報時チャイム 1 ~ 3		
	BGM		
	アナウンス U1 ~ 2		
	無線		
	業務リモコン		66 ページ
	緊急優先		67 ページ
音声ファイル	68 ページ		
メッセージ停止※	68 ページ		
時刻校正※	—		

※ 「メッセージ停止」、「時刻校正」は特定の起動入力 No. のみ選択できます。

- メッセージ停止：起動入力 No.24 音声ファイルの再生を停止します。

- 時刻校正：起動入力 No.25 内部時計の秒桁を 00 に校正します。

また、「メッセージ停止」、「時刻校正」は以降の設定項目がないため、継続確認画面が表示されます。

ご注意：

- 起動入力 No.25 を時刻校正に設定した場合、本体の親時計端子は無効になります。

メモ：

- 「起動入力 No.」で [クリア] スイッチを押すと「1」になります。
- 「放送機器名/機能」で [クリア] スイッチを押すと「業務リモコン」になります。
- 外部起動機器名「なし」の場合、それぞれ下記の表示となります。
 - 電話ページング → 外部起動 A
 - 報時チャイム → 外部起動 B
 - アナウンスユニット、無線 → 外部起動 C

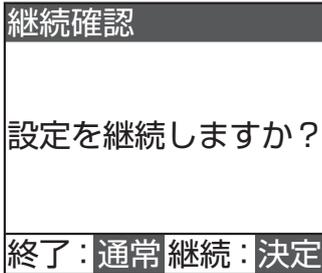
次ページへつづく

起動入力の設定 (つづき)

4 設定継続の有無を選択する

続けて起動入力の設定をするかどうかを選択します。

- 終了：
[通常モード] スイッチを押します。
手順 2 の画面に戻ります。
- 継続：
[決定] スイッチを押します。
手順 3 の画面に戻ります。



内容が変更されている場合は設定を保存します。
「設定の保存について」(☞ 24 ページ) をご覧ください。

■ 電話ページング / 報時チャイム / BGM / アナウンス U / 無線の設定

1 スピーカー回線 No. (接続端子番号) の設定をする

放送のスピーカー回線 No. (接続端子番号) を指定します。
選択スイッチでカーソルを移動して変更スイッチまたはテンキーで入力します。

- 選択肢：1 ~ 320

回線設定	
起動入力No.	1 3
<input type="text" value="1"/>	2
3,	4
5,	6
7,	8
入力後：	確定：決定

入力後、テンキーの「,」を押すと入力内容が確定し、カーソルが次の入力欄に移動します。
すべての入力が終了したら、[決定] スイッチを押し、緊急指定画面に進みます。

メモ：

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 回線 No. の設定方法については「設定の変更について」(☞ 71 ページ) をご覧ください。
- 「回線設定」画面で出力スイッチを押しても、スピーカー回線 No. (接続端子番号) を選択できます。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリア] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

2 緊急指定の設定をする

変更スイッチで緊急指定の有無を選択し、[決定] スイッチで確定します。

- あり
スピーカーの音量調節器がどの位置にあっても最大音量で放送されます。
- なし
スピーカーの音量調節器で設定された音量で放送されます。

緊急指定	
起動入力No.	1 3
緊急指定	<input type="text" value="なし"/>
変更: <> 確定: 決定	

マトリックスユニットの設定を「なし」にしている場合は、手順3に進みます。

マトリックスユニットの設定を「あり」にしている場合は、手順4に進みます。

メモ:

- 緊急指定ありの業務ブロックスイッチと緊急指定なしの業務ブロックスイッチを操作した場合は、スピーカー回線5回線ごとに緊急指定あり/なしを制御します。

3 チャイムの設定をする

選択スイッチで「ファイル No.」を選択し、変更スイッチでファイル No. を指定します。

マトリックスユニットの設定が「あり」の場合は、手順4に進みます。

マトリックスユニットの設定が「なし」の場合は、手順5に進みます。

チャイム設定	
起動入力No.	1 3
ファイルNo.	<input type="text" value="C01"/>
	試 聴
変更: <> 確定: 決定	

設定項目	初期設定	選択肢
ファイル No.	なし	<ul style="list-style-type: none">• なし• C01 ~ C06 C01: 4音上り速い C02: 4音下り速い C03: 4音上り遅い C04: 4音下り遅い C05: 2音 C06: 1音• M01 ~ M45 (ユーザーファイル)

メモ:

- [クリアー] スイッチを押すと「なし」になります。
- 選択スイッチで「試聴」を選択すると、選択したファイルが再生されます。
- ユーザーファイル (M01 ~ M45) については、「非常業務操作器 (EM-E156) に内蔵されている業務用放送メッセージ」(P.144 ページ) をご覧ください。

4 マトリックス入力設定をする

変更スイッチ、またはテンキーで入力し、[決定] スイッチを押します。

- 選択肢: 2 ~ 20

マトリックス入力設定	
起動入力No.	1 3
マトリックス 入力No.	<input type="text" value="16"/>
変更: <> 確定: 決定	

マトリックス入力を設定したら、64 ページの手順4に進み、設定継続の有無を選択します。

メモ:

- [クリアー] スイッチを押すと「2」になります。

起動入力の設定 (つづき)

■ 業務リモコンの設定

1 スピーカー回線 No. (接続端子番号) の設定をする

放送のスピーカー回線 No. (接続端子番号) を指定します。

選択スイッチでカーソルを移動して出力スイッチ、変更スイッチまたはテンキーで入力します。

- ・ 選択肢：1～320

回線設定	
起動入力No.	1 3
1,	2
3,	4
5,	6
7,	8
入力後：	確定：決定

すべての入力終了したら、[決定] スイッチを押し、緊急指定画面に進みます。

メモ： _____

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 回線 No. の設定方法については「設定の変更について」(P.71 ページ) をご覧ください。
- 「回線設定」画面で出力スイッチを押しても、スピーカー回線 No. (接続端子番号) を選択できます。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリア] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

2 緊急指定の設定をする

変更スイッチで緊急指定の有無を選択し、[決定] スイッチで確定します。

- ・ あり
スピーカーの音量調節器がどの位置にあっても最大音量で放送されます。
- ・ なし
スピーカーの音量調節器で設定された音量で放送されます。

緊急指定	
起動入力No.	1 3
緊急指定	なし
変更：<>	確定：決定

マトリックスユニットの設定を「あり」にしている場合は、手順 3 に進みます。

マトリックスユニットの設定を「なし」にしている場合は、64 ページの手順 4 に進みます。

メモ： _____

- 緊急指定ありの業務ブロックスイッチと緊急指定なしの業務ブロックスイッチを操作した場合は、スピーカー回線 5 回線ごとに緊急指定あり/なしを制御します。

3 マトリックス入力設定をする

変更スイッチ、またはテンキーで入力し、[決定] スイッチを押します。

- ・ 選択肢：2～20

マトリックス入力設定	
起動入力No.	1 3
マトリックス 入力No.	1 6
変更：<>	確定：決定

マトリックス入力を設定したら、64 ページの手順 4 に進み、設定継続の有無を選択します。

メモ： _____

- [クリア] スイッチを押すと「2」になります。

■ 緊急優先の設定

1 スピーカー回線 No. (接続端子番号) の設定をする

放送のスピーカー回線 No. (接続端子番号) を指定します。

選択スイッチでカーソルを移動して変更スイッチまたはテンキーで入力します。

- 選択肢：1 ~ 320

回線設定	
起動入力No.	1 3
	1, 2
	3, 4
	5, 6
	7, 8
入力後：	確定：決定

すべての入力が終了したら、[決定] スイッチを押し、音声ファイル設定画面に進みます。

メモ：

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 回線 No. の設定方法については「設定の変更について」(P. 71 ページ) をご覧ください。
- 「回線設定」画面で出力スイッチを押しても、スピーカー回線 No. (接続端子番号) を選択できます。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリア] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

2 音声ファイルの設定をする

選択スイッチでファイル No. または再生モードを選択し、変更スイッチでファイル No. および再生モードを指定します。

音声ファイル設定	
起動入力No.	1 3
ファイルNo.	M01
再生モード	繰返し 試聴
変更：<>	確定：決定

設定項目	初期設定	選択肢
ファイル No.	なし	<ul style="list-style-type: none"> • なし • C01 ~ C06 C01 : 4 音上り速い C02 : 4 音下り速い C03 : 4 音上り遅い C04 : 4 音下り遅い C05 : 2 音 C06 : 1 音 • M01 ~ M45 (ユーザーファイル)

設定項目	初期設定	選択肢
再生モード	1 回	<ul style="list-style-type: none"> • 1 回 起動時に 1 回だけ音声ファイルを再生します。 音声ファイル再生中に、非常放送や緊急地震放送が始まった場合は、音声ファイル再生を停止します。 • 繰返し 連続して音声ファイルを再生します。 音声ファイル再生中に、非常放送や緊急地震放送が始まった場合は、音声ファイル再生を停止します。

メモ：

- 「ファイル No.」で [クリア] スイッチを押すと「なし」になります。
- 選択スイッチで「試聴」を選択すると、選択したファイルが再生されます。
- ユーザーファイル (M01 ~ M45) については、「非常業務操作器 (EM-E156) に内蔵されている業務用放送メッセージ」(P. 144 ページ) をご覧ください。

音声ファイルを設定したら、64 ページの手順 4 に進み、設定継続の有無を選択します。

起動入力の設定 (つづき)

■ 音声ファイルの設定

1 スピーカー回線 No. (接続端子番号) の設定をする

放送のスピーカー回線 No. (接続端子番号) を指定します。

選択スイッチでカーソルを移動して変更スイッチまたはテンキーで入力します。

- ・ 選択肢：1 ~ 320

回線設定	
起動入力No.	1 3
<input type="text" value="1"/>	2
3,	4
5,	6
7,	8
入力後：,	確定：決定

すべての入力が終了したら、[決定] スイッチを押し、緊急指定画面に進みます。

メモ： _____

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 回線 No. の設定方法については「設定の変更について」(P.71 ページ) をご覧ください。
- 「回線設定」画面で出力スイッチを押しても、スピーカー回線 No. (接続端子番号) を選択できます。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリア] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

2 緊急指定の設定をする

変更スイッチで緊急指定の有無を選択し、[決定] スイッチで確定します。

- ・ あり
スピーカーの音量調節器がどの位置にあっても最大音量で放送されます。
- ・ なし
スピーカーの音量調節器で設定された音量で放送されます。

緊急指定	
起動入力No.	1 3
緊急指定	<input type="text" value="なし"/>
変更：<>	確定：決定

「音声ファイル設定」画面に進みます。

メモ： _____

- 緊急指定ありの業務ブロックスイッチと緊急指定なしの業務ブロックスイッチを操作した場合は、スピーカー回線 5 回線ごとに緊急指定あり/なしを制御します。

3 音声ファイルの設定をする

選択スイッチでファイル No. または再生モードを選択し、変更スイッチでファイル No. および再生モードを指定します。

音声ファイル設定	
起動入力No.	1 3
ファイルNo.	<input type="text" value="MO1"/>
再生モード	<input type="text" value="繰返し 試聴"/>
変更：<>	確定：決定

設定項目	初期設定	選択肢
ファイル No.	MO1	<ul style="list-style-type: none"> ・ C01 ~ C06 C01：4 音上り速い C02：4 音下り速い C03：4 音上り遅い C04：4 音下り遅い C05：2 音 C06：1 音 ・ MO1 ~ M45 (ユーザーファイル)
再生モード	1 回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 回 起動モード「レベル」「パルス」とともに、音声ファイルを 1 回再生します。 音声ファイル再生中に、優先順位の高い放送機器からの放送が始まった場合は、音声ファイル再生を停止します。 ・ 繰返し 起動モード「レベル」の場合、メーク中ファイル再生を繰り返します。「パルス」の場合、1 回のメークでファイル再生を繰り返します。停止するには「メッセージ停止」に設定した起動入力 (No.24) を入力します。 音声ファイル再生中に、優先順位の高い放送機器からの放送が始まった場合は、音声ファイル再生を停止します。

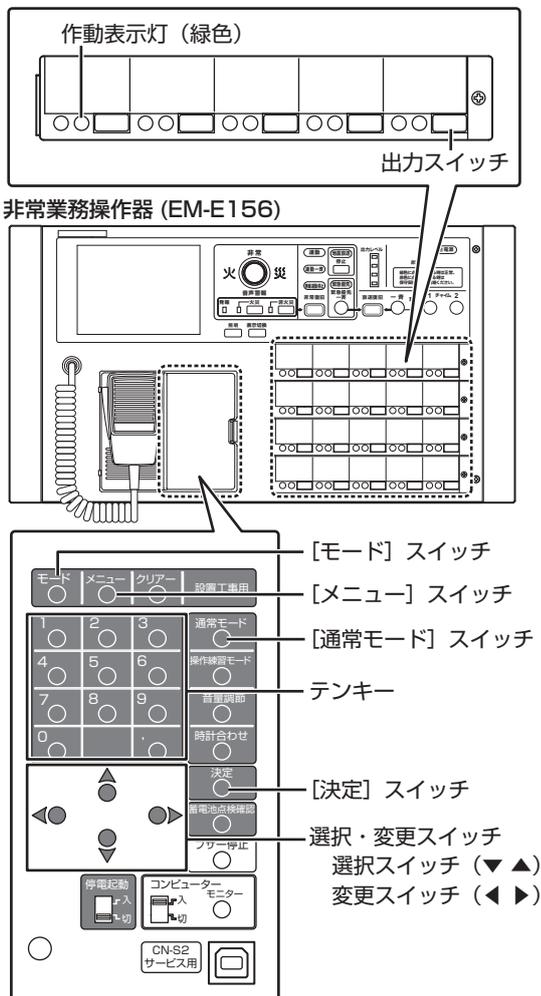
メモ： _____

- 「ファイル No.」で [クリア] スイッチを押すと「C01」になります。
- 選択スイッチで「試聴」を選択すると、選択したファイルが再生されます。
- ユーザーファイル (MO1 ~ M45) については、「非常業務操作器 (EM-E156) に内蔵されている業務用放送メッセージ」(P.144 ページ) をご覧ください。

音声ファイルを設定したら、64 ページの手順 4 に進み、設定継続の有無を選択します。

マルチ業務リモコン（マルチRM）の設定

回線 No. の設定

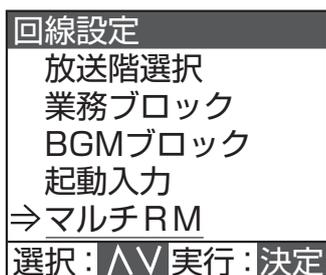


1 「回線設定」画面を表示させる

「回線設定画面の表示」(※ 49 ページ) の操作を行い、「回線設定」画面を表示させます。

2 「マルチ RM No. 設定」画面を表示させる

「回線設定」画面で選択スイッチを使い「マルチ RM」を選択し、「決定」スイッチを押します。



3 マルチ RM の設定をする

マルチ RM の番号を変更スイッチ、またはテンキーで入力し、「決定」スイッチを押します。

- 選択肢：1～8



メモ：

- [クリアー] スイッチを押すと「1」になります。

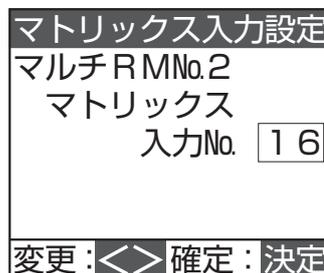
マトリクスユニットの設定を「あり」にしている場合は、手順 4 に進みます。

マトリクスユニットの設定を「なし」にしている場合は、手順 5 に進みます。

4 マトリクス入力 No. の設定をする

変更スイッチ、またはテンキーで入力し、「決定」スイッチを押します。

- 選択肢：2～20 (マトリクス設定値による)
「デジタルマトリクスユニットの設定」(※ 29 ページ)



メモ：

- [クリアー] スイッチを押すと「3」になります。

5 ブロック No. を選択する

ブロック No. を変更スイッチ、またはテンキーで入力し「決定」スイッチを押します。

- 選択肢：1～20



メモ：

- [クリアー] スイッチを押すと「1」になります。

マルチ業務リモコン (マルチ RM) の設定 (つづき)

6 スピーカー回線 No. (接続端子番号) の設定をする

放送のスピーカー回線 No. (接続端子番号) を指定します。

選択スイッチでカーソルを移動して変更スイッチ、またはテンキーで入力します。

- 選択肢：1 ~ 320

回線設定	
マルチRMNo.2-19	
1,	2
3,	4
315,	316
317,	318
入力後：	確定：決定

すべての入力が終了したら、[決定] スイッチを押し、「緊急指定」画面に進みます。

メモ：

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 回線 No. の設定方法については「設定の変更について」(P.71 ページ) をご覧ください。
- 「回線設定」画面で出力スイッチを押しても、スピーカー回線 No. (接続端子番号) を選択できます。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリア] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

7 緊急指定の設定をする

変更スイッチで緊急指定の有無を選択し、[決定] スイッチで確定します。

- あり
スピーカーの音量調節器がどの位置にあっても最大音量で放送されます。
- なし
スピーカーの音量調節器で設定された音量で放送されます。

緊急指定	
マルチRMNo.2-19	
緊急指定	なし
変更：<>	確定：決定

メモ：

- 緊急指定ありの業務ブロックスイッチと緊急指定なしの業務ブロックスイッチを操作した場合は、スピーカー回線 5 回線ごとに緊急指定あり/なしを制御します。

8 設定継続の有無を選択する

続けてマルチ業務リモコンの設定をするかどうかを選択します。

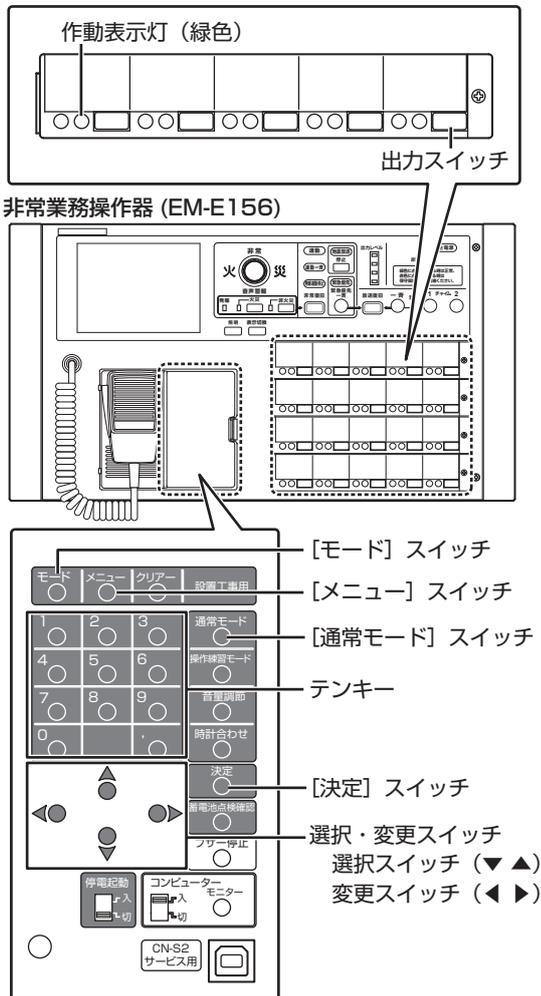
- 終了：
[通常モード] スイッチを押します。
手順 2 の画面に戻ります。
- 継続：
[決定] スイッチを押します。
手順 5 の画面に戻ります。

継続確認	
設定を継続しますか？	
終了：通常	継続：決定

内容が変更されている場合は設定を保存します。「設定の保存について」(P.24 ページ) をご覧ください。

設定の変更について

回線 No. の変更や削除、新しい回線の追加方法について説明します。



1 変更したい設定項目画面を表示させる

ここでは、業務ブロック放送の回線 No. 設定を変更する場合について説明します。

回線設定	
業務ブロックNo.	1
	1, 2
	3, 4
	5, 6
	7, 8
入力後:	確定: 決定

2 変更したい回線 No. にカーソルを移動する

選択スイッチでカーソルを移動します。
回線を追加するときは、回線 No. のないエリアにカーソルを移動します。

3 設定を変更する

- 回線 No. を変更する
変更スイッチまたはテンキーで変更したい回線 No. の数値を入力します。

回線設定	
業務ブロックNo.	1
	11, 2
	3, 4
	5, 6
	7, 8
入力後:	確定: 決定

- 回線 No. を削除する
テンキーの「0」を押して、カーソル内の数値を消去します。

回線設定	
業務ブロックNo.	1
	, 2
	3, 4
	5, 6
	,
入力後:	確定: 決定

- 回線 No. を追加する
変更スイッチ、またはテンキーで入力したい回線 No. の数値を入力します。

回線設定	
業務ブロックNo.	1
	1, 2
	3, 4
	5, 6
	11,
入力後:	確定: 決定

メモ: _____

- スピーカー回線 No. (接続端子番号) は、最低でも 1 回線以上設定してください。
- 「回線設定」画面で出力スイッチを押しても、スピーカー回線 No. (接続端子番号) を選択できません。
- スピーカー回線 No. (接続端子番号) を重複して設定したときは、一方が削除されます。
- [クリア] スイッチを押すとすべてのスピーカー回線 No. (接続端子番号) がクリアされます。

4 設定を確定する

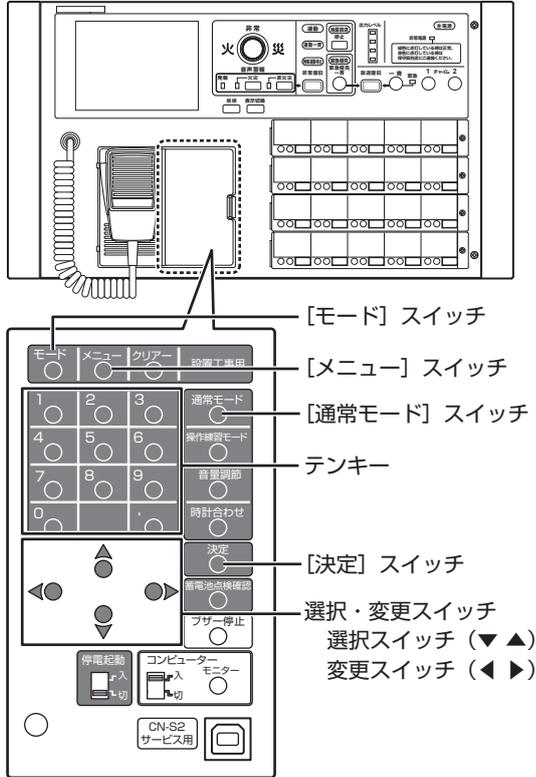
すべての入力終了したら [決定] スイッチを押し、設定を確定します。

内容が変更されている場合は設定を保存します。
「設定の保存について」(P. 24 ページ) をご覧ください。

入力データの確認方法

入力したデータを確認したいときは、システム設定と同じ要領で確認したい設定項目の画面にします。
 [通常モード] スイッチを押すことにより、内容を変更せずに戻ることができます。

非常業務操作器 (EM-E156)



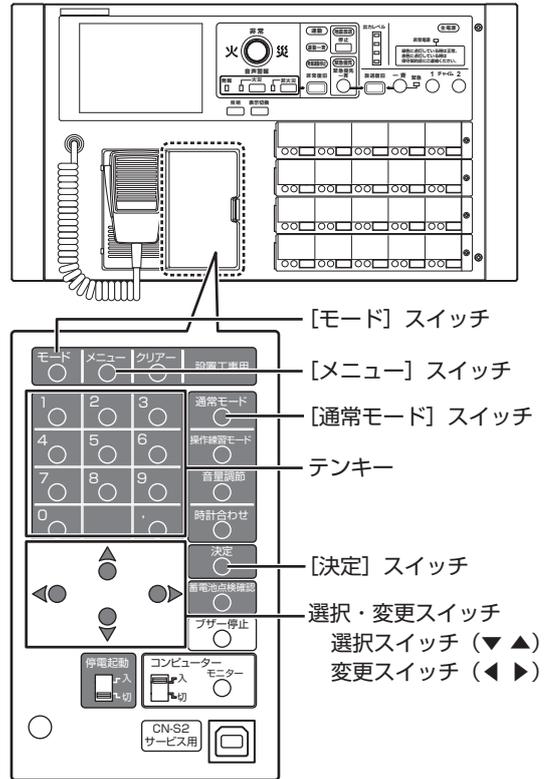
設定データの保存

本システムは設定データを本体内蔵のメモリーに保存しています。

メモ：

- 音量や動作履歴は保存されません。

非常業務操作器 (EM-E156)



1 「スタートメニュー」画面を表示させる

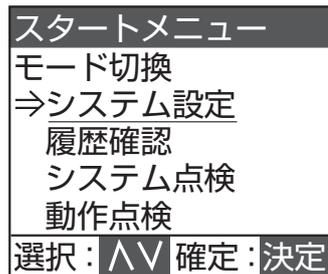
[モード] スイッチを3秒以上押し、「スタートメニュー」画面を表示させます。

メモ：

- 前の画面に戻るときは、[メニュー] スイッチを押します。

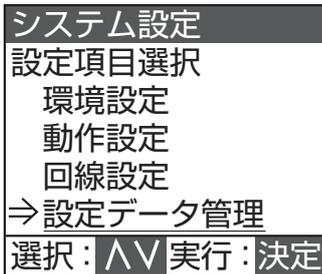
2 「システム設定」画面を表示させる

「スタートメニュー」画面で選択スイッチを使い「システム設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



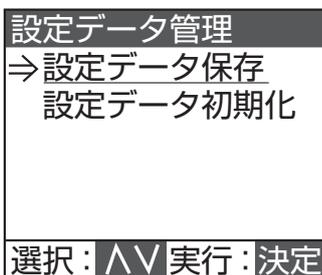
3 「設定データ管理」画面を表示させる

選択スイッチで「設定データ管理」を選択し、[決定]スイッチを押します。

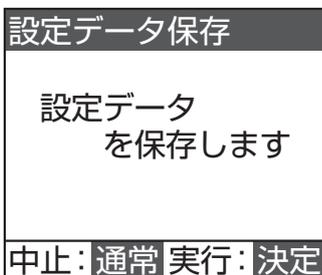


4 設定データの保存を行う

選択スイッチで「設定データ保存」を選択し、[決定]スイッチを押します。



「設定データ保存」画面で [決定] スイッチを押すと、設定データ保存を実行します。
[通常モード] スイッチを押すと中止し、「設定データ管理」画面に戻ります。



設定データの保存が終了すると、本体が再起動します。

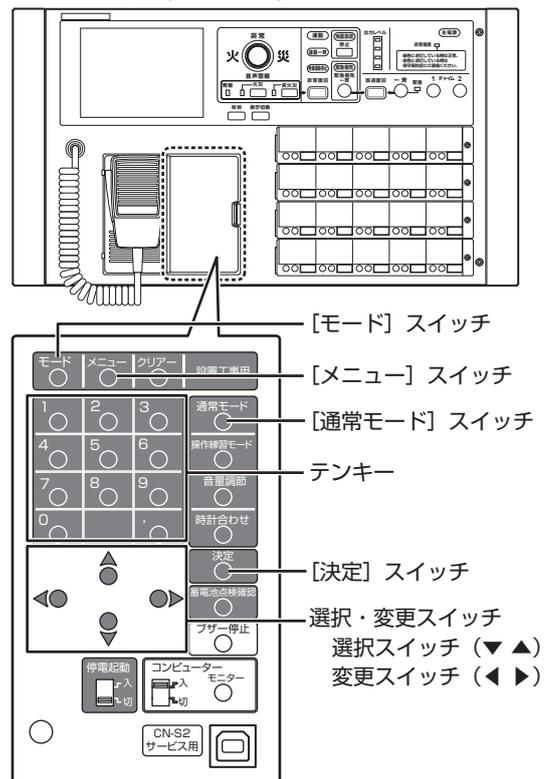
設定データの初期化

設定したプログラムをすべて消去し、初期設定に戻します。

メモ:

- 設定データの初期化を行うとプログラムをすべて消去します。保守時にはプログラムシートに現在のデータが記録されていることをご確認のうえ、または設置支援アプリケーション EM-ZS1500 で設定のデータのバックアップ後に実行されることをお勧めします。

非常業務操作器 (EM-E156)

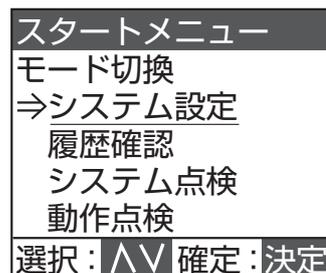


1 「スタートメニュー」画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、「スタートメニュー」画面を表示させます。

2 「システム設定」画面を表示させる

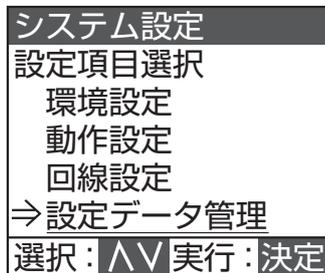
「スタートメニュー」画面で選択スイッチを使い「システム設定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



設定データの初期化(つづき)

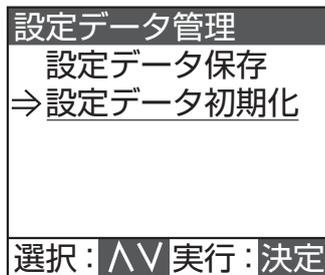
3 「設定データ管理」画面を表示させる

選択スイッチで「設定データ管理」を選択し、[決定]スイッチを押します。



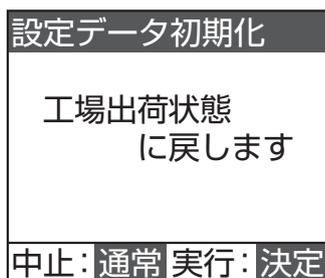
4 「設定データ初期化」画面を表示させる

選択スイッチで「設定データ初期化」を選択し、[決定]スイッチを押します。



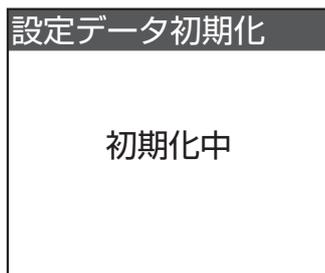
5 設定データの初期化をする

「工場出荷状態に戻します」というメッセージが表示されたら、[決定]スイッチを押します。



「初期化中です」というメッセージが表示され、初期化が開始されます。

初期化が終了するまでに約20秒かかります。



初期化が終了すると、本体が再起動します。

ご注意： _____

- 初期化中はスイッチ操作をしないようにしてください。
- コンピュータースイッチには絶対に触らないでください。

メモ： _____

- 前の画面に戻るときは、[メニュー] スイッチを押します。

■ 設定データの初期化について

- ・ 本体の音量は、すべて「15」になります。
- ・ 非常リモコンの音量は初期化されません。
- ・ 時計設定は初期化されません。
- ・ 時計合わせの設定は「なし」になります。
- ・ 履歴情報はすべて削除されます。

主な確認の概要

設置工事・システム設定後には、システム点検モードによる確認とシステム動作の確認を実施してください。

また、館内のスピーカーから音が出ない状態や非常制御信号が出力しない状態で動作確認が可能な動作点検モードもあります。実際に音を出さなくても確認できる作業や、非常制御出力に関係ない確認作業時にご活用ください。

■ システム点検モードによる確認

確認時は、館内スピーカーから音が出ます（スピーカー回線の短絡点検時、パワーアンプ点検時は 300 Hz の正弦波、インピーダンス測定時は 1 kHz の正弦波）。音の出力を十分考慮のうえ、確認してください。

・「システム点検モードによる確認」(P. 75 ページ)

● 確認内容

- システム構成の確認
- スピーカー回線の短絡点検
- パワーアンプの点検
- インピーダンス測定
- 蓄電池の点検

ご注意：

- システム設定モードから動作点検／システム点検モードへ移行する場合は、設定したデータを保存してください。保存しないで点検モードに入り、終了するとデータは保存されません。保存方法については「設定の保存について」(P. 24 ページ)をご覧ください。

■ システム動作の確認

本手順による確認は、館内スピーカーから音が出ます。特に非常放送動作の確認時は十分考慮のうえ、確認してください。

・「システム動作の確認」(P. 87 ページ)

● 放送階選択－スピーカー回線の確認

● 非常放送動作の確認

- 手動起動の確認
- 感知器起動の確認
- 発信機起動の確認
- 非常制御動作の確認
- 停電動作の確認
- コンピュータースイッチ「切」時の確認

● 業務放送動作の確認

- 業務ブロック／BGM ブロックの確認
- 起動入力の確認
- マルチ業務リモコンの確認

■ 動作点検モードによる確認

スピーカー回線と RB 出力について、「制御する／しない」を選択することができます。

また、内蔵の点検音（12 種類）を使用したスピーカー回線の確認もできます。

・「動作点検モードによる確認」(P. 99 ページ)

システム点検モードによる確認

本機は内蔵のシステム点検機能により自動点検を行い、動作の確認を行います。これにより、システム変更時の最終点検や定期点検などを短時間で行うことができます。自動点検機能による動作確認の内容は以下のとおりです。

ご注意：

- システム点検モード中は、すべての放送の起動を受け付けません。非常放送操作を行うには、[通常モード] スイッチを押して通常モードに戻してから、非常放送操作を行なってください。
- パワーアンプの定格出力より、スピーカー負荷が大きいつき（過負荷）には、パワーアンプ異常が検出されます。
- 蓄電池は、工場出荷時の状態ではフル充電されていませんので、蓄電池電圧異常が検出されることがあります。
- システム点検モードに入ると、非常リモコンのモニター音量が小さくなります。本体はインピーダンス測定時のみモニター音量が小さくなります。変更されたモニター音量は再起動すると元の設定値に戻ります。

システム点検モードによる確認 (つづき)

システム点検の概要

点検項目	点検内容	検出項目
システム構成確認	接続されている主要ユニットの情報を自動収集し、表示します。(※1)	バージョン(※2) 接続台数
スピーカー回線短絡点検	全回線の短絡試験を自動的にを行います。 全回線を順に試験を行いますので、回線数が多いときは数分間を要します。 短絡回線が検出された場合は履歴が残ります。 ・「履歴情報の確認のしかた」(P.101 ページ)	短絡回線の検出
パワーアンプ点検	全スピーカー回線負荷でのパワーアンプの定格出力試験を自動的にを行います。	パワーアンプ異常 (1)出力異常 (2)定格出力不足
インピーダンス測定	設置時・スピーカー回線工事時・スピーカー増設時に回線の誤接続や負荷を簡易的に確認します。	スピーカー回線ごとのインピーダンス
蓄電池点検	各蓄電池の放電試験を自動的にを行います。	蓄電池電圧異常
全項目点検	SP 回路短絡点検、パワーアンプ点検、蓄電池点検を自動的に継続して行います。	項目ごと表示

- ※1：主要ユニットは次のとおりです。
- 非常業務操作器 (EM-E156)
 - 非常業務遠隔操作器 (EM-C156/C154)
 - 主入力制御ユニット (EM-Y152)
 - 回線制御ユニット (EM-L152)
 - 回線追加ケース (EM-ES12-10)
 - マルチ業務リモコン (PA-C620)
 - デジタルマトリックスユニット (PA-MX92)
 - デジタルパワーアンプ (EM-A942D/A932D/A922D など)

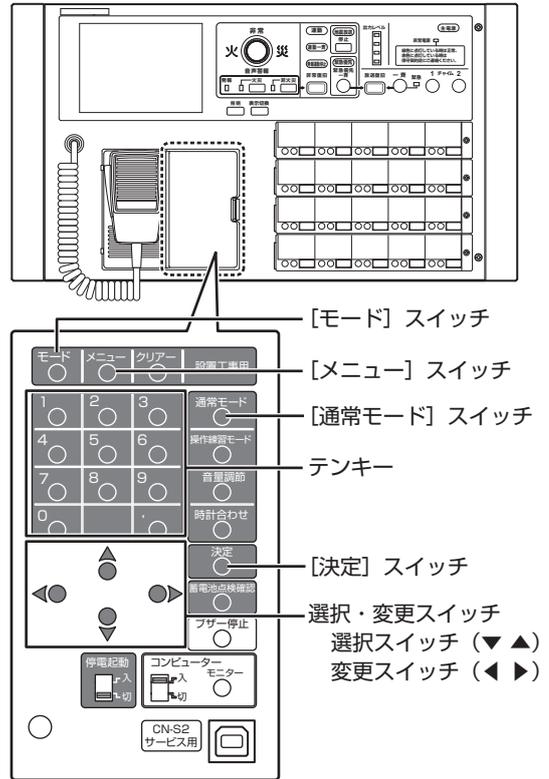
- ※2：EM-E156 ではメインソフトウェア、VF ソフトウェア、音声合成データのバージョン No を検出、EM-L152、EM-ES12-10 では台数表示を検出、他のユニットはソフトウェアバージョンなどを検出表示します。

メモ：

- 音量調節や負荷の状態などによっては、SP 回線短絡点検やパワーアンプ点検、あるいはインピーダンス測定で異常が検出できない場合があります。
- デジタルマトリックスユニットを使用している場合は、EM-1500 シリーズ「設置説明書(工事編)」の「デジタルマトリックスユニット (PA-MX92) の設置」をご覧ください。

システム点検画面の表示

非常業務操作器 (EM-E156)

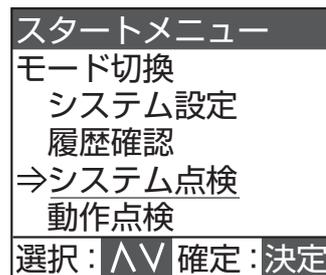


1 「スタートメニュー」画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、「スタートメニュー」画面を表示させます。

2 「システム点検」画面を表示させる

「スタートメニュー」画面で選択スイッチを使い「システム点検」を選択し、[決定] スイッチを押します。



下記の設定項目に移動します。

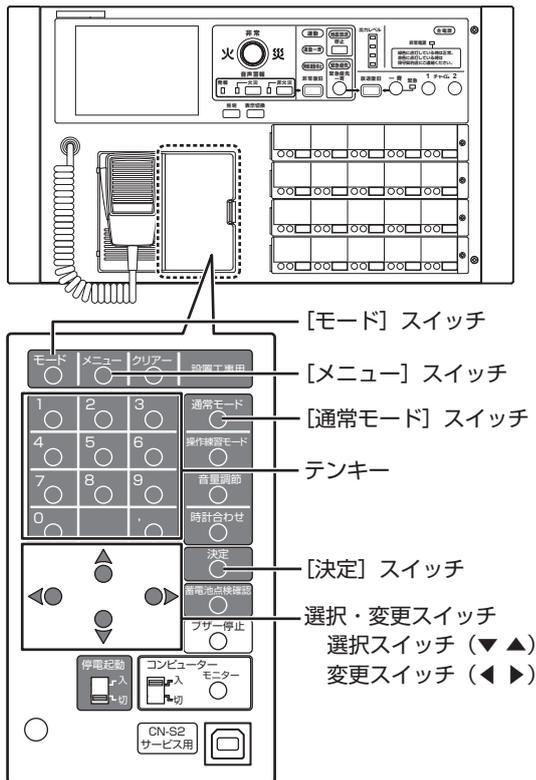
- ・ システム構成確認
「システム構成の確認」(P.77 ページ)
- ・ SP 回線短絡点検
「スピーカー回線の短絡点検」(P.79 ページ)
- ・ パワーアンプ点検
「パワーアンプの点検」(P.80 ページ)
- ・ インピーダンス測定
「インピーダンス測定」(P.81 ページ)
- ・ 蓄電池点検
「蓄電池の点検」(P.85 ページ)
- ・ 全項目点検
「全項目点検 (連続自動点検)」(P.86 ページ)

メモ： _____

- 前の画面に戻るときは、[メニュー] スイッチを押します。
- 再起動後、約 1 分間は「(接続確認中)」と表示され、「システム点検」が選択できない状態になります。

システム構成の確認

非常業務操作器 (EM-E156)



1 「システム点検」画面を表示させる

「システム点検画面の表示」(☞ 76 ページ) の操作を行い、「システム点検」画面を表示させます。

2 「システム構成確認」画面を表示させる

選択スイッチで「システム構成確認」を選択し、[決定] スイッチを押します。

[決定] スイッチを押すと接続されている主要ユニット情報を自動的に検出します。

システム点検
⇒システム構成確認
SP回線短絡点検
パワーアンプ点検
インピーダンス測定
蓄電池点検
選択： ▲▼ 実行： 決定

3 確認結果を表示させる

自動検出が終了すると、主要ユニットの接続情報およびソフトウェアのバージョンが表示されます。

選択スイッチを押し画面を切り換えて接続ユニットが検出されていること、使用台数などを確認してください。

システム構成確認画面については「システム構成の確認画面」(☞ 78 ページ) をご覧ください。

4 システム構成確認を終了する

[通常モード] スイッチを押し、スタートメニューに戻ってから通常状態に戻します。

メモ： _____

- 接続されている主要ユニットが正しく検出されていないときは、システム点検を終了し、ユニット接続、各ユニットの設定スイッチ、システム設定、およびプログラムシートなどを再確認してください。
- 要因を修復後、再度システム点検「システム構成確認」を実行し、正しく検出されることを確認してください。
- デジタルパワーアンプを接続している場合は、本体より前にデジタルパワーアンプの電源を入れてください。本体の後にデジタルパワーアンプの電源を入れると、デジタルパワーアンプの情報が正しく表示されない場合があります。

システム点検モードによる確認 (つづき)

■ システム構成の確認画面

システム構成確認	
E 156	v 1-00
ES12	16台
音声合成P	v 1-00
音声合成D	v 1-00
選択: △ ▽ 終了: 通常	



システム構成確認	
Y 152	v 1-00
L152	16台
拡張L 152	あり
選択: △ ▽ 終了: 通常	



システム構成確認	
MX 92-1	v 1-00
MX 92-2	v 1-00
選択: △ ▽ 終了: 通常	



システム構成確認	
C 1541	v 1-00
ES12	16台
C 1562	v 1-00
ES12	16台
選択: △ ▽ 終了: 通常	



システム構成確認	
C 6201	v 1-00
拡張	あり
C 6202	v 1-00
拡張	なし
選択: △ ▽ 終了: 通常	



システム構成確認	
予備電源	あり
選択: △ ▽ 終了: 通常	

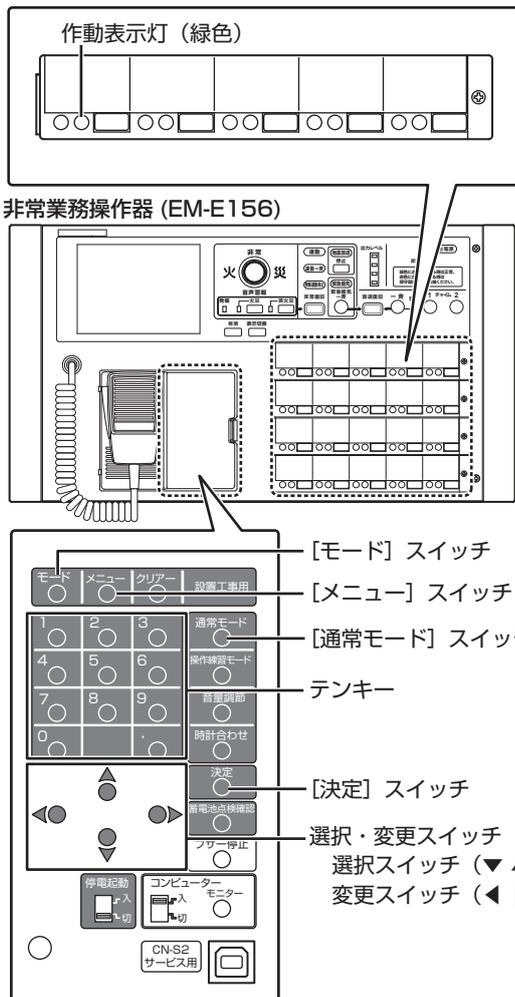


システム構成確認	
Dアンプ	
-01	v 1-00
-02	v 1-00
-03*	v 1-00
-04	v 1-00
選択: △ ▽ 終了: 通常	

メモ:

- 予備電源は、主入力制御ユニットの予備電源設定スイッチの情報を表示します。予備電源があるシステムで「なし」が表示される場合は、主入力制御ユニットの予備電源設定スイッチを「有」に設定してください。
- 「*」はデジタルパワーアンプ (EM-A842D/A822D) を接続したとき表示されます。

スピーカー回線の短絡点検



1 「システム点検」画面を表示させる

「システム点検画面の表示」(76 ページ) の操作を行い、「システム点検」画面を表示させます。

2 「SP 回線短絡点検」画面を表示させる

選択スイッチで「SP 回線短絡点検」を選択し、[決定] スイッチを押すと回線順に自動点検を開始します。

システム点検	
システム構成確認	
⇒ SP 回線短絡点検	
パワーアンプ点検	
インピーダンス測定	
蓄電池点検	
選択: ▲▼	実行: 決定

はじめに緊急リレー OFF で、次に緊急リレー ON で全回線を点検します。
 点検中に [通常モード] スイッチを押すと中止し、「システム点検」画面に戻ります。

SP 回線短絡点検	
実行中	12%
中止: 通常	

メモ: 点検中に短絡が検出されると、短絡回線が含まれる作動表示灯が点滅し、異常履歴として記録します。

3 点検結果を表示させる

全回線の点検が終了すると結果が表示されます。すべて正常なときは「短絡回線を検出できませんでした」と表示されます。

SP 回線短絡点検結果	
短絡回線を検出できませんでした。	
終了: 通常	

短絡回線が検出されたときは、短絡回線 No. が表示されますので、配線などを再点検してください。

- : 緊急リレー OFF 時
- : 緊急リレー ON 時

SP 回線短絡点検結果	
短絡回線 No.	
1○,	25○
99●,	101○
199●,	201●
299●,	301●
移動: ▲▼	終了: 通常

緊急リレー OFF で短絡が検出された回線は、緊急リレー ON での点検を行いません。

メモ: 短絡回線が「8」を越える場合は、選択スイッチで画面を切り換えて内容を確認できます。
 スピーカー回線は最大 320 回線あるため、最大 40 ページの短絡点検結果ページが表示されます。

システム点検モードによる確認 (つづき)

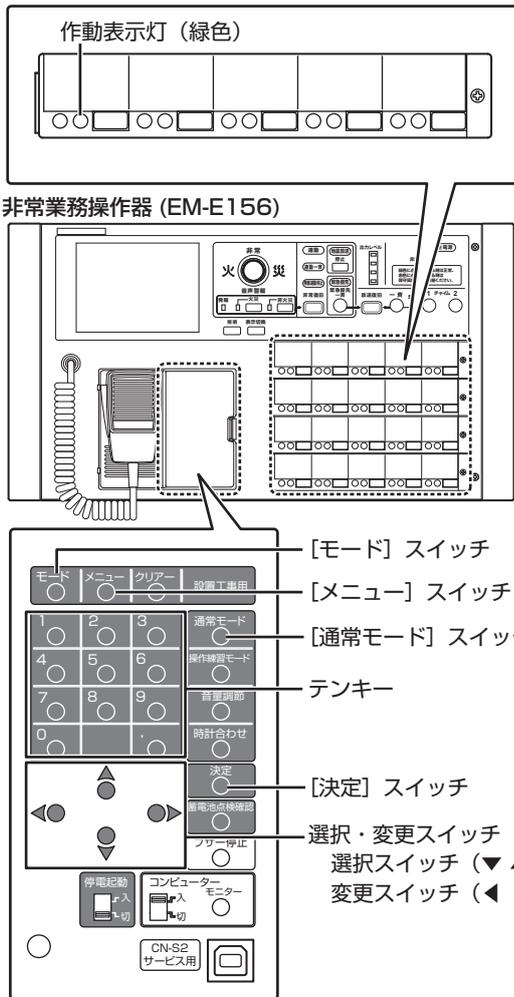
4 スピーカー回線短絡点検を終了する

[通常モード] スイッチを押し、「システム点検」画面に戻します。

メモ： _____

- 短絡回線が検出されたときはシステムを終了させ、異常回線のケーブル接続などを再点検します。
- 短絡箇所を修復後、コンピュータスイッチを3秒間「切」にしたあと、スイッチを「入」にして、短絡回線の表示をクリアしてから再度「スピーカー回線の短絡検査」を実施してください。

パワーアンプの点検



1 「システム点検」画面を表示させる

「システム点検画面の表示」(76 ページ) の操作を行い、「システム点検」画面を表示させます。

2 「パワーアンプ点検」画面を表示させる

選択スイッチで「パワーアンプ点検」を選択し、[決定] スイッチを押すとパワーアンプ点検を開始します。

システム点検	
システム構成確認	
SP回線短絡点検	
⇒パワーアンプ点検	
インピーダンス測定	
蓄電池点検	
選択： ∧∨	実行： 決定

点検中に [通常モード] スイッチを押すと中止し、「システム点検」画面に戻ります。

パワーアンプ点検	
実行中	
中止： 通常	

メモ： _____

- 点検中にスピーカー回線の短絡を検出した場合は、点検を中止して短絡回線が含まれる作動表示灯が点滅します。

3 点検結果を表示させる

全パワーアンプの点検が終了すると結果が表示されます。

- ・ 正常動作のとき：
「パワーアンプの異常を検出できませんでした」
- ・ 異常が検出されたとき：
「パワーアンプ異常」

パワーアンプ点検結果	
パワーアンプの異常を検出できませんでした。	
終了： 通常	

4 パワーアンプ点検を終了する

[通常モード] スイッチを押し、「システム点検」画面に戻します。

メモ： _____

- パワーアンプ動作異常が発見されたときは、接続されている各スピーカー回線負荷の総和などを再確認します。
- 修復処理を実施ののち、再度「パワーアンプ点検」を行なってください。

インピーダンス測定

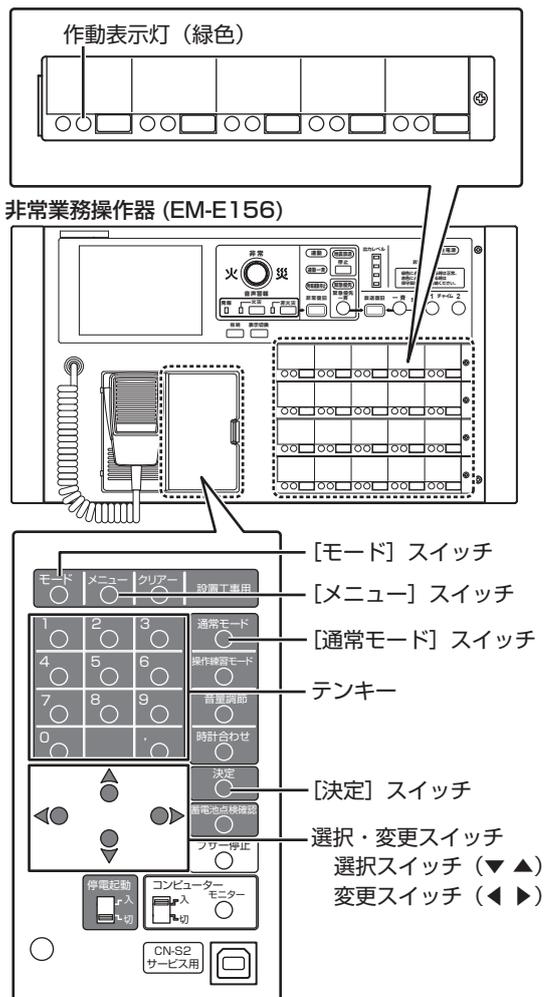
デジタルパワーアンプ (EM-A922D/A932D/A942D) をお使いのとき、設置時、スピーカー回線工事時、スピーカー増設時に回線の誤接続や負荷を簡易的に確認することができます。

ご注意：

- 本機能は、スピーカー回線のインピーダンスを正確に測定するものではありません。正確な測定値が必要な場合には、インピーダンスメーターなどをご利用ください。
- デジタルパワーアンプ (EM-A942D/A932D/A922D) をご利用のときのみインピーダンス測定を行うことができます。
- 本機能では、パワーアンプ内部でインピーダンスを測定します。このため、スピーカー回線ごとに接続されるパワーアンプのアドレス No. をあらかじめ登録しておく必要があります。事前に「アンプ回線の設定」(P. 30 ページ) を行なってください。
- 測定中はスピーカーのアッテネーターが無効になります。すべての回線から順次 1 kHz の測定音が出るのでご注意ください。
- デジタルマトリクスユニットをお使いの場合は、内部の入力 1 の音量ボリューム、出力音量ボリューム、入力感度切換スイッチの設定が工場出荷時の設定 (センター位置付近) になっていることをご確認ください。適切な位置にない場合には測定異常となるか、あるいは測定誤差が大きくなる場合があります。詳しくは、EM-1500 シリーズ「設置説明書 (工事編)」の「デジタルマトリクスユニット (PAMX92) の設置」をご覧ください。

メモ：

- 測定結果は、各回線の「基準値」として登録することが可能です。次回の測定時には測定値とともに「基準値」が表示されます。
- 測定音の出力中は本体のレベルメーターの値とスピーカー出力音圧が一致しませんが、故障ではありません。

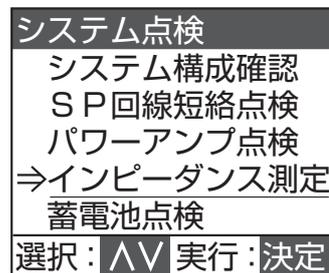


1 「システム点検」画面を表示させる

「システム点検画面の表示」(P. 76 ページ) の操作を行い、「システム点検」画面を表示させます。

2 「インピーダンス測定」画面を表示させる

選択スイッチで「インピーダンス測定」を選択し、[決定] スイッチを押します。



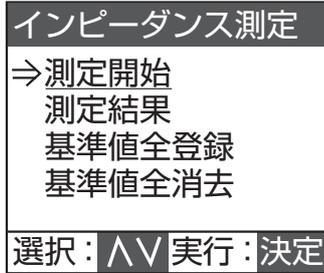
メモ：

- 設定を保存せずに測定を開始すると、設定内容が失われます。また、[決定] スイッチを押すと確認画面が表示されます。

システム点検モードによる確認（つづき）

3 測定開始画面を表示させる

「インピーダンス測定」画面で「測定開始」を選択し、[決定] スイッチを押します。



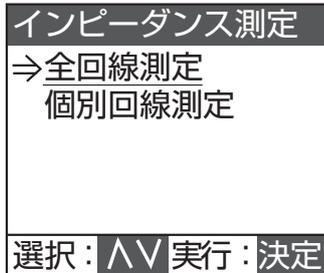
メモ： _____

- すべてのアンプ回線が未設定の場合は、画面に「アンプ回線設定が未設定です」と表示され、測定できません。（※ 30 ページ）

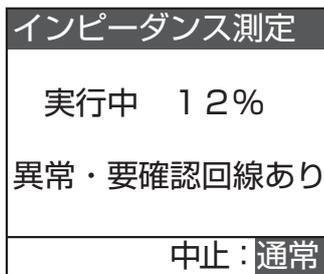
■ インピーダンス測定の開始

測定開始画面で選択スイッチを押して「全回線測定」を選択し、[決定] スイッチを押します。

特定の回線を測定したい場合は、「個別回線測定」を選択し、回線を入力後、[決定] スイッチを押してください。測定回線選択画面が表示されるので、回線 No. を変更スイッチまたはテンキーで入力し、[決定] スイッチを押します。

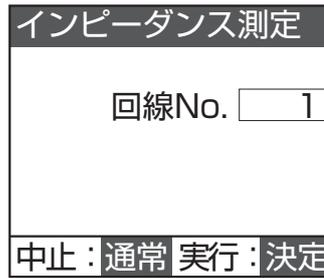


測定の実行中は画面に進行状況が表示されます。測定結果に異常回線や要確認回線がある場合は、進行状況の下に表示されます。



- 測定を開始すると、前回の測定結果は消去されます（動作履歴から古い結果を参照することはできません）。
- 全回線測定は、スピーカー回線 1 ~ 320 が対象となります。アンプ回線設定に設定されていない回線は測定されません。

- 測定が終わったスピーカー回線の測定結果と基準値は動作履歴に登録されます。



メモ： _____

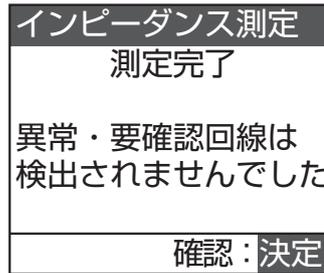
- インピーダンス測定中に [通常モード] スイッチを押すと、測定が中止され測定開始画面に戻ります。

■ インピーダンス測定の完了

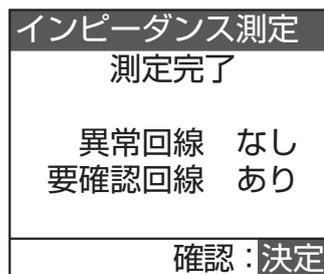
インピーダンス測定が完了（中断）すると測定完了画面が表示されます。

異常や要確認回線が検出されなかった場合は測定完了画面、検出された場合は測定完了（異常・要確認回線検出）画面が表示されます。

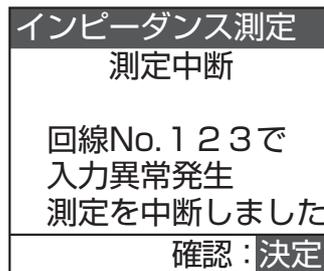
測定完了（正常終了）画面



測定完了（異常・要確認回線検出）画面



インピーダンス測定中に入力異常が発生した場合は、測定中断画面が表示されます。[決定] スイッチを押してください。



メモ： _____

- 測定中断操作、あるいは異常発生による中断であっても、中断前の回線までは測定結果として記録されます。
- 入力異常で中断したときは、異常履歴をご確認ください。(P. 105 ページ)

■ インピーダンス測定の結果表示

1 測定結果を確認する

測定完了画面で「決定」スイッチを押すと、測定結果画面が表示されます。

■ 正常終了した場合

測定結果画面（全回線）

インピーダンス測定	
回線No.	
1	100W
基準値	100W
2	12W
基準値	10W未満
移動：△V 終了：通常	

測定結果画面（個別回線）

インピーダンス測定	
回線No.	
1	50W
基準値	48W
登録：決定 終了：通常	

メモ： _____

- 測定結果は回線ごとに2行で表示され、上の行が今回の測定結果、下の行が前回登録した測定結果となります。
- 測定結果の表示範囲は、10～400Wです。
- 測定結果が10Wに満たない場合は、「10W未満」と表示されます。
- アンプ回線設定がされていないスピーカー回線は「--W」と表示されます。
- 回線の負荷が小さい場合には、測定誤差が大きくなる場合があります。
- チャンネル間を並列接続する場合、あるいは複数台のパワーアンプを並列接続する場合には、測定誤差が大きくなります。
- パワーアンプ内部の温度変化により測定結果に誤差を生じる場合があります。

■ 要確認回線が検出された場合

インピーダンス測定	
回線No.	
1	150W A
基準値	100W
2	18W D
基準値	10W未満
移動：△V 終了：通常	

要確認回線が検出されたときは、以下のマーク（要確認マーク）が白黒反転文字で表示されます。

- A**：パワーアンプの定格出力を超えた負荷がスピーカー回線に接続されている可能性があります。該当するスピーカー回線の接続をご確認ください。パワーアンプを並列接続でご利用の場合は並列接続が正しいかご確認ください。
- L**：スピーカー回線の負荷が200Wを超えている可能性があります。該当するスピーカー回線の接続をご確認ください。
- D**：測定結果が前回登録した基準値と大きく異なる場合に表示されます。スピーカー回線の負荷に大きな変化があった可能性があります。該当するスピーカー回線の接続をご確認ください。

メモ： _____

- 要確認マークが表示された場合は、インピーダンスメーターでスピーカー回線のインピーダンスをご確認ください。
- 測定誤差により要確認マークが正確に表示されない場合もあります。

■ 異常が検出された場合

インピーダンス測定	
回線No.	
21	測定異常
基準値	100W
22	設定不整合
基準値	80W
移動：△V 終了：通常	

測定異常が検出されたときは以下のように表示されます。

- ・「測定異常」
測定中に過電流などのパワーアンプ異常が発生したとき
- ・「設定不整合」
未接続のパワーアンプのアドレス No. がアンプ回線設定で設定されたとき
- ・「通信異常」
測定中にパワーアンプとの通信の応答が途切れたとき

次ページへつづく

システム点検モードによる確認（つづき）

2 測定結果を更新する

個別回線測定を行なったときのみ、測定結果画面で「決定」スイッチを押すと、その回線の測定結果を登録することができます。

メモ： _____

- 登録されるのは、正常終了したスピーカー回線の測定値のみです。要確認回線の測定値は登録されません。
- 登録された測定値は、次のインピーダンス測定の基準値として表示されます。

3 インピーダンス測定を終了する

「[通常モード] スイッチを押すと「インピーダンス測定」画面に戻ります。
さらに「[通常モード] スイッチを押すと、「システム点検」画面に戻り、本体が再起動します。

メモ： _____

- 測定結果を登録せずに再起動すると、測定結果は破棄されます。（ただし、動作履歴に測定値は残ります。）

■ インピーダンス測定結果の確認

インピーダンス測定
測定開始
⇒測定結果
基準値全登録
基準値全消去
選択：∧∨ 実行：決定

1 「インピーダンス測定」画面で「測定結果」を選択する

2 測定結果選択画面で「全回線」／「異常・要確認回線」を選択し、「決定」スイッチを押す

「全回線」を選択した場合は、次の画面で結果を見たい回線番号を入力し、「決定」スイッチを押します。
選択した回線の結果が表示されます。

3 インピーダンス測定結果の確認を終了する

「[通常モード] スイッチを2回押してスタートメニューから「[モード] スイッチを押して通常状態に戻します。

■ インピーダンス測定結果の登録・消去

インピーダンス測定
測定開始
測定結果
⇒基準値全登録
基準値全消去
選択：∧∨ 実行：決定

インピーダンス測定
測定開始
測定結果
基準値全登録
⇒基準値全消去
選択：∧∨ 実行：決定

1 「インピーダンス測定」画面で「基準値全登録」または「基準値全消去」を選択し、「決定」スイッチを押す

登録または消去をしない場合は、「[通常モード] スイッチを押すと「インピーダンス測定」画面に戻ります。
登録（消去）中は「登録（消去）中」画面を表示し、完了すると「登録（消去）操作完了」が表示されます。

メモ： _____

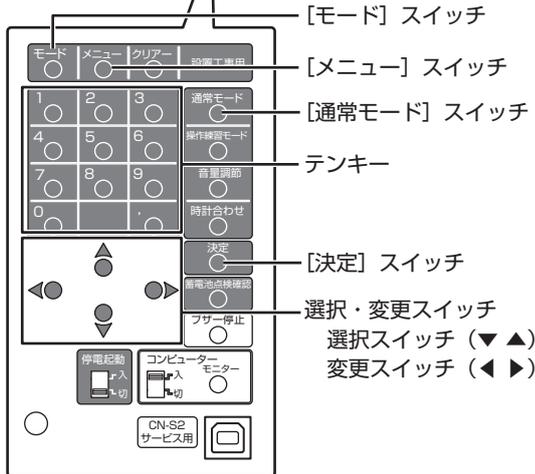
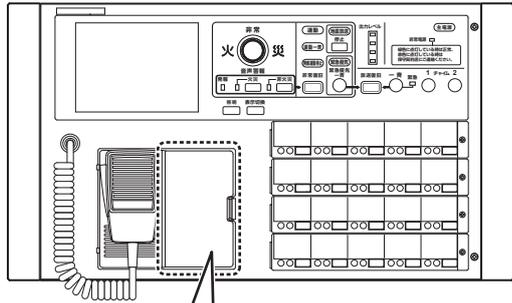
- 「基準値全登録」を選択すると、直前に測定した正常な結果のみが登録されます。
- 「基準値全消去」を選択すると、保存されているすべての測定結果が消去されます。

2 登録（消去）操作を終了する

「決定」スイッチを押して、スタートメニューに戻ってから「[モード] スイッチを押して通常状態に戻します。

蓄電池の点検

非常業務操作器 (EM-E156)

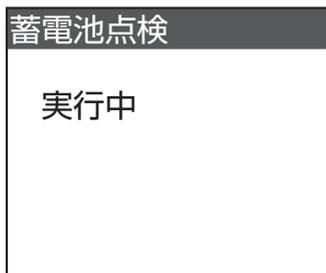
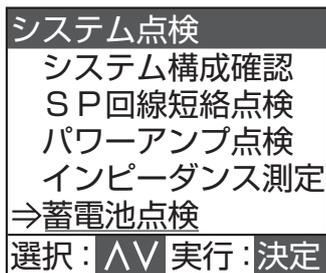


1 「システム点検」画面を表示させる

「システム点検画面の表示」(76 ページ) の操作を行い、「システム点検」画面を表示させます。

2 「蓄電池点検」画面を表示させる

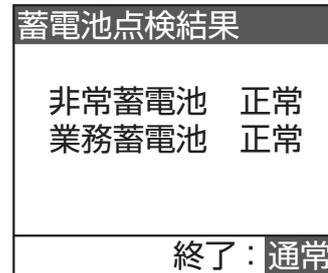
選択スイッチで「蓄電池点検」を選択し、[決定] スイッチを押すと蓄電池点検を開始します。
非常用蓄電池、業務用蓄電池の順に点検を行います。



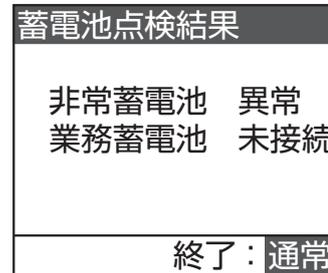
3 点検結果を表示させる

検査が終了すると結果が表示されます。

- ・非常用蓄電池が正常なとき：「非常蓄電池 正常」
- ・業務用蓄電池が正常なとき：「業務蓄電池 正常」



- ・非常用蓄電池が異常のとき：「非常蓄電池 異常」
- ・業務用蓄電池が異常のとき：「業務蓄電池 異常」
- ・予備電源設定スイッチが「無」のとき：「業務蓄電池 未接続」



接続、充電状態、主入力制御ユニットの予備電源設定スイッチ、非常業務電源ユニットの [モード] スイッチなどを再確認し、異常原因を修復してください。

メモ：

- 非常用蓄電池は必ず接続するため、「未接続」の表示はなく、接続されていないときは「異常」と表示されます。
- 業務用蓄電池を接続する場合は、主入力制御ユニットの予備電源設定スイッチを「有」に設定します。「無」に設定しているときは、「未接続」と表示されます。

4 蓄電池点検を終了する

[通常モード] スイッチを押し、スタートメニューに戻ってから通常状態に戻します。

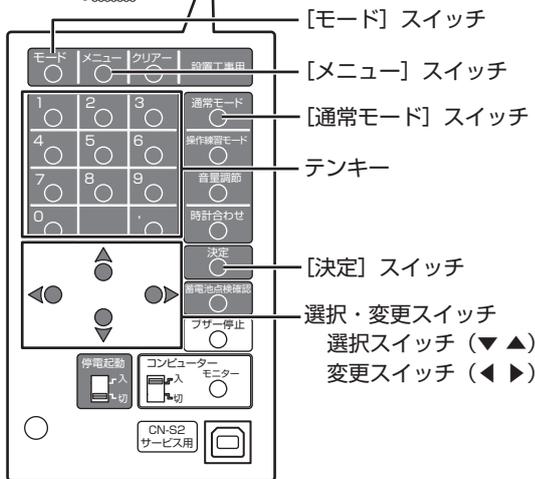
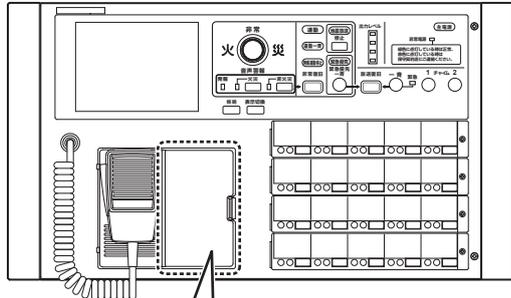
メモ：

- 蓄電池異常が発見されたときはシステム点検を終了し、電池接続、充電電流切換スイッチ設定、充電時間など再確認します。
- 修復処理を実施ののち、再度「蓄電池点検」を行なってください。

全項目点検（連続自動点検）

全項目点検を実行すると、システム構成確認とインピーダンス測定をのぞくすべての項目を自動的に点検します。

非常業務操作器 (EM-E156)

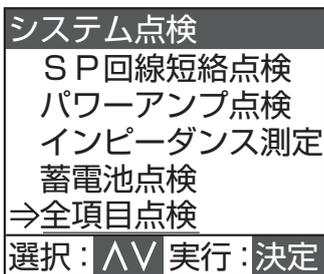


1 「システム点検」画面を表示させる

「システム点検画面の表示」(☞ 76 ページ) の操作を行い、「システム点検」画面を表示させます。

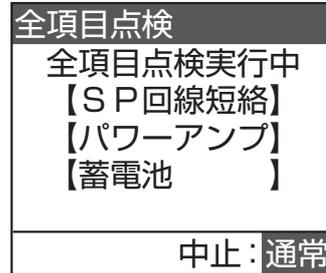
2 「全項目点検」画面を表示させる

選択スイッチで「全項目点検」を選択し、[決定] スイッチを押すと自動的に各項目の点検を開始します。



3 自動的に全項目点検を実行する

点検実行中の項目が点滅して進行段階を表示します。点検を中止するときは [通常モード] スイッチを押し、「システム点検」画面へ戻します。



4 点検結果を確認する

点検が終了すると自動的に結果表示画面に変わります。「SP回線短絡」、「パワーアンプ点検」、「蓄電池点検」の順で点検結果が表示されます。各点検画面で変更スイッチを押すと次の点検画面に進みます。画面表示の詳細については各点検操作のページをご覧ください。

- SP回線短絡点検
「スピーカー回線の短絡点検」(☞ 79 ページ)
- パワーアンプ点検
「パワーアンプの点検」(☞ 80 ページ)
- 蓄電池点検
「蓄電池の点検」(☞ 85 ページ)

5 システム点検を終了する

[通常モード] スイッチを押し、スタートメニューに戻って [モード] スイッチを押して通常状態へ戻します。

システム動作の確認

システム全体の動作を確認します。

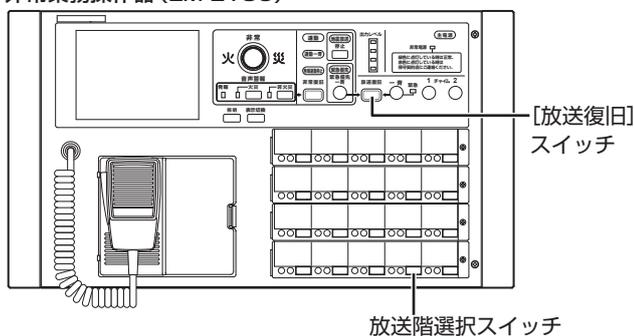
館内スピーカーから実際に音を出して確認するので、必ず試験放送中ということをご案内したうえで確認作業を実施してください。

特に非常放送動作の確認時は、自動的に音声警報メッセージを放送します。十分配慮のうえ、確認作業を実施してください。

放送階選択—スピーカー回線の確認

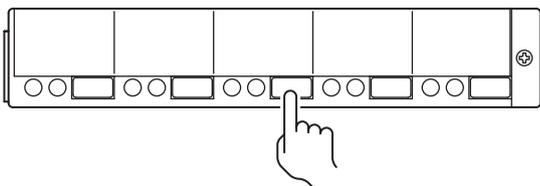
放送階選択プログラムシートをご用意のうえ、設定した内容と動作をご確認ください。

非常業務操作器 (EM-E156)



1 放送階選択スイッチを押す

放送階選択スイッチを押し、マイク放送をします。全放送階選択スイッチの放送場所の動作確認を行いますので、順に“ON”してください。



2 スピーカー回線／エリアの動作確認をする

選択スイッチに設定したスピーカー回線／スピーカーエリアのスピーカーからマイク音が出力されていることを確認してください。

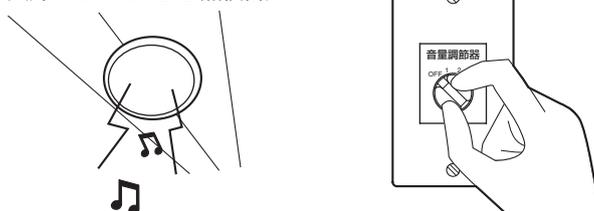


3 アッテネーター動作の確認をする

アッテネーターが使用されているときは、音量調節ツマミを操作して動作が正常であることを確認してください。

緊急指定されたブロックに接続されたスピーカー回線／スピーカーエリアのアッテネーターは、操作してもスピーカー音量は最大音量から変更できないことを確認してください。

天井スピーカーより点検音声

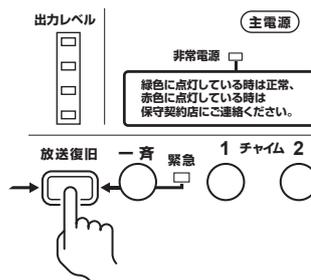


4 すべての放送階選択スイッチを確認する

すべての放送階選択スイッチごとに設定したスピーカー回線／スピーカーエリアのスピーカー、アッテネーターが正常に動作していることを確認してください。

5 通常状態へ戻す

[放送復旧] スイッチを押します。



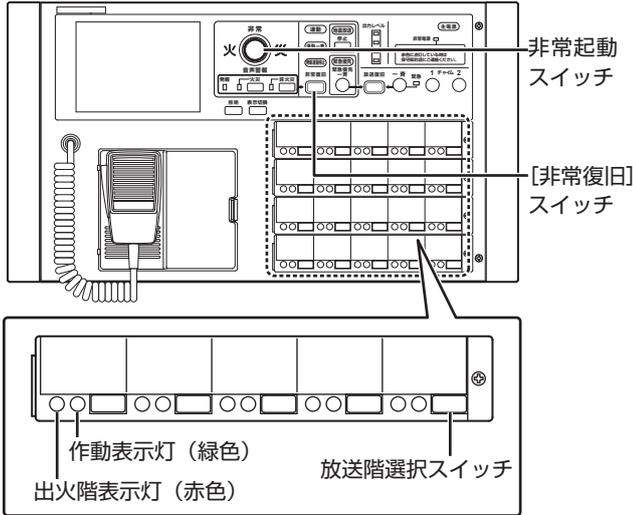
システム動作の確認(つづき)

非常放送の動作確認

■ 手動起動時の確認

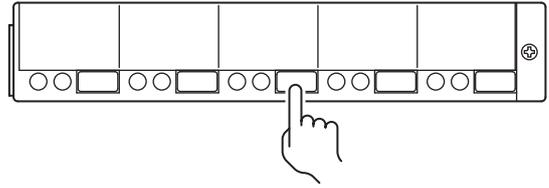
動作設定プログラムシート、放送階選択回線 No. 設定プログラムシート、同一階連動階設定プログラムシートをご用意のうえ、設定した内容と動作をご確認ください。

非常業務操作器 (EM-E156)



2 出火階の放送階選択スイッチを押す

全放送階選択スイッチの動作確認を行います。液晶画面の手順に従って操作してください。



● 「作動表示灯」の点灯確認

同一階に存在する放送階選択スイッチの作動表示灯が点灯することを確認してください。

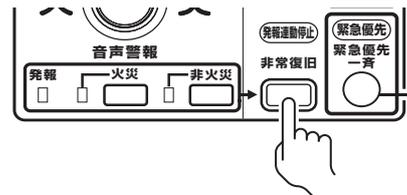
また、手動起動動作設定が「連動」の場合は、連動階の放送階選択スイッチの作動表示灯も点灯します。あわせて確認してください。

● すべての「放送階選択スイッチ」についての確認

放送階選択スイッチに対応した階を出火階として動作確認を行なってください。

3 通常状態へ戻す

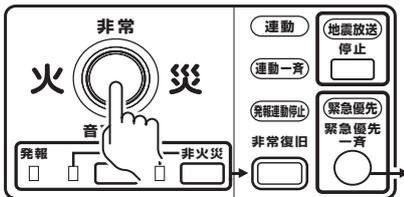
[非常復旧] スイッチを押します。



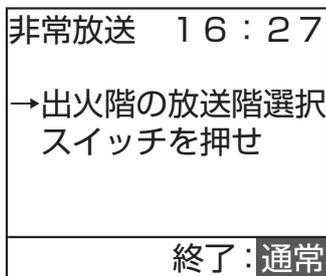
◆ 放送階選択、同一階連動階の確認

1 非常起動スイッチを押す

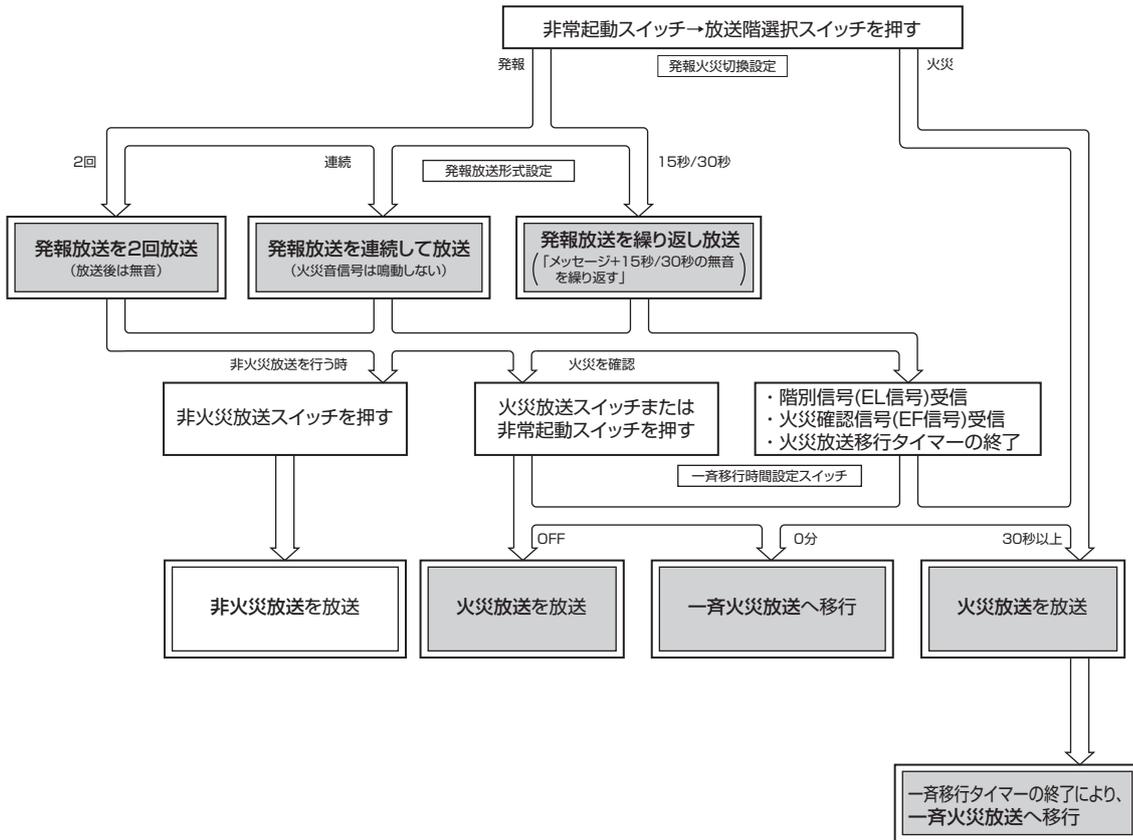
火災灯が点灯します。



液晶画面は下図の表示をさせます。



◆ 非常放送の動作設定（発報火災切換、発報放送形式、一斉移行時間など）によって、次のように動作することを確認します。



■ の音声警報は、自動火災報知設備からの階別火災信号（EL）の受信がない場合には、出火階情報のないメッセージが放送されます。

発報放送：「ただいま火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」（女声）

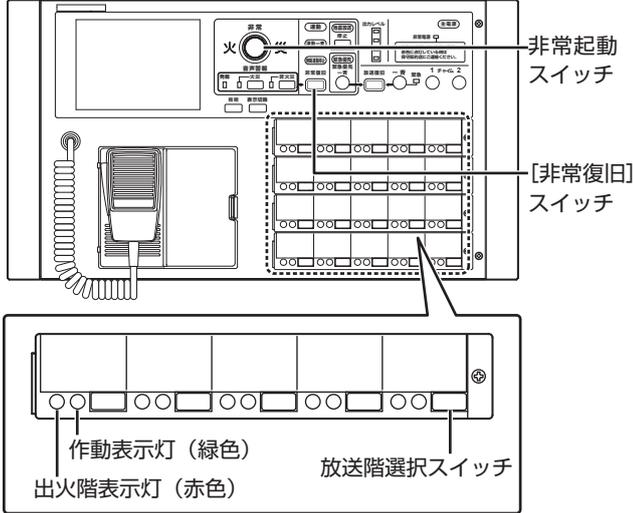
火災放送：「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」（男声）

システム動作の確認(つづき)

■ 感知器起動時の確認

動作設定プログラムシート、放送階選択回線 No. 設定プログラムシート、同一階連動階設定プログラムシートをご用意のうえ、設定した内容と動作をご確認ください。

非常業務操作器 (EM-E156)



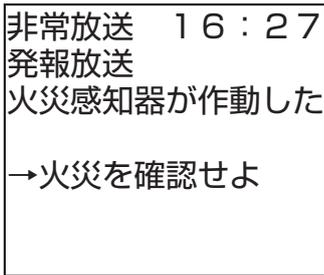
◆ 放送階選択、同一階連動階の確認

1 自動火災報知設備の試験起動をする

階別火災信号 (EL) を試験起動で発報させます。

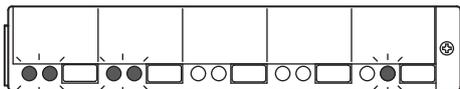
2 階別火災信号 (EL) 受信時の動作確認をする

階別火災信号 (EL) を受信すると、液晶画面が下図の表示になることを確認します。



受信した階別火災信号 (EL) に対応する放送階選択スイッチの出火階表示灯の点灯 (赤色) を確認してください。

同時に出火階、連動階の作動表示灯の点灯 (緑色) を確認してください。



メモ：

- 非常放送用に使用できない EL 端子に階別火災信号 (EL) を入力すると、業務ブロックスイッチや BGM ブロックスイッチの出火階表示灯が点灯します。自動火災報知設備との接続をご確認ください。

3 全「階別火災信号 (EL)」受信確認をする

接続した階別火災信号 (EL) すべてを順次受信して出火階表示灯の点灯、出火階・連動階の作動表示灯が点灯することを確認してください。

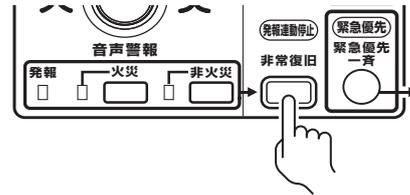
階別火災信号 (EL) を受信すると、発報放送または火災音信号が鳴動します。

次の手順を繰り返して行ってください。

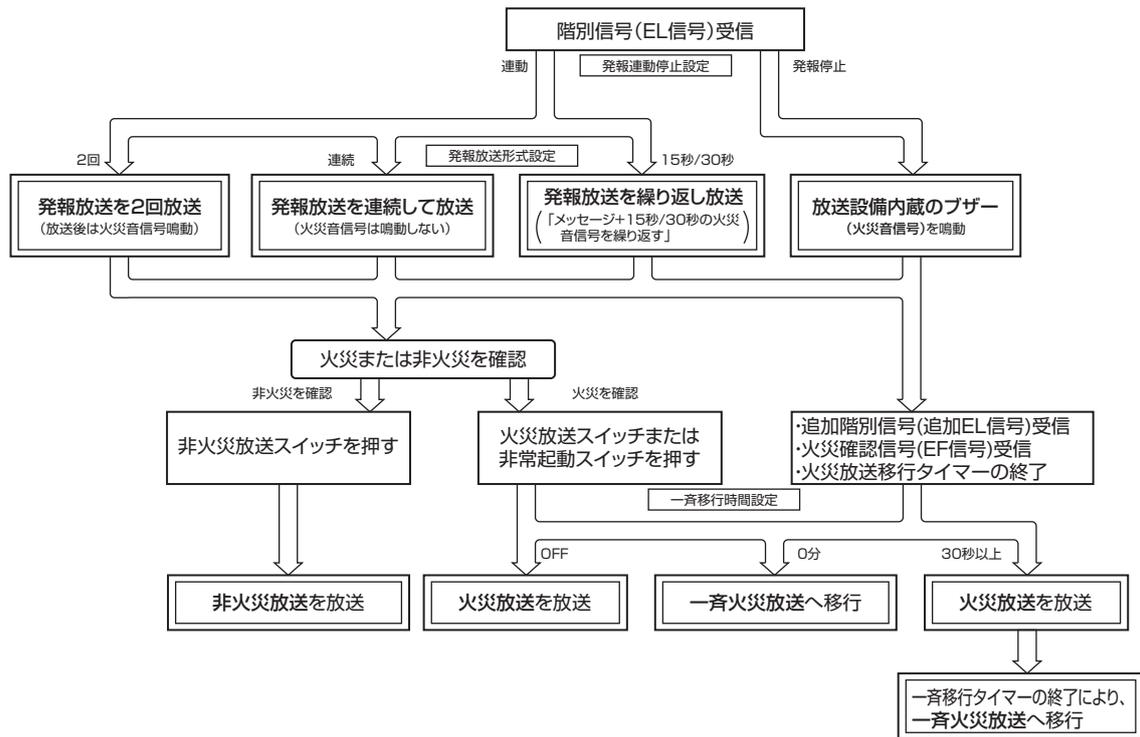
- 1) 自動火災報知設備を解除する
- 2) [非常復旧] スイッチを押して非常放送を復旧する
- 3) 自動火災報知設備の試験起動をする
- 4) 階別火災信号 (EL) 受信時の動作確認をする

4 通常状態へ戻す

[非常復旧] スイッチを押します。



◆ 非常放送の動作設定（発報連動停止、発報放送形式、火災放送移行時間、一斉移行時間など）によって、次のように動作することを確認します。



システム動作の確認（つづき）

■ 発信機起動時の確認

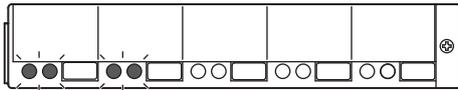
動作設定プログラムシート、放送階選択回線 No. 設定プログラムシート、同一階連動階設定プログラムシートをご用意のうえ、設定した内容と動作をご確認ください。

1 自動火災報知設備の試験起動をする（EL + EF）

任意の階別火災信号（EL）と火災確認信号（EF）を同時に発報させ、非常業務放送設備の動作を確認してください。

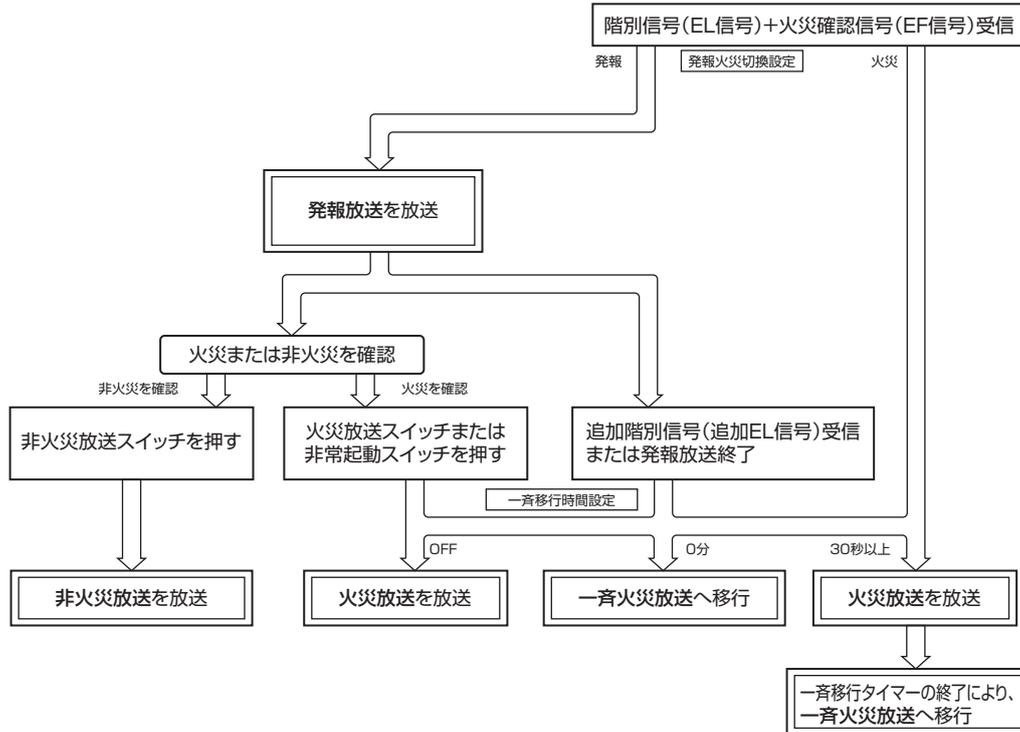
2 EL + EF 信号の同時受信動作を確認する

受信した EL 信号に対応する放送階選択スイッチの出火階表示灯の点灯（赤色）、および出火階・連動階の作動表示灯の点灯（緑色）を確認してください。



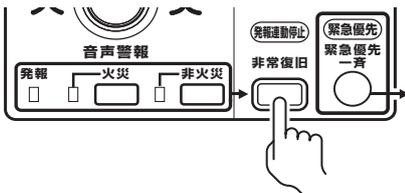
3 非常放送の動作設定を確認する

非常放送の動作設定（発報火災切換、発報放送形式、一斉移行時間など）によって、次のように動作することを確認します。



4 通常状態へ戻す

[非常復旧] スイッチを押します。



5 すべての同時受信動作を確認する

すべての放送階選択スイッチに対して、手順 1～4 をくり返してください。

■ 非常制御動作の確認

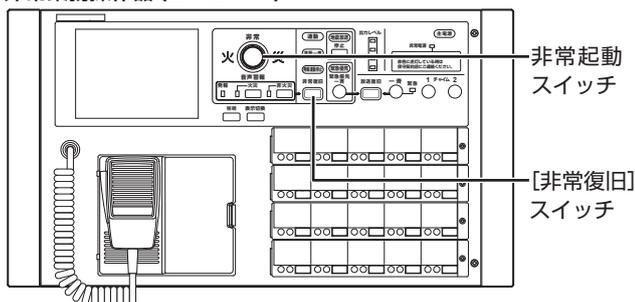
◆ 非常制御される機器とは

非常業務放送設備が設置されている防火対象物（同一建物内）に、他の音響機器（カラオケ、テナントBGMアンプなど）が設置されているときは、非常放送が起動されると、これらの機器の音響出力を遮断する必要があります。

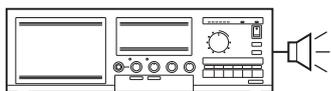
また、非常業務放送設備と他設備とスピーカーを共用するシステムでは非常放送起動時、スピーカーを自動的に非常業務放送設備へ切り換える必要があります。

この非常時の制御を行う非常制御信号（RB）の動作を確認します。

非常業務操作器 (EM-E156)

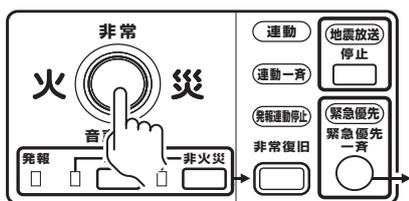


1 非常制御される設備・機器を通常動作状態にセットする



2 手動で非常起動する

非常起動スイッチを押します。
起動時の各動作が行われます。

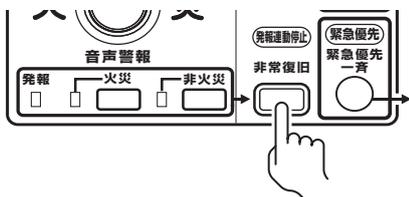


3 非常制御機器の動作確認をする

- 非常時遮断動作など（RB-1C など）
非常起動により遮断されることを確認してください。
- 非常切換動作（RB-2C、PA-X13 など）
非常起動により切り換え動作が行われることを確認してください。

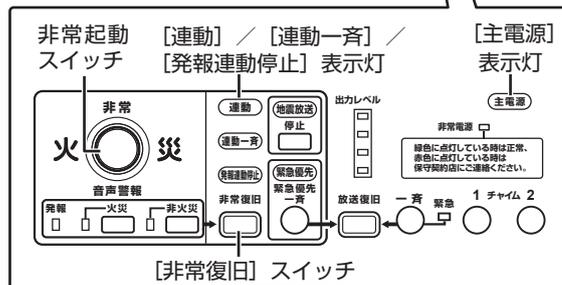
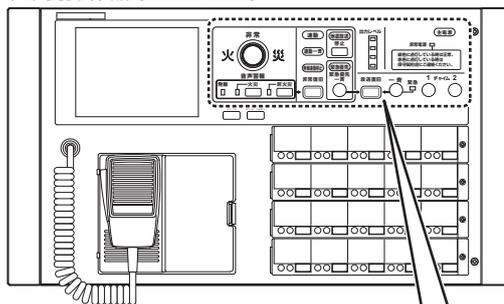
4 通常状態へ戻す

[非常復旧] スイッチを押します。



■ 停電動作の確認

非常業務操作器 (EM-E156)



1 非常業務放送設備の専用電源ブレーカーを切る

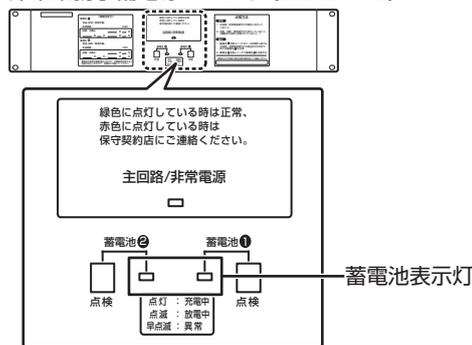
2 本体の表示を確認する

[主電源] 表示灯が消灯していること、[連動] / [連動一斉] / [発報連動停止] 表示灯がいずれも消灯していることを確認します。

3 非常業務電源ユニットの表示を確認する

蓄電池表示灯が点滅（2秒周期）していることを確認します。

非常業務予備電源ユニット (EM-N152)



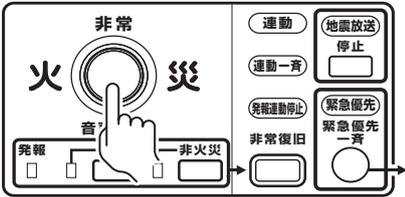
4 非常リモコンの表示を確認する

非常リモコンを接続している場合は、非常リモコンの [連動] / [連動一斉] / [発報連動停止] 表示灯がいずれも消灯していることを確認します。

システム動作の確認(つづき)

5 手動起動時の非常放送動作を確認する

非常起動スイッチを押し、手動起動時の非常放送動作が可能なことを確認します。



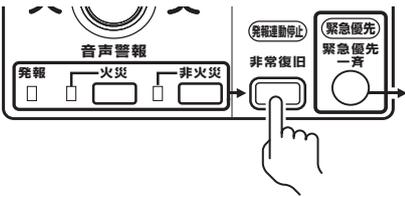
6 非常業務電源ユニットの表示を確認する

蓄電池表示灯を確認します。

- ・非常用蓄電池の蓄電池表示灯：点滅（2秒周期）
- ・業務用蓄電池の蓄電池表示灯：消灯

7 停電時の動作を確認する

[非常復旧] スイッチを押し、停電時の動作（手順2～手順4）に戻ることを確認します。



8 感知器起動、発信機起動時の非常放送動作を確認する

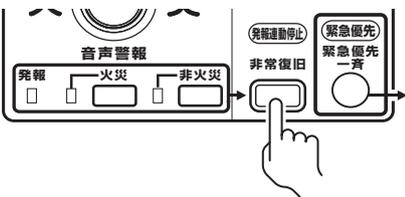
自動火災報知設備から試験起動させ、感知器起動（EL）および発信機起動（EL+EF）時の非常放送動作が可能なことを確認します。

9 通電時に戻す

非常業務放送設備用の専用電源ブレーカーを入れます。

10 通常状態へ戻す

[非常復旧] スイッチを押します。

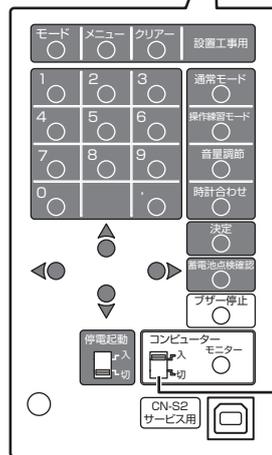
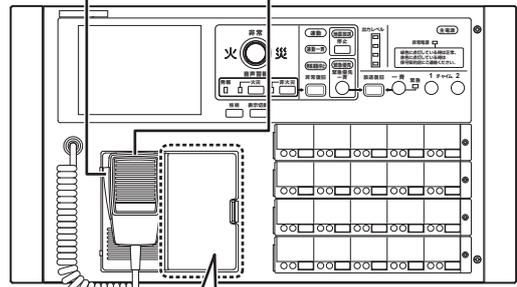


- 本体の表示を確認する
[主電源] 表示灯が点灯していること。
[連動] / [連動一斉] / [発報連動停止] 表示灯のいずれかが1つ以上点灯していること。
- 非常業務電源ユニットの表示を確認する
蓄電池表示灯が点滅（2秒周期）していること。
- 非常リモコンの表示を確認する
[連動] / [連動一斉] / [発報連動停止] 表示灯のいずれかが1つ以上点灯していること。

■ コンピュータースイッチ「切」時の確認

非常業務操作器 (EM-E156)

マイクスイッチ 非常業務兼用マイク



コンピュータースイッチ

1 コンピュータースイッチを「切」にする

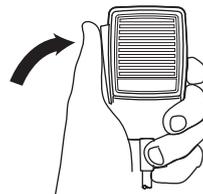
本体または非常リモコンのコンピュータースイッチを「切」にします。

2 ブザー音を確認する

“ピー” というブザー音がなります。

3 マイクスイッチを押す

非常業務兼用マイクのマイクスイッチを押します。



4 放送動作を確認する

緊急一斉放送ができることを確認します。

5 コンピュータースイッチを「入」にする

通常状態に戻ります。

業務放送の動作確認

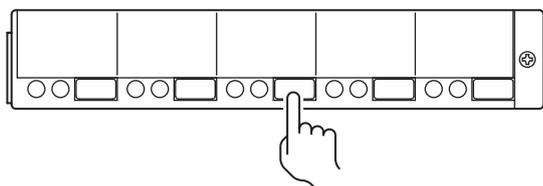
■ 緊急優先ブロック／業務ブロック／BGMブロックの確認

緊急優先ブロック回線 No. 設定プログラムシート、業務ブロック回線 No. 設定プログラムシート、BGM ブロック回線 No. 設定プログラムシートをご用意のうえ、設定した内容と動作をご確認ください。

1 緊急優先ブロックスイッチ／業務ブロックスイッチ／BGMブロックスイッチを押す(起動)

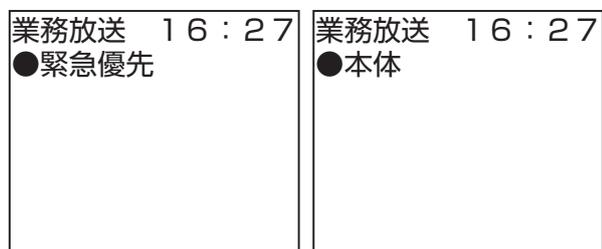
緊急優先ブロックスイッチ／業務ブロックスイッチ／BGM ブロックスイッチを押し、マイク放送またはBGM 機器を演奏します。

全ブロックスイッチの放送場所の動作確認を行いますので、順に“ON”にしてください。



2 スピーカー回線／エリアの動作確認をする

ブロックスイッチに設定したスピーカー回線／スピーカーエリアのスピーカーから点検音声が出力されていることを確認してください。

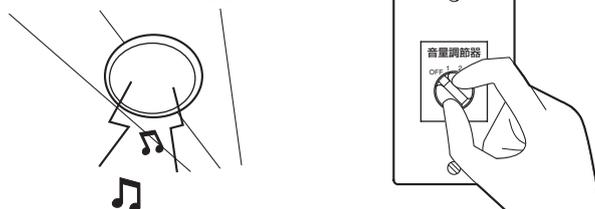


3 アッテネーター動作の確認をする

アッテネーターが使用されているときは音量調節ツマミを操作して動作が正常であることを確認してください。

緊急指定された業務ブロックに接続されたスピーカー回線／エリアのアッテネーターは操作しても、スピーカー音量は最大音量で可変できないことを確認してください。

天井スピーカーより点検音声

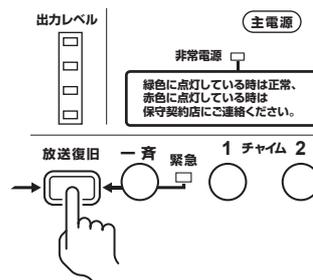


4 すべてのブロックスイッチを確認する

すべてのブロックスイッチごとに設定したスピーカー回線／スピーカーエリアのスピーカー、アッテネーターが正常に動作していることを確認してください。

5 通常状態へ戻す

[放送復旧] スイッチ、または再度ブロックスイッチを押します。



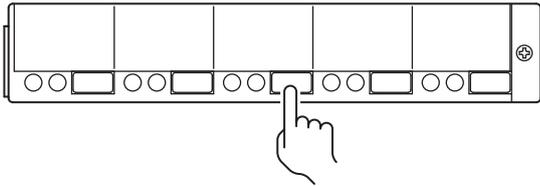
システム動作の確認(つづき)

■ 制御出力の動作確認

制御出力スイッチ名称設定プログラムシートをご用意のうえ、設定した内容と動作をご確認ください。

1 制御出力ブロックスイッチを押す (起動)

制御出力ブロックスイッチを押し、入出力拡張用の回線制御ユニット (EM-L152) の制御出力端子をオンします。



2 表示を確認する

「制御出力」の表示を確認します。

3 機器の動作を確認する

入出力拡張用の回線制御ユニットの制御出力端子に接続された機器の動作を確認します。
制御出力端子について詳しくは、EM-1500 シリーズ「設置説明書 (工事編)」をご覧ください。

4 すべての制御出力ブロックスイッチを確認する

すべての制御出力ブロックスイッチごとに設定した機器が正常に動作していることを確認してください。

5 通常状態へ戻す

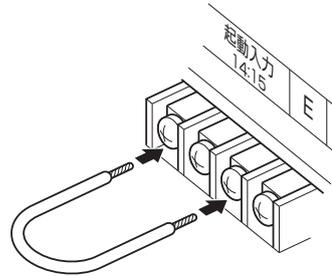
再度ブロックスイッチを押します。

■ 起動入力の確認

起動入力回線 No. 設定プログラムシートをご用意のうえ、設定した内容と動作をご確認ください。

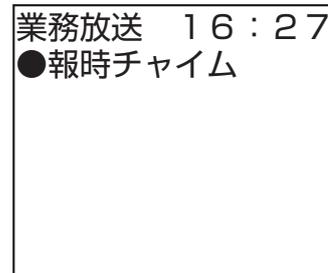
1 起動入力機器を起動する

起動入力 No.1 に接続した機器を起動します。
または図のように主入力制御ユニットの入力端子を E 端子 (GND) へ短絡して起動入力してください。



2 スピーカー回線 / エリアの動作確認をする

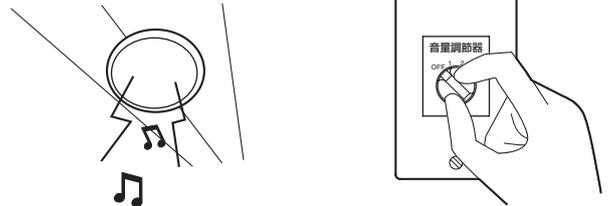
起動入力 No.1 に対応したスピーカー回線 / スピーカーエリアのスピーカーからマイク音または放送機器の再生音などが出力されていることを確認してください。
起動時チャイムを設定している場合はチャイムが鳴動することを、放送機器を音声ファイルに設定している場合は、指定した音声ファイルが設定した再生モードで出力されていることを確認してください。



3 アッテネーターの動作確認をする

アッテネーターが使用されているときは操作して動作が正常であることを確認してください。
緊急指定されている起動入力に対応するスピーカー回線 / エリアのアッテネーターはスピーカー音量最大で、音量可変できないことを確認してください。

天井スピーカーより点検音声



4 すべての起動入力 No. の動作確認をする

起動入力 No.2 から順にすべての外部起動入力の動作確認を手順 1 ~ 3 と同様に行なってください。

5 通常状態へ戻す

起動入力 No.1 に接続した機器を停止します。
入力機器を短絡したときははずします。

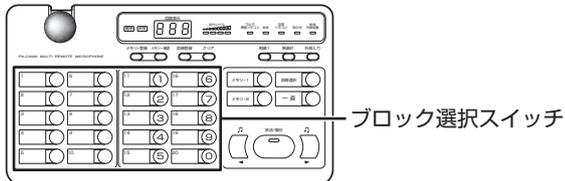
■ マルチ業務リモコンの確認

マルチ業務リモコン回線 No. 設定プログラムシートをご用意のうえ、設定した内容と動作をご確認ください。

1 マルチ業務リモコンのブロック選択をする

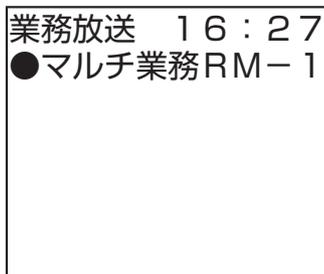
ブロック選択スイッチ 1 を押し、[放送/復旧] スイッチを押し、マイク放送を行います。

マルチリモートマイクロホン (PA-C620)



2 設定スピーカー回線/エリアの鳴動確認をする

ブロック選択スイッチに設定されたスピーカー回線/スピーカーエリアのスピーカーからマイク音が放送されることを確認してください。



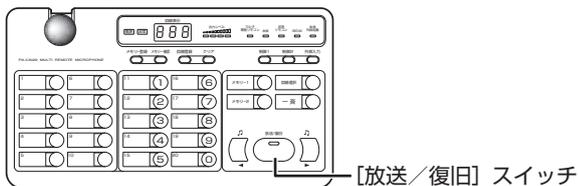
3 アッテネーター動作を確認する (緊急指定のとき)

ブロックスイッチに「緊急指定」を設定しているスピーカー回線のアッテネーターは制御機能が解除され、スピーカーの出力が最大音量であることを確認してください。

4 放送を復旧する

[放送/復旧] スイッチを押します。

マルチリモートマイクロホン (PA-C620)



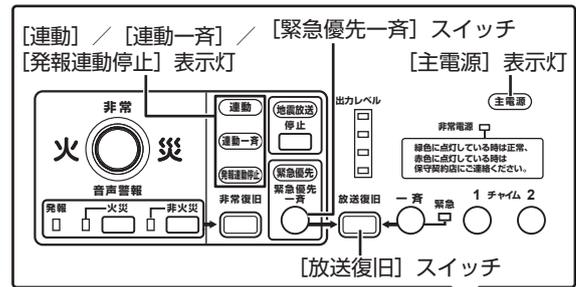
5 すべてのブロック選択スイッチの動作確認をする

ブロック選択スイッチ 2 ~ 20 についても手順 1 ~ 4 の動作確認を行なってください。

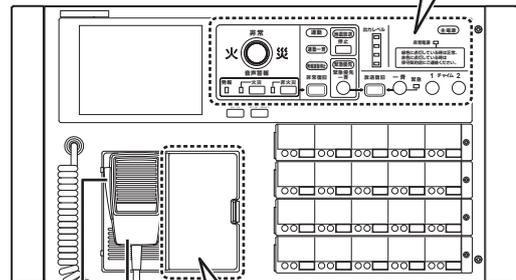
複数台のマルチ業務リモコンを使用するときは、それぞれで手順 1 ~ 4 の動作確認を行なってください。

■ 業務放送の停電動作確認

業務用蓄電池を設置している場合は、以下の動作確認を行なってください。

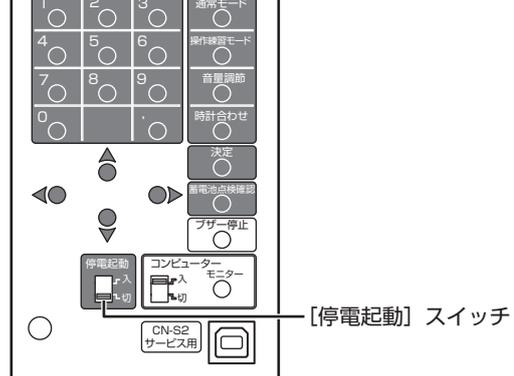


非常業務操作器 (EM-E156)



非常業務兼用マイク

マイクスイッチ



1 非常業務放送設備の専用電源ブレーカーを切る

2 本体の表示を確認する

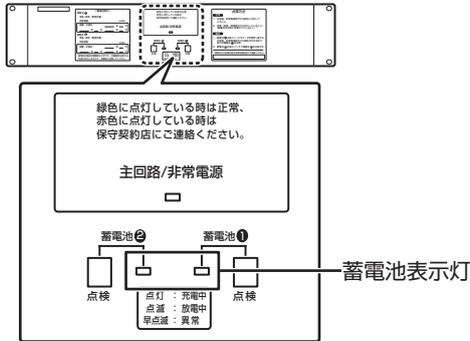
[主電源] 表示灯が消灯していること、[連動] / [連動一斉] / [発報連動停止] 表示灯がいずれも消灯していることを確認します。

システム動作の確認(つづき)

3 非常業務電源ユニットの表示を確認する

蓄電池表示灯が点滅（2秒周期）していることを確認します。

非常業務予備電源ユニット(EM-N152)



4 [停電起動] スイッチを「入」にする

本体の [停電起動] スイッチを「入」にします。

5 非常業務電源ユニットの表示を確認する

蓄電池表示灯を確認します。

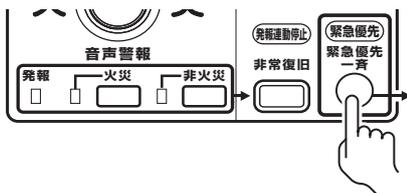
- 蓄電池①：消灯
- 蓄電池②：点滅（2秒周期）

メモ： _____

- 蓄電池表示灯が上記の状態にならない場合は、非常業務電源ユニットの [モード] スイッチや蓄電池の電圧を確認してください。

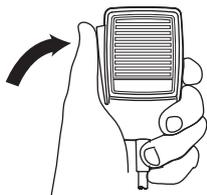
6 緊急優先一斉の放送動作を確認する

[緊急優先一斉] スイッチを押し、緊急放送が可能なことを確認します。



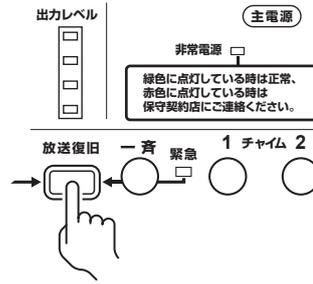
7 マイクスイッチを押し、放送動作を確認する

非常業務兼用マイクのマイクスイッチを押し、業務放送が可能なことを確認します。



8 [放送復旧] スイッチを押す

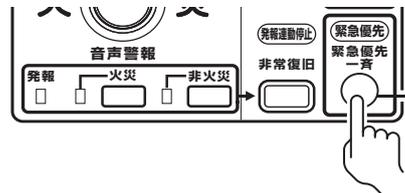
[放送復旧] スイッチを押し、緊急放送を停止します。



9 [停電起動] スイッチを「切」にする

10 緊急優先一斉の放送動作を確認する

[緊急優先一斉] スイッチを押し、電源が入ることを確認します。



11 通電時に戻す

非常業務放送設備用の専用電源ブレーカーを入れます。

- 本体の表示を確認する
[主電源] 表示灯が点灯していること。
[連動] / [連動一斉] / [発報連動停止] 表示灯のいずれかが1つ以上点灯していること。
- 非常業務電源ユニットの表示を確認する
蓄電池表示灯が点灯していること。

動作点検モードによる確認

動作点検モードの機能と設定方法

メニュー画面中の「動作点検モード」にシステムの動作確認を支援する機能が用意されています。本機能を使用し、動作確認・システム動作点検などの防火対象物を通常運用状態で実行することができます。

なお、システム設置工事、保守メンテナンス、アフターサービス以外では本機能を使用しないでください。

■ RB 制御

非常制御信号 (RB) の制御のあり／なしを選択します。「なし」に設定すると、非常放送の操作練習、火災避難訓練、自動火災報知設備と非常業務放送設備の連動動作点検などを行う際、非常制御信号を常時出力のままにするので、通常業務中の音響機器 (カラオケ、テナント独立 BGM など) を遮断しません。

- ・ あり：非常制御出力信号 (RB) を制御します。(非常放送時出力断)
- ・ なし (初期値)：非常制御出力信号を制御しません。(常時出力)

■ 手動起動動作

非常放送の手動起動動作時のスピーカー回線動作方法を選択します。

- ・ 階別 (初期値)：押された放送階選択スイッチのスピーカー回線のみを動作させます。
- ・ 連動：押された放送階選択スイッチとその連動階のスピーカー回線を動作させます。

■ 一斉火災移行

一斉火災放送に移行するかどうかを設定します。

- ・ あり：一斉移行時間が経過すると一斉火災放送に移行します。
- ・ なし (初期値)：移行しません。

■ 状態出力

状態出力および非常時リレーの出力の選択をします。

- ・ あり：出力します。
- ・ なし (初期値)：出力しません。

■ SP 回線制御

スピーカー回線制御リレーの動作を選択します。動作を停止してスピーカー回線の音声を止めたり、緊急リレーを常時 ON してアッテネーターをカットすることができます。「なし」を選択すると、スピーカーから非常放送音を出力することなく、自動火災報知設備と非常業務放送設備の点検・動作確認作業を行うことができます。

- ・ あり：通常動作
- ・ なし (初期値)：停止
- ・ SPR：緊急リレー常時 ON

■ 点検音

点検時に流す音と音量の設定をします。

- ・ なし (初期値)：無音
- ・ 1 大：小川のせせらぎ (音量大)
- ・ 1 中：小川のせせらぎ (音量中)
- ・ 1 小：小川のせせらぎ (音量小)
- ・ 2 大：子犬の鳴き声 (音量大)
- ・ 2 中：子犬の鳴き声 (音量中)
- ・ 2 小：子犬の鳴き声 (音量小)
- ・ 3 大：やさしい電子音 (音量大)
- ・ 3 中：やさしい電子音 (音量中)
- ・ 3 小：やさしい電子音 (音量小)
- ・ 4 大：BGM (音量大)
- ・ 4 中：BGM (音量中)
- ・ 4 小：BGM (音量小)
- ・ ミキサー：本体のミキサー入力ゲートからの音源入力

■ RM モニター出力

非常リモコンモニタースピーカーの設定をします。

- ・ あり：通常出力
- ・ なし (初期値)：出力停止

メモ：

- RM モニター出力を「なし」に設定した場合、RM モニター出力「なし」が優先されるため、非常リモコン (EM-C154) のモニター選択スイッチを操作してもモニター出力しません。RM モニター出力を「あり」に設定したときはモニター選択スイッチの操作が有効になります。

■ 本体放送出力

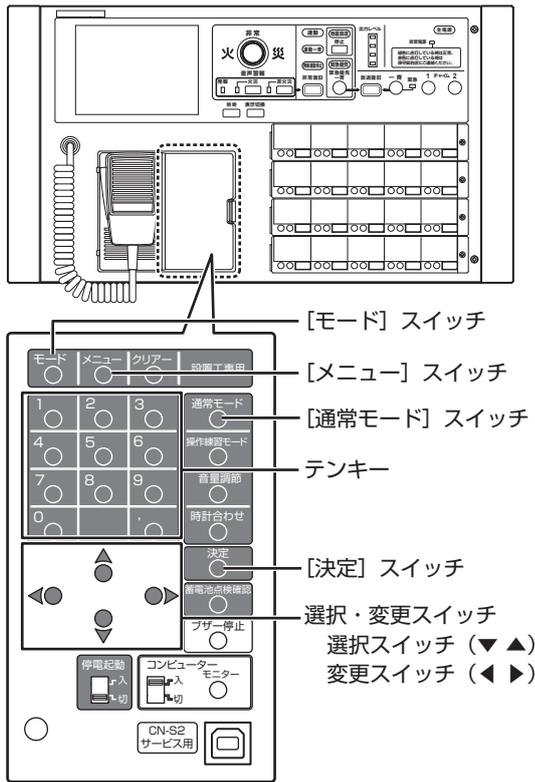
本体 (EM-E156) のパワーアンプ出力 (CN-A8) の設定をします。

- ・ あり：通常出力
- ・ なし (初期値)：出力停止

動作点検モードによる確認 (つづき)

動作点検画面の表示と動作点検機能の設定方法

非常業務操作器 (EM-E156)

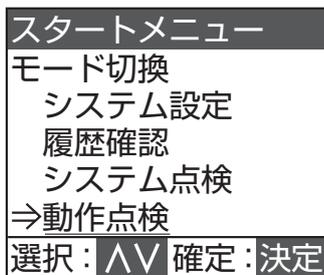


1 「スタートメニュー」画面を表示させる

[モード] スイッチを 3 秒以上押し、「スタートメニュー」画面を表示させます。

2 「動作点検設定」画面を表示させる

「スタートメニュー」画面の「動作点検」に選択スイッチを押しカーソルを合わせ、[決定] スイッチを押します。



「動作点検設定」画面が表示されます。

3 機能を選択する

「動作点検設定」画面で選択スイッチを押して、設定する機能項目にカーソルを合わせます。次に変更スイッチを押して、設定内容を表示させます。

動作点検設定	
RB制御	あり
手動起動動作	連動
一斉火災移行	なし
状態出力	あり
選択：▲▼	変更：◀▶
終了：通常	開始：決定

機能項目	設定内容 (選択肢)
RB 制御	<ul style="list-style-type: none"> あり (制御する) なし (制御しない)
手動起動動作	<ul style="list-style-type: none"> 階別 (指定階のみ動作) 連動 (指定階と連動階が動作)
一斉火災移行	<ul style="list-style-type: none"> あり (非常一斉移行時間に従う) なし (移行しない)
状態出力	<ul style="list-style-type: none"> あり (出力する) なし (出力しない)
SP 回線	<ul style="list-style-type: none"> あり (通常制御動作) なし (停止) SPR (緊急リレー常時 ON)
点検音	<ul style="list-style-type: none"> なし：無音 1 大：小川のせせらぎ (音量大) 1 中：小川のせせらぎ (音量中) 1 小：小川のせせらぎ (音量小) 2 大：子犬の鳴き声 (音量大) 2 中：子犬の鳴き声 (音量中) 2 小：子犬の鳴き声 (音量小) 3 大：やさしい電子音 (音量大) 3 中：やさしい電子音 (音量中) 3 小：やさしい電子音 (音量小) 4 大：BGM (音量大) 4 中：BGM (音量中) 4 小：BGM (音量小) ミキサー：本体のミキサー入力ゲートからの音源入力
RM モニター出力	<ul style="list-style-type: none"> あり (通常出力) なし (出力停止)
本体放送出力	<ul style="list-style-type: none"> あり (通常出力) なし (出力停止)

4 動作点検を開始する

設定した内容で動作点検を開始するときは、[決定] スイッチを押します。

動作点検を終了して通常状態へ復帰するときは、[通常モード] スイッチを押して、「スタートメニュー」画面で [モード] スイッチを押してください。

ご注意：

- 動作点検を終了して、通常状態に戻るときは必ず「動作点検設定」画面で [通常モード] スイッチを押して終了させてください。
- 通常状態に戻っていないと、火災発生時のシステム動作が正しく行われないことがありますのでご注意ください。

履歴情報の確認のしかた

本システムは以下の履歴情報を蓄積しています。この履歴を確認することでシステム異常の発生原因や外部からの異常動作入力など、システム改善、システムメンテナンス、アフターサービスなどに効果的で多くの情報を時系列で得ることができます。

- 動作履歴：操作・起動・動作の履歴データを、現在から最大過去1万件を保存
- 異常履歴：異常動作の履歴データを、現在から最大過去100件を保存

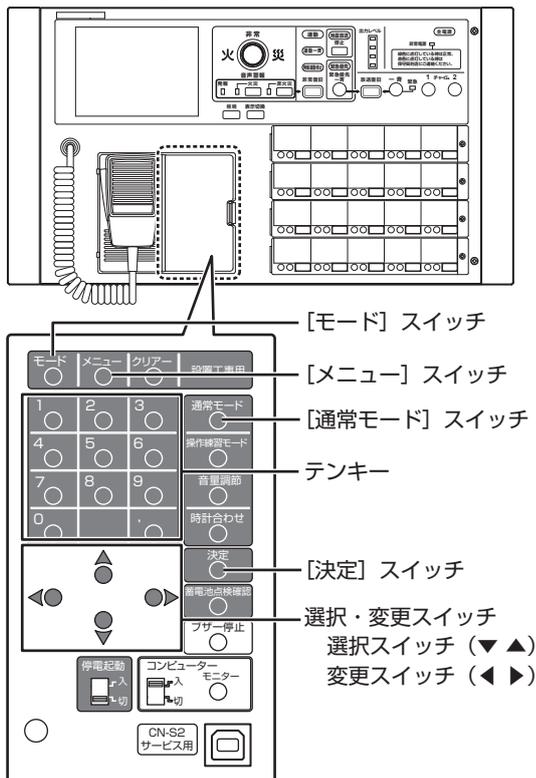
ご注意：

- 停電時に、[停電起動]スイッチを「入」にしてから短時間で「切」にすると、異常履歴に通信エラーが残ることがあります。
- 履歴データは揮発性メモリーに保存しており、メンテナンス時刻、異常発生時、停電検出時に不揮発性メモリーに保存します。また揮発性メモリーの容量がなくなった場合（約2000回の放送操作）にも不揮発性メモリーに保存します。通常時にコンピュータースイッチを「切」にすると、前回のメンテナンス時間以降の履歴データは、直近の約200回のみ保存された状態となります。

メモ：

- 設置支援アプリケーションソフト EM-ZS1500 を使用すると、さらにわかりやすく PC で履歴情報を確認することができます。（通常モード（業務放送操作中）でも確認できます。）

非常業務操作器 (EM-E156)

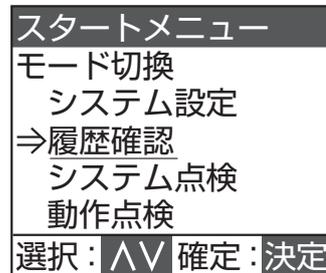


1 「スタートメニュー」画面を表示させる

[モード] スイッチを3秒以上押し、「スタートメニュー」画面を表示させます。

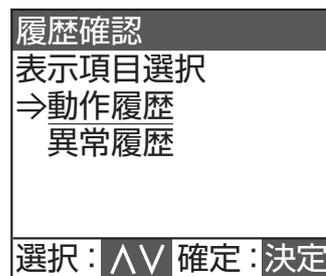
2 「履歴確認」画面を表示させる

「スタートメニュー」画面で選択スイッチを押して「履歴確認」を選択し、[決定] スイッチを押してください。



3 動作履歴または異常履歴を選択する

「履歴確認」画面で選択スイッチを押して「動作履歴」または「異常履歴」を選択し、[決定] スイッチを押してください。



履歴情報はコード番号で表示されていますので、内容の確認は履歴コードを参照してください。（※102ページ）選択スイッチを押して選択した履歴の番号（何件目か）が1行目に、日時情報が2行目に表示されます。

動作履歴画面

動作履歴	1 2 3 1
	1 3 0 4 0 8 0 9 1 2
	E 0 0 0 1 0 1 0 0 1
	Y 0 0 5 0 1 0 0 0 1
	J 0 0 0 0 1 0 0 0 0
	E 0 0 0 0 0 0 0 0 0
移動：▲▼	終了：通常

異常履歴画面

異常履歴	2 0
	1 3 0 4 0 8 0 9 1 2
	t 0 0 0 3 0 0 0 0 0
	n 0 0 0 0 1 0 0 0 0
	a 0 0 0 0 1 0 0 0 0
	n 0 0 0 0 1 0 0 0 0
移動：▲▼	終了：通常

4 履歴確認を終了する

[通常モード] スイッチを2回押してスタートメニューから [モード] スイッチを押し、通常状態へ戻します。

履歴情報コード表

動作履歴および異常履歴はこの履歴コード表を参照してください。履歴および日時情報の配置は下記のとおりです。

メモ：

- システムの電源を切るタイミングによってはコード表にない履歴が表示されることがあります。

	年	月	日	時	分
日時情報	1504080912				
履歴	E000200001				
動作履歴	場所コード	動作コード1		動作コード2	
異常履歴	場所コード	異常コード1		異常コード2	

本体関連の動作履歴

場所	動作名	場所コード	動作コード1	動作コード2	備考	区分		
本体操作部	[非常復旧] スイッチ	オン	E0	0351	0001		EM-E156 フロントパネル	
	火災放送スイッチ	オン	E0	0352	0001			
	非火災放送スイッチ	オン	E0	0353	0001			
	[緊急優先一斉] スイッチ	オン	E0	0354	0001			
	[一斉] スイッチ	オン	E0	0355	0001			
	[放送復旧] スイッチ	オン	E0	0356	0001			
	マイクスイッチ	オン	E0	0357	0001			
		オフ	E0	0357	0000			
	緊急地震放送停止スイッチ	オン	E0	0360	0000			
	出力スイッチ No.001 ~ 320	オン	E0	0001 ~ 0320	0001	動作コード1の下3桁が出力スイッチ No. です		
		オフ	E0	0001 ~ 0320	0000			
	操作練習モードスイッチ	オン	E0	0401	0001			EM-E156 ポケットカバー内
	親時計	オン	E0	0402	0001	EM-Y152 起動入力またはEM-E156 親時計端子がオンされたときに履歴を残します		
	蓄電池点検	出力	E0	0603	0001			
メイン CPU	プログラム開始	E0	0901	0000		EM-E156 CPU		
停電	検出	E0	0902	0000		EM-E156 メモリー管理		
設定データ	更新	E0	0903	0000				
動作履歴	バックアップ	E0	0904	0000	バックアップメモリーから最新データをコピーしたとき			
本体制御部	ELNo.001 ~ 320	オン	YO	0001 ~ 0320	0001	動作コード1の下3桁がNo. です	EM-Y152 入力	
		オフ	YO	0001 ~ 0320	0000			
	EF	オン	YO	0351	0001			
		オフ	YO	0351	0000			
	非常起動	オン	YO	0352	0001			
	緊急優先一斉起動	オン	YO	0358	0001			
	緊急地震放送起動入力1	オン	YO	0360	0001			
	緊急地震放送起動入力2	オン	YO	0361	0001			
	起動入力 No.1 ~ 45	オン	YO	0501 ~ 0545	0001	動作コード1の下2桁がNo. です		
		オフ	YO	0501 ~ 0545	0000			
	電源 ON	オン	YO	0546	0001			業務リモコン
		オフ	YO	0546	0000			
	一斉	オン	YO	0547	0001			
		オフ	YO	0547	0000			

非常リモコン関連の動作履歴

場所	動作名		場所 コード	動作 コード1	動作 コード2	備考	区分
非常リモコン No.1～8	[非常復旧] スイッチ	オン	C1～C8	0351	0001		EM-C156/C154 フロントパネル
	火災放送スイッチ	オン	C1～C8	0352	0001		
	非火災放送スイッチ	オン	C1～C8	0353	0001		
	[緊急優先一斉] スイッチ	オン	C1～C8	0354	0001		
	[一斉] スイッチ	オン	C1～C8	0355	0001		
	[放送復旧] スイッチ	オン	C1～C8	0356	0001		
	マイクスイッチ	オン	C1～C8	0357	0001		
		オフ	C1～C8	0357	0000		
	緊急地震放送停止スイッチ	オン	C1～C8	0360	0000		
	出力スイッチ No.001～320	オン	C1～C8	0001～ 0320	0001	動作コード1の下3桁が 出力スイッチ No. です	
		オフ	C1～C8	0001～ 0320	0000		
操作練習モードスイッチ	オン	C1～C8	0401	0001		EM-C156 ポケットカバー内	
プログラム	開始	C1～C8	0901	0000		EM-C156/C154 CPU	

マルチ業務リモコン関連の動作履歴

場所	動作名		場所 コード	動作 コード1	動作 コード2	備考	区分
マルチ業務リモコン No.1～8	ブロックスイッチ No.1～20	オン	M1～M8	0821～ 0840	0001	動作コード1の下2桁21～40 がNo.1～20です。 [一斉] スイッチを押すと、すべての ブロックスイッチがオンになります。	
		オフ	M1～M8	0821～ 0840	0000		
	メモリースイッチ No.1	オン	M1～M8	0851	0001		
		オフ	M1～M8	0851	0000		
	メモリースイッチ No.2	オン	M1～M8	0852	0001		
		オフ	M1～M8	0852	0000		
	メモリー No.1	登録	M1～M8	0853	0001		
		確認	M1～M8	0854	0001		
	メモリー No.2	登録	M1～M8	0855	0001		
		確認	M1～M8	0856	0001		
	[回線選択] スイッチ	オン	M1～M8	0857	0001		
		オフ	M1～M8	0857	0000		
	[放送/復旧] スイッチ	オン	M1～M8	0861	0001		
		オフ	M1～M8	0861	0000		
	制御スイッチ No.1	オン	M1～M8	0871	0001		
		オフ	M1～M8	0871	0000		
	制御スイッチ No.2	オン	M1～M8	0872	0001		
		オフ	M1～M8	0872	0000		
	プログラム	開始	M1～M8	0901	0000		

履歴情報コード表 (つづき)

拡張ユニット関連の動作履歴

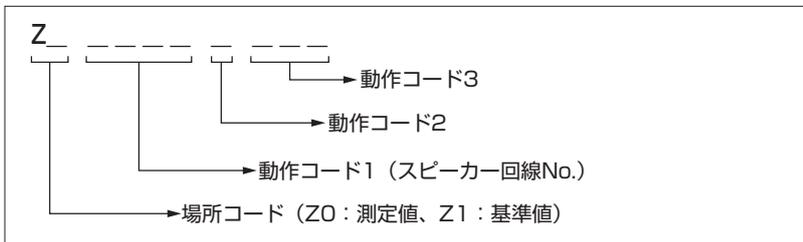
場所	動作名		場所 コード	動作 コード1	動作 コード2	備考	区分
拡張ユニット	設定データ	更新	P2	0501	0000		システム設定
	設定データ	要求	P2	0502	0000		
	履歴データ	要求	P2	0503	0000		履歴確認

状態履歴

状態	動作名		場所 コード	動作 コード1	動作 コード2	備考	区分
状態	アイドルング	開始	JO	0000	0000		
	業務放送	開始	JO	0001	0000		
	非常放送	開始	JO	0002	0000		
	発報放送	開始	JO	0003	0000		
	火災放送	開始	JO	0004	0000		
	一斉火災放送	開始	JO	0005	0000		
	非火災放送	開始	JO	0006	0000		
	通常モード	開始	JO	0007	0000		
	システム設定モード	開始	JO	0008	0000		
	履歴確認モード	開始	JO	0009	0000		
	システム点検モード	開始	JO	0010	0000		
	操作練習モード	開始	JO	0011	0000		
	動作点検モード	開始	JO	0012	0000		
	緊急地震放送	開始	JO	0013	0000		

インピーダンス測定 of 動作履歴

- インピーダンス測定に関する動作コード形式



場所	動作名	場所 コード	動作 コード1	動作 コード2	動作 コード3	備考	区分
インピーダンス 測定	基準値 10 W 以上	Z1	0001 ~ 0320	0	測定値	基準値に登録した測定値	
	未登録	Z1	0001 ~ 0320	0	500	基準値に未登録の回線	
	基準値 10 W 未満	Z1	0001 ~ 0320	1	測定値		
	測定値 10 W 以上	Z0	0001 ~ 0320	0	測定値		
	測定値 10 W 未満	Z0	0001 ~ 0320	1	測定値		
	アンプ定格出力要確認	Z0	0001 ~ 0320	2	測定値	「要確認回線が検出された場合」(☞ 83 ページ) をご確認ください。	
	回線出力要確認	Z0	0001 ~ 0320	3	測定値		
	基準値差異要確認 (測定値 10 W 未満)	Z0	0001 ~ 0320	4	測定値		
	基準値差異要確認 (測定値 10 W 以上)	Z0	0001 ~ 0320	5	測定値		
	設定不整合	Z0	0001 ~ 0320	0	501	「異常が検出された場合」 (☞ 83 ページ) をご確認ください。	
	通信異常	Z0	0001 ~ 0320	0	502		
	測定異常	Z0	0001 ~ 0320	0	503	測定中に異常が発生 詳しくは「異常履歴」 (☞ 105 ページ) をご確認ください。	

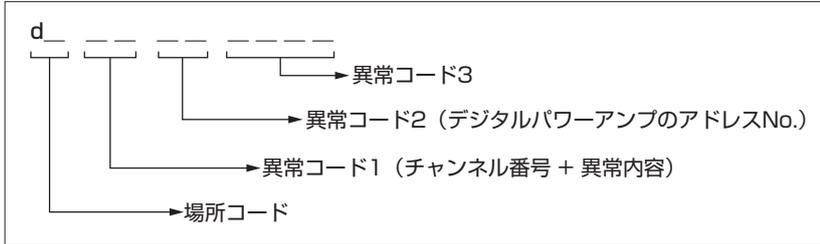
異常履歴

異常	動作名	場所 コード	異常 コード1	異常 コード2	備考	区分
本体	マイク異常	e0	0005	0000		EM-E156 で検出
非常業務電源 ユニット	非常蓄電池電圧異常	n0	0001	0000		
	業務蓄電池電圧異常	n0	0002	0000		
	電源ユニット異常	n0	0003	0000		
主入力制御	通信異常	y0	0001	0000		EM-Y152 で検出
回線制御	RB 異常	l0	0001 ~ 0016	0000	通常時のみ検出可能	
非常 RM No. XX	通信異常	c1 ~ c8	0001	0000		EM-E156 で検出
非常 RM No. XX	モード切換スイッチ異常	c1 ~ c8	0002	0000		EM-C156/C154 で検出
非常 RM No. XX	マイク異常	c1 ~ c8	0005	0000		EM-E156 で検出
マルチ業務リモコン No. 1 ~ 8	通信異常	m1 ~ m8	0001	0000		EM-E156 で検出
Dマトリックス No. XX	通信異常	x1 ~ x2	0001	0000		
音声合成	通信異常	v0	0001	0000		
音声合成	データ異常	v0	0002	0000		
スピーカー回線 No. XX	短絡異常	t0	0001 ~ 0320	0000		EM-Y152 で検出
デジタルパワーアン プ	デジタルパワーアン プ異常	d0 ~ d4	「デジタルパワーアン プ関連の異常履歴」 (※ 106 ページ) をご覧ください。			EM-E156 で検出
インピーダンス測定	インピーダンス測定異常	z0 ~ z4	「インピーダンス測定中の異常履歴」 (※ 107 ページ) をご覧ください。			デジタルパワーアン プで検 出
パワーアン プ	パワーアン プ異常	a0	0001	0000		EM-E156 で検出

履歴情報コード表 (つづき)

デジタルパワーアンプ関連の異常履歴

- デジタルパワーアンプに関する異常コード形式



- 異常表示例

d3 3A 01 0000

デジタルパワーアンプ 1、チャンネル番号 3、「IC 温度警告」が発生したとき、EM-E156 で登録される異常履歴コード

場所	動作名	場所コード	異常コード1 (※1)	異常 コード2	異常 コード3	備考	区分
デジタルパワーアンプ No.1 ~ No.40	通信異常	d0	00	01 ~ 40	0000		EM-E156 で検出
	出力短絡	d1 ~ d4	*1	01 ~ 40	0000		デジタルパワーアンプで検出
	レベル差	d1 ~ d4	*2	01 ~ 40	0000		
	高周波入力	d1 ~ d4	*3	01 ~ 40	0000		
	過大入力	d1 ~ d4	*4	01 ~ 40	0000		
	電源1異常	d0	05	01 ~ 40	0000		
	電源2異常	d0	06	01 ~ 40	0000		
	IC電源異常	d0	07	01 ~ 40	0000		
	システム異常	d0	08	01 ~ 40	0000		
	IC温度警告	d1 ~ d4	*A	01 ~ 40	0000		
	IC温度注意	d1 ~ d4	*B	01 ~ 40	0000		
	ファン停止	d0	0D	01 ~ 40	0000		
	アンプ停止入力	d0	0E	01 ~ 40	0000	インピーダンス測定中のみ登録される異常です	

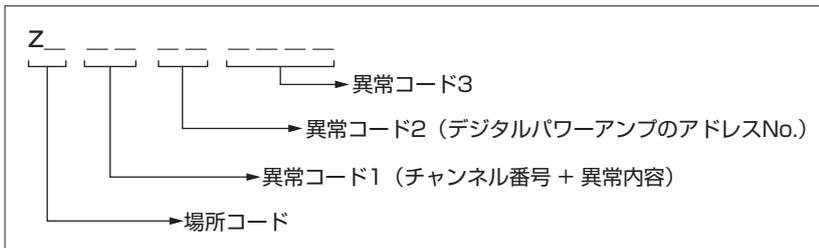
※1：異常コード1

「*」は異常が発生したデジタルパワーアンプのチャンネル番号を表します。

- * = 0：デジタルパワーアンプ全体の異常（チャンネルに依存しない）
- * = 1：デジタルパワーアンプ [Ch1]
- * = 2：デジタルパワーアンプ [Ch2]
- * = 3：デジタルパワーアンプ [Ch3]
- * = 4：デジタルパワーアンプ [Ch4]

インピーダンス測定中の異常履歴

- ・ インピーダンス測定に関する異常コード形式



場所	動作名	場所コード	異常コード1 (※1)	異常コード 2	異常コード 3	備考	区分
デジタルパワーアンプ No.1 ~ No.40	全 ch 入力信号小	z0	02	01 ~ 40	0000		デジタルパワーアンプ で検出
	全 ch 入力信号大	z0	03	01 ~ 40	0000		
	特定 ch 入力信号 大	z1 ~ z4	*3	01 ~ 40	0000		
	アンプ定格出力 オーバー	z1 ~ z4	*5	01 ~ 40	0000		
	アンプ内システ ム異常	z1 ~ z4	*E	01 ~ 40	0000		

※1：異常コード1

「*」は異常が発生したデジタルパワーアンプのチャンネル番号を表します。

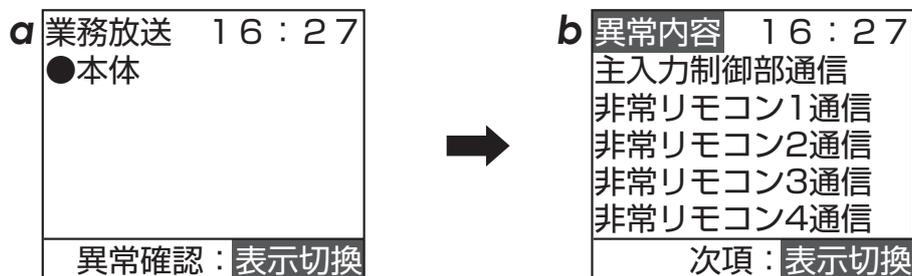
- * = 0：デジタルパワーアンプ全体の異常（チャンネルに依存しない）
- * = 1：デジタルパワーアンプ [Ch1]
- * = 2：デジタルパワーアンプ [Ch2]
- * = 3：デジタルパワーアンプ [Ch3]
- * = 4：デジタルパワーアンプ [Ch4]

これらの異常が発生した場合は、以下の対応をしてください。

動作名	操作制限と対応
全 ch 入力信号小	インピーダンス測定時のパワーアンプへの入力信号がありません。パワーアンプの入力接続をご確認ください。
全 ch 入力信号大	インピーダンス測定時のパワーアンプへの入力信号レベルが過大です。パワーアンプの入力接続をご確認ください。デジタルマトリックスユニット（PA-MX92）をご利用の場合は内部の設定をご確認ください。
特定 ch 入力信号大	インピーダンス測定時のパワーアンプへの入力信号レベルが過大です。パワーアンプの入力接続をご確認ください。デジタルマトリックスユニットをご利用の場合は内部の設定をご確認ください。
アンプ定格出力オーバー	パワーアンプの定格出力を超えた負荷がスピーカー回線に接続されている可能性があります。該当するスピーカー回線の接続をご確認ください。パワーアンプを並列接続でご利用の場合は並列接続が正しいかご確認ください。
アンプ内システム異常	インピーダンス測定中に異常が発生しました。スピーカー回線の接続を確認し、再度測定してください。

本体のエラー表示と動作状態について

本システムでは異常が発生すると、本体と非常リモコン (EM-C156) の液晶表示部にエラー表示が発生する場合があります。異常発生時には図 **a** の表示になります。[表示切換] スイッチを押すことにより図 **b** の表示になりますので内容を確認してください。複数画面になる場合は [表示切換] スイッチで切り換えます。



非常リモコン (EM-C154) の場合は、異常表示灯のいずれかが点灯します。詳しい異常内容は本体もしくは非常リモコン (EM-C156) の液晶表示部を確認してください。

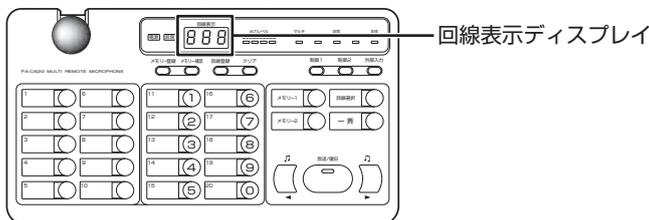
液晶表示	動作状態	操作制限と対応
本体マイク	本体の非常業務兼用マイクの異常 (断線)	非常業務兼用マイクを使った放送ができません。機器の接続を確認してください。
非常蓄電池電圧	非常放送用蓄電池電圧が低下	停電時の非常放送ができません。電源を切って蓄電池接続を確認、非常業務電源ユニットのヒューズを確認し、蓄電池の交換を行なってください。
業務蓄電池電圧	業務放送用蓄電池電圧が低下	停電時の業務放送ができません。電源を切って蓄電池接続を確認、非常業務電源ユニットのヒューズを確認し、蓄電池の交換を行なってください。
電源	非常業務電源ユニットの過電流または電圧低下	システムが正常に動作できません。異常ランプが早点滅 (0.25 秒周期) している非常業務電源ユニットを確認し、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
主入力制御部通信	主入力制御ユニットとの通信異常	システムが正常に動作できません。電源を切り、機器の接続を確認してください。
RB 出力	RB 出力の過電流	RB 出力に接続している機器が正常に動作できません。接続している機器の電流容量を確認してください。(RB 出力の電流容量: 最大 300 m A/ 回線制御ユニット 1 台あたり)
非常リモコン 1 通信 ~非常リモコン 8 通信	非常リモコンとの通信異常	異常が発生している非常リモコンの操作ができません。電源を切って機器の接続、非常リモコンのアドレス設定スイッチの確認を行なってください。
非常リモコン 1 モード ~非常リモコン 8 モード	非常リモコンの互換モード切換スイッチ、互換機種スイッチ設定異常	非常リモコンの互換モード切換スイッチ、互換機種スイッチが正しく設定されていません。電源を切って非常リモコンの互換モード切換スイッチを「OFF」側、互換機種スイッチを「1000」側にして、電源を入れてください。
非常リモコンマイク	非常リモコンの非常業務兼用マイクの異常 (断線)	非常業務兼用マイクを使った放送ができません。機器の接続を確認してください。
マルチ業務 RM1 通信 ~マルチ業務 RM8 通信	マルチ業務リモコンとの通信異常	異常が発生しているマルチ業務リモコンの操作ができません。機器の接続、マルチ業務リモコンのアドレス設定スイッチの確認後、コンピュータースイッチを「切」→「入」してください。(「切」は 3 秒以上)
Dマトリックス 1 通信 Dマトリックス 2 通信		システムが正常に動作できません。電源を切り、機器の接続、デジタルマトリックスユニットのアドレス設定スイッチを確認してください。
音声合成部通信	内部の音声合成部の通信異常	非常放送などの音声メッセージが出力されません。機器の故障となりますので最寄りのサービス窓口にご相談ください。
音声合成データ	内部の音声合成データの異常	非常放送などの音声メッセージが出力されません。電源を切り、音声合成データカードが挿入されていることを確認してください。機器の故障となりますので最寄りのサービス窓口にご相談ください。
短絡回線 No.	スピーカー回線の短絡	短絡したスピーカー回線に放送できません。スピーカー回線 No. が表示されますのでケーブル接続などを確認後、コンピュータースイッチを「切」→「入」してください。(「切」は 3 秒以上)
Dアンプ (コード)	デジタルパワーアンプの異常	デジタルパワーアンプからエラーが検出されました。システムの設定を確認してください。電源を切り、機器の接続を確認してください。デジタルパワーアンプのエラー内容を確認して、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
パワーアンプ	パワーアンプの異常	異常が検出されたパワーアンプのスピーカー回線の放送ができません。システムの設定を確認してください。電源を切り、機器の接続を確認してください。接続されている各スピーカー回線負荷の総和などを確認後、コンピュータースイッチを「切」→「入」してください。(「切」は 3 秒以上)

※ 接続の確認などを行っても異常が発生する場合は最寄りのサービス窓口にご相談ください。

マルチ業務リモコンのエラー表示と動作状態について

マルチ業務リモコンの回線表示ディスプレイには、接続機器間の通信不良や設定の間違いなどによりエラー表示が発生する場合があります。

マルチリモートマイクロホン (PA-C620)

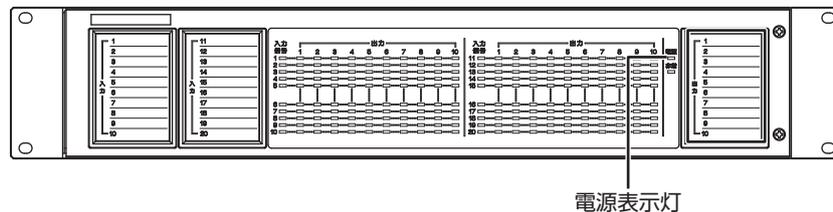


ディスプレイ表示	本機、または本体 放送設備の動作状態	操作制限と対応
“Er0” が点滅	電源投入直後の本機内部のRAM チェックでのエラー	機器の故障となりますので、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
“Er1” が点滅	本機と本体放送設備との通信エラー	◆本機のスイッチ操作が無効になります。 ◆マイク放送中や、外部機器の放送中は、放送が中断されます。 ▼ 本体放送設備との接続を確認し、本体放送設備をリセットしてください。
	アドレス設定スイッチでアドレスを重複して設定した場合の設定エラー	◆本機のスイッチ操作が無効になります。 ▼ アドレス設定スイッチを正しく設定したあとに本体放送設備をリセットしてください。
“Er2” が点滅	本機と PC を接続してシステムアップを行なっている場合に PC から設定外の速い間隔でデータが本機に送信された場合のエラー	PC 接続のシステムアップについては、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
“Er3” が点滅	本機と PC を接続してシステムアップを行なっている場合に PC との通信が切断したり、PC がシャットダウンしたりした場合の通信エラー	PC 接続のシステムアップについては、最寄りのサービス窓口にご相談ください。
“Er4” が点滅	本機のアドレス設定スイッチを「0」または「9」に合わせて電源を入れた場合の設定エラー	◆本機のスイッチ操作が無効になります。 ▼ アドレス設定スイッチを正しく設定したあとに本体放送設備をリセットしてください。

デジタルマトリックスユニットのエラー表示と動作状態について

デジタルマトリックスユニットに異常が発生すると電源表示灯が点滅し続けます。

デジタルマトリックスユニット (PA-MX92)



液晶表示	動作状態	操作制限と対応
電源表示灯の点滅がつづく	本体との通信異常	入出力音声が発送できません。 電源を切って機器の接続、本体のシステム設定、デジタルマトリックスユニットのアドレス設定スイッチの確認を行なってください。

システム設定時のご注意

放送に関して

■ 操作中のとき

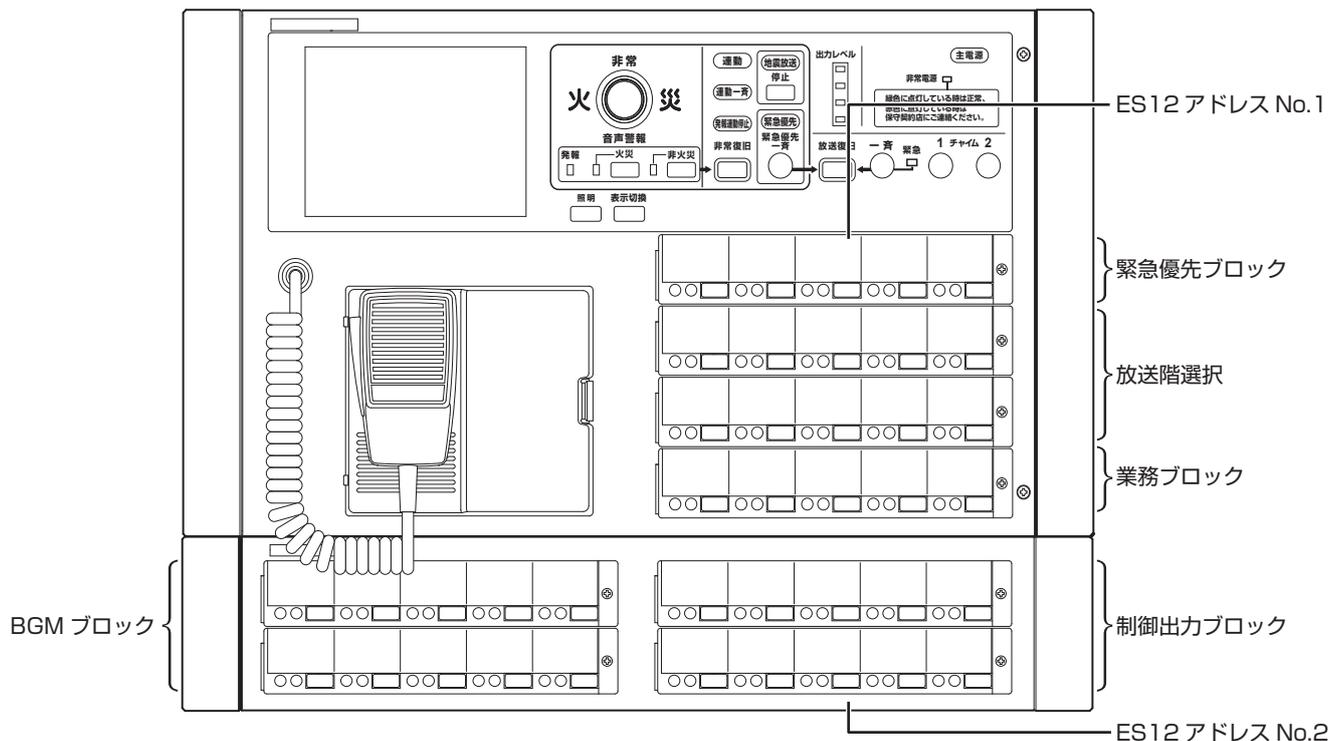
- 放送中や制御出力オン中はシステム設定モードにすることはできません。
- 設定中は、プログラムタイマーなどの外部起動がかからないようにしてください。
- 本体での非常操作および非常リモコン、業務リモコンの操作はしないでください。

スイッチ列の設定に関して

スイッチ列の配置は、出力スイッチ No.1 ~ No.5 のスイッチ列から緊急優先ブロックスイッチ、放送階選択スイッチ、業務ブロックスイッチ、BGM ブロックスイッチ、制御出力ブロックスイッチの順番で決まります。

・例)

- 緊急優先ブロック 1列
- 放送階選択 2列
- 業務ブロック 1列
- BGM ブロック 2列
- 制御出力ブロック 2列



マトリクスコントロールユニットに関して

■ 設定の変更について

回線 No. 設定が終わったあとで、「環境設定」の「マトリクスユニットの設定」を「マトリクスなし」からマトリクスを使用する状態に変更した場合は、BGM ブロックおよび起動入力の回線 No. 設定を再度行い、マトリクス入力 No. を入力してください。(マトリクス入力 No. を入力しないと正常に動作しないことがあります。)

■ マトリクス入力 No. について

BGM ブロック放送および BGM 放送、マルチ業務リモコン放送、業務リモコン放送、電話ページング 1 ~ 3 放送、報時チャイム 1 ~ 3 放送、アナウンスユニット 1 ~ 2 放送、無線放送の放送グループ間で、同じマトリクス入力 No. を設定しないでください。

(音が正しく出なかったり、間違っ出てたりするなどの誤作動が起きることがあります。)

付録シート

環境設定プログラムシート	112
動作設定プログラムシート	114
緊急優先ブロック - 回線 No. 設定	115
放送階選択 - 回線 No. 設定	117
放送階選択 - 同一階連動階設定	119
業務ブロック - 回線 No. 設定	121
BGM ブロック - 回線 No. 設定	123
マルチ業務リモコン - 回線 No. 設定	125
起動入力 - 回線 No. 設定 (単元放送時)	127
起動入力 - 回線 No. 設定 (多元放送時)	129
一斉はずし回線 No. 設定	131
制御出力スイッチ名称設定	133
出火階情報の内容	134
非常業務操作器 (EM-E156) に内蔵されている 業務用放送メッセージ	144

環境設定プログラムシート(1/2)

(コピーしてお使いください)

- 1.個別作動表示 しない
 する
- 2.緊急優先ブロックスイッチ列 列
- 3.放送階選択スイッチ列 列
- 4.業務ブロックスイッチ列 列
- 5.BGMブロックスイッチ列 列
- 6.制御出力ブロックスイッチ列 列
- 7.スピーカー回線数.....
- 8.メンテナンス時刻..... 時 分
- 9.マトリックス入出力..... なし
 20入力10出力 (MX92)
 20入力20出力 (MX92)

10.マトリックス設定

回線No.	出力No.	回線No.	出力No.	回線No.	出力No.	回線No.	出力No.
1-5		81-85		161-165		241-245	
6-10		86-90		166-170		246-250	
11-15		91-95		171-175		251-255	
16-20		96-100		176-180		256-260	
21-25		101-105		181-185		261-265	
26-30		106-110		186-190		266-270	
31-35		111-115		191-195		271-275	
36-40		116-120		196-200		276-280	
41-45		121-125		201-205		281-285	
46-50		126-130		206-210		286-290	
51-55		131-135		211-215		291-295	
56-60		136-140		216-220		296-300	
61-65		141-145		221-225		301-305	
66-70		146-150		226-230		306-310	
71-75		151-155		231-235		311-315	
76-80		156-160		236-240		316-320	

環境設定プログラムシート(2/2)

(コピーしてお使いください)

11. デジタルマトリックス設定

入力	ミキシングレベル				フェーダーパターン					入力	ミキシングレベル				フェーダーパターン				
	大	中	小	なし	0/0	1/1	2/2	3/3	3/1		大	中	小	なし	0/0	1/1	2/2	3/3	3/1
1	<input type="checkbox"/>	11	<input type="checkbox"/>																
2	<input type="checkbox"/>	12	<input type="checkbox"/>																
3	<input type="checkbox"/>	13	<input type="checkbox"/>																
4	<input type="checkbox"/>	14	<input type="checkbox"/>																
5	<input type="checkbox"/>	15	<input type="checkbox"/>																
6	<input type="checkbox"/>	16	<input type="checkbox"/>																
7	<input type="checkbox"/>	17	<input type="checkbox"/>																
8	<input type="checkbox"/>	18	<input type="checkbox"/>																
9	<input type="checkbox"/>	19	<input type="checkbox"/>																
10	<input type="checkbox"/>	20	<input type="checkbox"/>																

12. アンプ回線設定

回線No.	アドレスNo.		
1-5			
6-10			
11-15			
16-20			
21-25			
26-30			
31-35			
36-40			
41-45			
46-50			
51-55			
56-60			
61-65			

回線No.	アドレスNo.		
66-70			
71-75			
76-80			
81-85			
86-90			
91-95			
96-100			
101-105			
106-110			
111-115			
116-120			
121-125			
126-130			

回線No.	アドレスNo.		
131-135			
136-140			
141-145			
146-150			
151-155			
156-160			
161-165			
166-170			
171-175			
176-180			
181-185			
186-190			
191-195			

回線No.	アドレスNo.		
196-200			
201-205			
206-210			
211-215			
216-220			
221-225			
226-230			
231-235			
236-240			
241-245			
246-250			
251-255			
256-260			

回線No.	アドレスNo.		
261-265			
266-270			
271-275			
276-280			
281-285			
286-290			
291-295			
296-300			
301-305			
306-310			
311-315			
316-320			

動作設定プログラムシート (コピーしてお使いください)

■非常放送動作設定

- | | | |
|------------------|--|-------------------------------------|
| 1.自火報起動時の動作..... | <input type="checkbox"/> 連動 | <input type="checkbox"/> 連動一斉 |
| 2.手動起動時の動作..... | <input type="checkbox"/> 階別 | <input type="checkbox"/> 連動 |
| 3.発報連動停止..... | <input type="checkbox"/> 連動 | <input type="checkbox"/> 発報停止 |
| 4.発報火災切換..... | <input type="checkbox"/> 発報 | <input type="checkbox"/> 火災 |
| 5.発報放送形式..... | <input type="checkbox"/> 2回 | <input type="checkbox"/> 連続して繰り返し |
| | <input type="checkbox"/> 15秒間隔で繰り返し | <input type="checkbox"/> 30秒間隔で繰り返し |
| 6.火災放送移行時間..... | <input type="checkbox"/> 分 <input type="checkbox"/> 0秒 | |
| 7.一斉移行時間..... | <input type="checkbox"/> 分 <input type="checkbox"/> 0秒 | <input type="checkbox"/> 設定しない |
| 8.音声警報の言語..... | <input type="checkbox"/> 日本語 | <input type="checkbox"/> 日本語+英語 |
| 9.音声操作ガイド..... | <input type="checkbox"/> あり | <input type="checkbox"/> なし |
| 10.RB制御..... | <input type="checkbox"/> 一斉 | <input type="checkbox"/> ユニット別 |

■業務放送動作設定

- | | | |
|----------------------|------------------------------|---|
| 1.一斉スイッチ..... | <input type="checkbox"/> 緊急 | <input type="checkbox"/> 通常 |
| 2.業務RM一斉..... | <input type="checkbox"/> 緊急 | <input type="checkbox"/> 通常 |
| 3.放送優先順位..... | <input type="checkbox"/> 先 | <input type="checkbox"/> 後 |
| 4.緊急優先入力..... | <input type="checkbox"/> アナ | <input type="checkbox"/> OFF |
| 5.緊急優先RB制御..... | <input type="checkbox"/> なし | <input type="checkbox"/> 一斉 <input type="checkbox"/> 個別 |
| 6.起動モード..... | <input type="checkbox"/> レベル | <input type="checkbox"/> パルス |
| 7.状態出力パターン..... | <input type="checkbox"/> A | <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C |
| 8.外部起動機器名..... | <input type="checkbox"/> あり | <input type="checkbox"/> なし |
| 9.業務放送の優先順位 (2位~24位) | | |
| 本体..... | <input type="checkbox"/> 位 | ページング1..... <input type="checkbox"/> 位 |
| 非常リモコン..... | <input type="checkbox"/> 位 | ページング2..... <input type="checkbox"/> 位 |
| 業務リモコン..... | <input type="checkbox"/> 位 | ページング3..... <input type="checkbox"/> 位 |
| 音声ファイル..... | <input type="checkbox"/> 位 | 報時チャイム1..... <input type="checkbox"/> 位 |
| マルチRM1..... | <input type="checkbox"/> 位 | 報時チャイム2..... <input type="checkbox"/> 位 |
| マルチRM2..... | <input type="checkbox"/> 位 | 報時チャイム3..... <input type="checkbox"/> 位 |
| マルチRM3..... | <input type="checkbox"/> 位 | アナウンスU1..... <input type="checkbox"/> 位 |
| マルチRM4..... | <input type="checkbox"/> 位 | アナウンスU2..... <input type="checkbox"/> 位 |
| マルチRM5..... | <input type="checkbox"/> 位 | 無線..... <input type="checkbox"/> 位 |
| マルチRM6..... | <input type="checkbox"/> 位 | |
| マルチRM7..... | <input type="checkbox"/> 位 | |
| マルチRM8..... | <input type="checkbox"/> 位 | |
| 10.業務チャイム | | |
| チャイム1..... | <input type="checkbox"/> | |
| チャイム2..... | <input type="checkbox"/> | |
| 業務RM..... | <input type="checkbox"/> | |
| 11.BGMミキシング | | |
| BGMミキシング..... | <input type="checkbox"/> なし | <input type="checkbox"/> あり |
| 本体マイク連動..... | <input type="checkbox"/> なし | <input type="checkbox"/> 大 |
| | | <input type="checkbox"/> 小 |

回線No.設定プログラムシート-10

制御出力スイッチ名称設定

制御出力	制御出力 スイッチ	出力 スイッチNo.
	1	
	2	
	3	
	4	
	5	
	6	
	7	
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	
	13	
	14	
	15	
	16	
	17	
	18	
	19	
	20	

プログラムシートを記入する
方へ

プログラムシートの写しを必ずお客様へお渡しください。

お客様へ

プログラムシートは将来システムの変更増設時に必要となりますので、大切に保管しておいてください。

コピーしてお使いください。

出火階情報の内容

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(☞ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。
※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
0	(出火階情報なし)	(階情報なし)
1	1 階	on the 1st floor
2	2 階	on the 2nd floor
3	3 階	on the 3rd floor
4	4 階	on the 4th floor
5	5 階	on the 5th floor
6	6 階	on the 6th floor
7	7 階	on the 7th floor
8	8 階	on the 8th floor
9	9 階	on the 9th floor
10	10 階	on the 10th floor
11	11 階	on the 11th floor
12	12 階	on the 12th floor
13	13 階	on the 13th floor
14	14 階	on the 14th floor
15	15 階	on the 15th floor
16	16 階	on the 16th floor
17	17 階	on the 17th floor
18	18 階	on the 18th floor
19	19 階	on the 19th floor
20	20 階	on the 20th floor
21	21 階	on the 21st floor
22	22 階	on the 22nd floor
23	23 階	on the 23rd floor
24	24 階	on the 24th floor
25	25 階	on the 25th floor
26	26 階	on the 26th floor
27	27 階	on the 27th floor
28	28 階	on the 28th floor
29	29 階	on the 29th floor
30	30 階	on the 30th floor
31	地下階	in the basement
32	地下、1 階	in the 1st basement
33	地下、2 階	in the 2nd basement
34	地下、3 階	in the 3rd basement
35	地下、4 階	in the 4th basement
36	地下、5 階	in the 5th basement
37	階段	in the staircase
38	階段室	in the stair hall
39	駐車場	in the parking
40	屋上駐車場	in the roof top parking
41	地下駐車場	in the basement parking
42	店舗、1 階	on the 1st floor of the shopping mall
43	店舗、2 階	on the 2nd floor of the shopping mall
44	店舗、3 階	on the 3rd floor of the shopping mall
45	店舗、4 階	on the 4th floor of the shopping mall
46	店舗、5 階	on the 5th floor of the shopping mall
47	店舗、6 階	on the 6th floor of the shopping mall
48	校舎、1 階	on the 1st floor of the school building
49	校舎、2 階	on the 2nd floor of the school building

出火階情報の内容（つづき）

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。 落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありません でした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(☞ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。
※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
50	校舎、3階	on the 3rd floor of the school building
51	校舎、4階	on the 4th floor of the school building
52	校舎、5階	on the 5th floor of the school building
53	校舎、階段	in the staircase of the school building
54	体育館	in the gymnasium
55	体育館、1階	on the 1st floor of the gymnasium
56	体育館、2階	on the 2nd floor of the gymnasium
57	体育館、3階	on the 3rd floor of the gymnasium
58	講堂	in the auditorium
59	講堂、1階	on the 1st floor of the auditorium
60	講堂、2階	on the 2nd floor of the auditorium
61	屋内運動場	in the indoor athletic center
62	プール	at the swimming pool
63	給食室	in the school lunch room
64	病棟	in the hospital building
65	病棟、1階	on the 1st floor of the hospital building
66	病棟、2階	on the 2nd floor of the hospital building
67	病棟、3階	on the 3rd floor of the hospital building
68	病棟、4階	on the 4th floor of the hospital building
69	病棟、5階	on the 5th floor of the hospital building
70	病棟、6階	on the 6th floor of the hospital building
71	病棟、屋上	on the roof of the hospital building
72	病棟、塔屋	in the penthouse of the hospital building
73	病棟、地下、1階	in the 1st basement of the hospital building
74	病棟、階段	in the staircase of the hospital building
75	病棟、エレベーター	in the elevator of the hospital building
76	駐車場、1階	on the 1st floor of the parking
77	駐車場、2階	on the 2nd floor of the parking
78	駐車場、3階	on the 3rd floor of the parking
79	駐車場、4階	on the 4th floor of the parking
80	駐車場、5階	on the 5th floor of the parking
81	屋上	on the roof
82	屋上階	on the roof floor
83	塔屋	in the penthouse
84	ロビー	in the lobby
85	地下ピット	in the basement pit
86	エントランスホール	in the entrance hall
87	バックヤード	in the backyard
88	エレベーター	in the elevator
89	エレベーター室	in the elevator hall
90	エレベーターシャフト	in the elevator shaft
91	エレベーター機械室	in the elevator's machine room
92	エスカレーター	at the escalator
93	中央階段	in the central staircase
94	中2階	on the mezzanine
95	ピット階	in the pit floor
96	機械室	in the machine room
97	小荷物専用昇降機	in the small freight elevator
98	武道館	in the martial arts gymnasium
99	食堂	in the cafeteria

出火階情報の内容（つづき）

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(☞ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。

※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
100	(出火階情報なし)	(階情報なし)
101	1階、東	in the east side of the 1st floor
102	2階、東	in the east side of the 2nd floor
103	3階、東	in the east side of the 3rd floor
104	4階、東	in the east side of the 4th floor
105	5階、東	in the east side of the 5th floor
106	6階、東	in the east side of the 6th floor
107	7階、東	in the east side of the 7th floor
108	8階、東	in the east side of the 8th floor
109	9階、東	in the east side of the 9th floor
110	10階、東	in the east side of the 10th floor
111	11階、東	in the east side of the 11th floor
112	12階、東	in the east side of the 12th floor
113	13階、東	in the east side of the 13th floor
114	14階、東	in the east side of the 14th floor
115	15階、東	in the east side of the 15th floor
116	16階、東	in the east side of the 16th floor
117	17階、東	in the east side of the 17th floor
118	18階、東	in the east side of the 18th floor
119	19階、東	in the east side of the 19th floor
120	20階、東	in the east side of the 20th floor
121	21階、東	in the east side of the 21st floor
122	22階、東	in the east side of the 22nd floor
123	31階	on the 31st floor
124	32階	on the 32nd floor
125	33階	on the 33rd floor
126	34階	on the 34th floor
127	35階	on the 35th floor
128	36階	on the 36th floor
129	37階	on the 37th floor
130	38階	on the 38th floor
131	地下階、東	in the east side of the basement
132	地下、1階、東	in the east side of the 1st basement
133	地下、2階、東	in the east side of the 2nd basement
134	地下、3階、東	in the east side of the 3rd basement
135	地下、4階、東	in the east side of the 4th basement
136	地下、5階、東	in the east side of the 5th basement
137	東階段	in the east staircase
138	東階段室	in the east stair hall
139	駐車場、東	in the east side of the parking
140	屋上駐車場、東	in the east side of the roof top parking
141	地下駐車場、東	in the east side of the basement parking
142	店舗、1階、東	in the east side of the 1st floor, in the shopping mall
143	店舗、2階、東	in the east side of the 2nd floor, in the shopping mall
144	店舗、3階、東	in the east side of the 3rd floor, in the shopping mall
145	店舗、4階、東	in the east side of the 4th floor, in the shopping mall
146	店舗、5階、東	in the east side of the 5th floor, in the shopping mall
147	店舗、6階、東	in the east side of the 6th floor, in the shopping mall
148	東校舎、1階	on the 1st floor of the east school building
149	東校舎、2階	on the 2nd floor of the east school building

出火階情報の内容（つづき）

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(※ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。
※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
150	東校舎、3階	on the 3rd floor of the east school building
151	東校舎、4階	on the 4th floor of the east school building
152	東校舎、5階	on the 5th floor of the east school building
153	東校舎、階段	in the staircase of the east school building
154	体育館、東	in the east side of the gymnasium
155	体育館、1階、東	in the east side of the 1st floor, in the gymnasium
156	体育館、2階、東	in the east side of the 2nd floor, in the gymnasium
157	体育館、3階、東	in the east side of the 3rd floor, in the gymnasium
158	講堂、東	in the east side of the auditorium
159	講堂、1階、東	in the east side of the 1st floor, in the auditorium
160	講堂、2階、東	in the east side of the 2nd floor, in the auditorium
161	屋内運動場、東	in the east side of the indoor athletic center
162	プール、東	in the east side of the swimming pool
163	給食室、東	in the east side of the school lunch room
164	東病棟	in the east hospital building
165	東病棟、1階	on the 1st floor of the east hospital building
166	東病棟、2階	on the 2nd floor of the east hospital building
167	東病棟、3階	on the 3rd floor of the east hospital building
168	東病棟、4階	on the 4th floor of the east hospital building
169	東病棟、5階	on the 5th floor of the east hospital building
170	東病棟、6階	on the 6th floor of the east hospital building
171	東病棟、屋上	on the roof of the east hospital building
172	東病棟、塔屋	in the penthouse of the east hospital building
173	東病棟、地下、1階	in the 1st basement of the east hospital building
174	東病棟、階段	in the staircase of the east hospital building
175	東病棟、エレベーター	in the elevator of the east hospital building
176	第1病棟	in the 1st hospital building
177	第1病棟、1階	on the 1st floor of the 1st hospital building
178	第1病棟、2階	on the 2nd floor of the 1st hospital building
179	第1病棟、3階	on the 3rd floor of the 1st hospital building
180	第1病棟、4階	on the 4th floor of the 1st hospital building
181	第1病棟、5階	on the 5th floor of the 1st hospital building
182	第1病棟、6階	on the 6th floor of the 1st hospital building
183	第1病棟、屋上	on the roof of the 1st hospital building
184	第1病棟、塔屋	in the penthouse of the 1st hospital building
185	第1病棟、地下、1階	in the 1st basement of the 1st hospital building
186	第1病棟、階段	in the staircase of the 1st hospital building
187	第1病棟、エレベーター	in the elevator of the 1st hospital building
188	本館	in the main building
189	本館、1階	on the 1st floor of the main building
190	本館、2階	on the 2nd floor of the main building
191	本館、3階	on the 3rd floor of the main building
192	本館、4階	on the 4th floor of the main building
193	本館、5階	on the 5th floor of the main building
194	本館、6階	on the 6th floor of the main building
195	本館、屋上	on the roof of the main building
196	本館、塔屋	in the penthouse of the main building
197	本館、地下、1階	in the 1st basement of the main building
198	本館、階段	in the staircase of the main building
199	本館、エレベーター	in the elevator of the main building

出火階情報の内容（つづき）

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(※ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。

※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
200	(出火階情報なし)	(階情報なし)
201	1階、西	in the west side of the 1st floor
202	2階、西	in the west side of the 2nd floor
203	3階、西	in the west side of the 3rd floor
204	4階、西	in the west side of the 4th floor
205	5階、西	in the west side of the 5th floor
206	6階、西	in the west side of the 6th floor
207	7階、西	in the west side of the 7th floor
208	8階、西	in the west side of the 8th floor
209	9階、西	in the west side of the 9th floor
210	10階、西	in the west side of the 10th floor
211	11階、西	in the west side of the 11th floor
212	12階、西	in the west side of the 12th floor
213	13階、西	in the west side of the 13th floor
214	14階、西	in the west side of the 14th floor
215	15階、西	in the west side of the 15th floor
216	16階、西	in the west side of the 16th floor
217	17階、西	in the west side of the 17th floor
218	18階、西	in the west side of the 18th floor
219	19階、西	in the west side of the 19th floor
220	20階、西	in the west side of the 20th floor
221	21階、西	in the west side of the 21st floor
222	22階、西	in the west side of the 22nd floor
223	39階	on the 39th floor
224	40階	on the 40th floor
225	41階	on the 41st floor
226	42階	on the 42nd floor
227	43階	on the 43rd floor
228	44階	on the 44th floor
229	45階	on the 45th floor
230	46階	on the 46th floor
231	地下階、西	in the west side of the basement
232	地下、1階、西	in the west side of the 1st basement
233	地下、2階、西	in the west side of the 2nd basement
234	地下、3階、西	in the west side of the 3rd basement
235	地下、4階、西	in the west side of the 4th basement
236	地下、5階、西	in the west side of the 5th basement
237	西階段	in the west staircase
238	西階段室	in the west stair hall
239	駐車場西	in the west side of the parking
240	屋上駐車場、西	in the west side of the roof top parking
241	地下駐車場、西	in the west side of the basement parking
242	店舗、1階、西	in the west side of the 1st floor, in the shopping mall
243	店舗、2階、西	in the west side of the 2nd floor, in the shopping mall
244	店舗、3階、西	in the west side of the 3rd floor, in the shopping mall
245	店舗、4階、西	in the west side of the 4th floor, in the shopping mall
246	店舗、5階、西	in the west side of the 5th floor, in the shopping mall
247	店舗、6階、西	in the west side of the 6th floor, in the shopping mall
248	西校舎、1階	on the 1st floor of the west school building
249	西校舎、2階	on the 2nd floor of the west school building

出火階情報の内容（つづき）

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(※ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。

※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
250	西校舎、3階	on the 3rd floor of the west school building
251	西校舎、4階	on the 4th floor of the west school building
252	西校舎、5階	on the 5th floor of the west school building
253	西校舎、階段	in the staircase of the west school building
254	体育館、西	in the west side of the gymnasium
255	体育館、1階、西	in the west side of the 1st floor, in the gymnasium
256	体育館、2階、西	in the west side of the 2nd floor, in the gymnasium
257	体育館、3階、西	in the west side of the 3rd floor, in the gymnasium
258	講堂、西	in the west side of the auditorium
259	講堂、1階、西	in the west side of the 1st floor, in the auditorium
260	講堂、2階、西	in the west side of the 2nd floor, in the auditorium
261	屋内運動場、西	in the west side of the indoor athletic center
262	プール、西	in the west side of the swimming pool
263	給食室、西	in the west side of the school lunch room
264	西病棟	in the west hospital building
265	西病棟、1階	on the 1st floor of the west hospital building
266	西病棟、2階	on the 2nd floor of the west hospital building
267	西病棟、3階	on the 3rd floor of the west hospital building
268	西病棟、4階	on the 4th floor of the west hospital building
269	西病棟、5階	on the 5th floor of the west hospital building
270	西病棟、6階	on the 6th floor of the west hospital building
271	西病棟、屋上	on the roof of the west hospital building
272	西病棟、塔屋	in the penthouse of the west hospital building
273	西病棟、地下、1階	in the 1st basement of the west hospital building
274	西病棟、階段	in the staircase of the west hospital building
275	西病棟、エレベーター	in the elevator of the west hospital building
276	第2病棟	in the 2nd hospital building
277	第2病棟、1階	on the 1st floor of the 2nd hospital building
278	第2病棟、2階	on the 2nd floor of the 2nd hospital building
279	第2病棟、3階	on the 3rd floor of the 2nd hospital building
280	第2病棟、4階	on the 4th floor of the 2nd hospital building
281	第2病棟、5階	on the 5th floor of the 2nd hospital building
282	第2病棟、6階	on the 6th floor of the 2nd hospital building
283	第2病棟、屋上	on the roof of the 2nd hospital building
284	第2病棟、塔屋	in the penthouse of the 2nd hospital building
285	第2病棟、地下、1階	in the 1st basement of the 2nd hospital building
286	第2病棟、階段	in the staircase of the 2nd hospital building
287	第2病棟、エレベーター	in the elevator of the 2nd hospital building
288	新館	in the new building
289	新館、1階	on the 1st floor of the new building
290	新館、2階	on the 2nd floor of the new building
291	新館、3階	on the 3rd floor of the new building
292	新館、4階	on the 4th floor of the new building
293	新館、5階	on the 5th floor of the new building
294	新館、6階	on the 6th floor of the new building
295	新館、屋上	on the roof of the new building
296	新館、塔屋	in the penthouse of the new building
297	新館、地下、1階	in the 1st basement of the new building
298	新館、階段	in the staircase of the new building
299	新館、エレベーター	in the elevator of the new building

出火階情報の内容（つづき）

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(☞ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。

※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
300	(出火階情報なし)	(階情報なし)
301	1階、南	in the south side of the 1st floor
302	2階、南	in the south side of the 2nd floor
303	3階、南	in the south side of the 3rd floor
304	4階、南	in the south side of the 4th floor
305	5階、南	in the south side of the 5th floor
306	6階、南	in the south side of the 6th floor
307	7階、南	in the south side of the 7th floor
308	8階、南	in the south side of the 8th floor
309	9階、南	in the south side of the 9th floor
310	10階、南	in the south side of the 10th floor
311	11階、南	in the south side of the 11th floor
312	12階、南	in the south side of the 12th floor
313	13階、南	in the south side of the 13th floor
314	14階、南	in the south side of the 14th floor
315	15階、南	in the south side of the 15th floor
316	16階、南	in the south side of the 16th floor
317	17階、南	in the south side of the 17th floor
318	18階、南	in the south side of the 18th floor
319	19階、南	in the south side of the 19th floor
320	20階、南	in the south side of the 20th floor
321	21階、南	in the south side of the 21st floor
322	22階、南	in the south side of the 22nd floor
323	47階	on the 47th floor
324	48階	on the 48th floor
325	49階	on the 49th floor
326	50階	on the 50th floor
327	51階	on the 51st floor
328	52階	on the 52nd floor
329	53階	on the 53rd floor
330	54階	on the 54th floor
331	地下階、南	in the south side of the basement
332	地下、1階、南	in the south side of the 1st basement
333	地下、2階、南	in the south side of the 2nd basement
334	地下、3階、南	in the south side of the 3rd basement
335	地下、4階、南	in the south side of the 4th basement
336	地下、5階、南	in the south side of the 5th basement
337	南階段	in the south staircase
338	南階段室	in the south stair hall
339	駐車場南	in the south side of the parking
340	屋上駐車場、南	in the south side of the roof top parking
341	地下駐車場、南	in the south side of the basement parking
342	店舗、1階、南	in the south side of the 1st floor, in the shopping mall
343	店舗、2階、南	in the south side of the 2nd floor, in the shopping mall
344	店舗、3階、南	in the south side of the 3rd floor, in the shopping mall
345	店舗、4階、南	in the south side of the 4th floor, in the shopping mall
346	店舗、5階、南	in the south side of the 5th floor, in the shopping mall
347	店舗、6階、南	in the south side of the 6th floor, in the shopping mall
348	南校舎、1階	on the 1st floor of the south school building
349	南校舎、2階	on the 2nd floor of the south school building

出火階情報の内容（つづき）

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(※ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。

※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
350	南校舎、3階	on the 3rd floor of the south school building
351	南校舎、4階	on the 4th floor of the south school building
352	南校舎、5階	on the 5th floor of the south school building
353	南校舎、階段	in the staircase of the south school building
354	体育館、南	in the south side of the gymnasium
355	体育館、1階、南	in the south side of the 1st floor, in the gymnasium
356	体育館、2階、南	in the south side of the 2nd floor, in the gymnasium
357	体育館、3階、南	in the south side of the 3rd floor, in the gymnasium
358	講堂、南	in the south side of the auditorium
359	講堂、1階、南	in the south side of the 1st floor, in the auditorium
360	講堂、2階、南	in the south side of the 2nd floor, in the auditorium
361	屋内運動場、南	in the south side of the indoor athletic center
362	プール、南	in the south side of the swimming pool
363	給食室、南	in the south side of the school lunch room
364	南病棟	in the south hospital building
365	南病棟、1階	on the 1st floor of the south hospital building
366	南病棟、2階	on the 2nd floor of the south hospital building
367	南病棟、3階	on the 3rd floor of the south hospital building
368	南病棟、4階	on the 4th floor of the south hospital building
369	南病棟、5階	on the 5th floor of the south hospital building
370	南病棟、6階	on the 6th floor of the south hospital building
371	南病棟、屋上	on the roof of the south hospital building
372	南病棟、塔屋	in the penthouse of the south hospital building
373	南病棟、地下、1階	in the 1st basement of the south hospital building
374	南病棟、階段	in the staircase of the south hospital building
375	南病棟、エレベーター	in the elevator of the south hospital building
376	第3病棟	in the 3rd hospital building
377	第3病棟、1階	on the 1st floor of the 3rd hospital building
378	第3病棟、2階	on the 2nd floor of the 3rd hospital building
379	第3病棟、3階	on the 3rd floor of the 3rd hospital building
380	第3病棟、4階	on the 4th floor of the 3rd hospital building
381	第3病棟、5階	on the 5th floor of the 3rd hospital building
382	第3病棟、6階	on the 6th floor of the 3rd hospital building
383	第3病棟、屋上	on the roof of the 3rd hospital building
384	第3病棟、塔屋	in the penthouse of the 3rd hospital building
385	第3病棟、地下、1階	in the 1st basement of the 3rd hospital building
386	第3病棟、階段	in the staircase of the 3rd hospital building
387	第3病棟、エレベーター	in the elevator of the 3rd hospital building
388	管理棟	in the administration building
389	管理棟、1階	on the 1st floor of the administration building
390	管理棟、2階	on the 2nd floor of the administration building
391	管理棟、3階	on the 3rd floor of the administration building
392	管理棟、4階	on the 4th floor of the administration building
393	管理棟、5階	on the 5th floor of the administration building
394	管理棟、6階	on the 6th floor of the administration building
395	管理棟、屋上	on the roof of the administration building
396	管理棟、塔屋	in the penthouse of the administration building
397	管理棟、地下1階	in the 1st basement of the administration building
398	管理棟、階段	in the staircase of the administration building
399	管理棟、エレベーター	in the elevator of the administration building

出火階情報の内容（つづき）

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(※ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。

※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
400	(出火階情報なし)	(階情報なし)
401	1階、北	in the north side of the 1st floor
402	2階、北	in the north side of the 2nd floor
403	3階、北	in the north side of the 3rd floor
404	4階、北	in the north side of the 4th floor
405	5階、北	in the north side of the 5th floor
406	6階、北	in the north side of the 6th floor
407	7階、北	in the north side of the 7th floor
408	8階、北	in the north side of the 8th floor
409	9階、北	in the north side of the 9th floor
410	10階、北	in the north side of the 10th floor
411	11階、北	in the north side of the 11th floor
412	12階、北	in the north side of the 12th floor
413	13階、北	in the north side of the 13th floor
414	14階、北	in the north side of the 14th floor
415	15階、北	in the north side of the 15th floor
416	16階、北	in the north side of the 16th floor
417	17階、北	in the north side of the 17th floor
418	18階、北	in the north side of the 18th floor
419	19階、北	in the north side of the 19th floor
420	20階、北	in the north side of the 20th floor
421	21階、北	in the north side of the 21st floor
422	22階、北	in the north side of the 22nd floor
423	55階	on the 55th floor
424	56階	on the 56th floor
425	57階	on the 57th floor
426	58階	on the 58th floor
427	59階	on the 59th floor
428	60階	on the 60th floor
429	(出火階情報なし)	(階情報なし)
430	(出火階情報なし)	(階情報なし)
431	地下階、北	in the north side of the basement
432	地下、1階、北	in the north side of the 1st basement
433	地下、2階、北	in the north side of the 2nd basement
434	地下、3階、北	in the north side of the 3rd basement
435	地下、4階、北	in the north side of the 4th basement
436	地下、5階、北	in the north side of the 5th basement
437	北階段	in the north staircase
438	北階段室	in the north stair hall
439	駐車場、北	in the north side of the parking
440	屋上駐車場、北	in the north side of the roof top parking
441	地下駐車場、北	in the north side of the basement parking
442	店舗、1階、北	in the north side of the 1st floor in the shopping mall
443	店舗、2階、北	in the north side of the 2nd floor in the shopping mall
444	店舗、3階、北	in the north side of the 3rd floor in the shopping mall
445	店舗、4階、北	in the north side of the 4th floor in the shopping mall
446	店舗、5階、北	in the north side of the 5th floor in the shopping mall
447	店舗、6階、北	in the north side of the 6th floor in the shopping mall
448	北校舎、1階	on the 1st floor of the north school building
449	北校舎、2階	on the 2nd floor of the north school building

出火階情報の内容（つづき）

発報放送 メッセージ	ただいま〇〇〇の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。	Now a fire alarm 〇〇〇 has been activated. We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.
火災放送 メッセージ	火事です。火事です。〇〇〇で火災が発生しました。 落ち着いて避難してください。	There is a fire,there is a fire. A fire has started 〇〇〇. Please evacuate in orderly fashion.
非火災放送 メッセージ	先ほどの火災感知器の作動は確認の結果、異常がありません でした。ご安心ください。	Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm. No trouble was found. Please disregard.

警報メッセージの設定(※ 37ページ)で音声警報言語を「日英」に設定した場合、日本語の放送のあと、英語による放送も流れます。「日本」に設定した場合は日本語の内容のみが放送されます。

※ 〇〇〇には出火階情報が入ります。

No.	出火階情報（放送内容－日本語）	出火階情報（放送内容－英語）
450	北校舎、3階	on the 3rd floor of the north school building
451	北校舎、4階	on the 4th floor of the north school building
452	北校舎、5階	on the 5th floor of the north school building
453	北校舎、階段	in the staircase of the north school building
454	体育館、北	in the north side of the gymnasium
455	体育館、1階、北	in the north side of the 1st floor, in the gymnasium
456	体育館、2階、北	in the north side of the 2nd floor, in the gymnasium
457	体育館、3階、北	in the north side of the 3rd floor, in the gymnasium
458	講堂、北	in the north side of the auditorium
459	講堂、1階、北	in the north side of the 1st floor, in the auditorium
460	講堂、2階、北	in the north side of the 2nd floor, in the auditorium
461	屋内運動場、北	in the north side of the indoor athletic center
462	プール、北	in the north side of the swimming pool
463	給食室、北	in the north side of the school lunch room
464	北病棟	in the north hospital building
465	北病棟、1階	on the 1st floor of the north hospital building
466	北病棟、2階	on the 2nd floor of the north hospital building
467	北病棟、3階	on the 3rd floor of the north hospital building
468	北病棟、4階	on the 4th floor of the north hospital building
469	北病棟、5階	on the 5th floor of the north hospital building
470	北病棟、6階	on the 6th floor of the north hospital building
471	北病棟、屋上	on the roof of the north hospital building
472	北病棟、塔屋	in the penthouse of the north hospital building
473	北病棟、地下、1階	in the 1st basement of the north hospital building
474	北病棟、階段	in the staircase of the north hospital building
475	北病棟、エレベーター	in the elevator of the north hospital building
476	第4病棟	in the 4th hospital building
477	第4病棟、1階	on the 1st floor of the 4th hospital building
478	第4病棟、2階	on the 2nd floor of the 4th hospital building
479	第4病棟、3階	on the 3rd floor of the 4th hospital building
480	第4病棟、4階	on the 4th floor of the 4th hospital building
481	第4病棟、5階	on the 5th floor of the 4th hospital building
482	第4病棟、6階	on the 6th floor of the 4th hospital building
483	第4病棟、屋上	on the roof of the 4th hospital building
484	第4病棟、塔屋	in the penthouse of the 4th hospital building
485	第4病棟、地下、1階	in the 1st basement of the 4th hospital building
486	第4病棟、階段	in the staircase of the 4th hospital building
487	第4病棟、エレベーター	in the elevator of the 4th hospital building
488	特別教室棟	in the special classroom building
489	特別教室棟、1階	on the 1st floor of the special classroom building
490	特別教室棟、2階	on the 2nd floor of the special classroom building
491	特別教室棟、3階	on the 3rd floor of the special classroom building
492	特別教室棟、4階	on the 4th floor of the special classroom building
493	特別教室棟、5階	on the 5th floor of the special classroom building
494	特別教室棟、6階	on the 6th floor of the special classroom building
495	特別教室棟、屋上	on the roof of the special classroom building
496	特別教室棟、塔屋	in the penthouse of the special classroom building
497	特別教室棟、地下、1階	in the 1st basement of the special classroom building
498	特別教室棟、階段	in the staircase of the special classroom building
499	特別教室棟、エレベーター	in the elevator of the special classroom building

非常業務操作器（EM-E156）に内蔵されている業務用放送メッセージ

ファイル No.	ファイル名 (※)	項目	声	内容
M01	w001.wav	ウエストミンスターチャイム	—	電子音チャイム
M02	w002.wav	よろこび	—	電子音チャイム
M03	w003.wav	あおぞら	—	電子音チャイム
M04	w004.wav	ディンドン	—	電子音チャイム
M05	w005.wav	打棒式ウエストミンスターチャイム	—	1964年製造の打棒式チャイム（ウエストミンスターの鐘）の音
M06	w006.wav	サイレン	—	電子式サイレン音
M07	w007.wav	緊急地震速報（NHK）	男性	シグナル音（NHK） 「地震です。落ち着いて身を守ってください。地震です。落ち着いて身を守ってください。」《JEITA ガイドライン準拠》
M08	w008.wav	緊急地震速報（REIC）	男性	シグナル音（REIC） 「地震です。落ち着いて身を守ってください。地震です。落ち着いて身を守ってください。」《JEITA ガイドライン準拠》
M09	w009.wav	緊急地震訓練（NHK）	男性	「訓練、訓練。」～シグナル音（NHK）×4回繰り返し～「これは緊急地震速報の訓練です。」 （上記を3回繰り返し放送します。）
M10	w010.wav	緊急地震訓練（REIC）	男性	「訓練、訓練。」～シグナル音（REIC）×1回～「これは緊急地震速報の訓練です。」 （上記を3回繰り返し放送します。）
M11	w011.wav	緊急地震速報（誤報）	女性	4音チャイム（上り） 「先ほどの緊急地震速報は誤りでした。ご安心ください。先ほどの緊急地震速報は誤りでした。ご安心ください。」
M12	w012.wav	防犯	女性	シグナル音（日本防犯設備協会） 「ただいま、緊急事態が発生しました。スタッフの指示に従って、落ち着いて避難してください。」
M13	w013.wav	防犯（学校向け）	女性	シグナル音（日本防犯設備協会） 「ただいま、緊急事態が発生しました。先生の指示に従って、落ち着いて避難してください。」
M14	w014.wav	放課後（学校向け）	女性	下校の時間になりました。車や自転車に気をつけて帰りましょう。
M15	w015.wav	店舗の開館	女性	4音チャイム（上り） 「本日はご来店いただきまことにありがとうございます。ただいま、開店いたしました。いらっしゃいませ。」 4音チャイム（下り）。
M16	w016.wav	店舗の閉館	女性	4音チャイム（上り） 「ご来店のお客様にお知らせいたします。本日の営業時間は、まもなく終了いたします。またのご来店をお待ちしております。」 4音チャイム（下り）。
M17	w017.wav	省エネ	女性	4音チャイム（上り）。 「不要な照明や、使用していない機器の電源をオフにして、省エネルギーにご協力をお願いいたします。」 4音チャイム（下り）。
M18	w018.wav	避難訓練 （非常放送の発報メッセージを使用）	女性	「ただいまから避難訓練を行います。」 第1シグナル（1回） 「ただいま、火災感知器が作動しました。係員が確認していますので次の放送にご注意ください。」 （上記を2回繰り返し放送します。）
M19	w019.wav	避難訓練 （非常放送の火災メッセージを使用）	男性	「これは訓練放送です。」 第1シグナル（1回） 「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。これは訓練放送です。」 第1シグナル（1回） 「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」 第2シグナル（3回） （上記を2回繰り返し放送します。）
M20	w020.wav	火災防止	女性	4音チャイム（上り）。 「火災防止のお願いです。たばこの火の始末、電気の切り忘れ、ガスの元栓など、火の元の確認をお願いいたします。」 4音チャイム（下り）。

※ 音声合成データカード内のファイル名です。

■ ユーザーメッセージの登録方法について

M21～M45はユーザー登録用です。

本体に装着されている「音声合成データカード」の「Wave_w0」フォルダ内に、下記ファイルを書き込むことにより使用できます。(合計約40分)

- ファイル形式：WAV形式（16 bit、16 kHz、モノラル、リニアPCM）
- ファイル名：w021.wav～w045.wav

ご注意：

- 「音声合成データカード」には非常放送用メッセージなど、システムに重要なファイルが入っています。他のフォルダやファイルを誤って削除、変更などしないようにしてください。
ユーザーメッセージ登録後は、必ず非常放送用メッセージの再生に異常がないことを確認してください。
M21～M45にユーザーメッセージを登録していない場合は、M21～M45を音声ファイルNo.として設定しないようにしてください。
-

メモ：

- 音声合成データカードについては、EM-1500シリーズ「設置説明書（工事編）」をご覧ください。
-

Memo

Memo

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

 0120-2727-87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は

電話 (045)450-8950 [代表]

FAX(045)450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12